滿洲日報

皇軍に出動命令下り敵陣地に砲撃を開始
空、陸兩軍が相呼應して

（上海特電二日發）待機中の第一大隊は午後二時半愈々出動命令を受け前線に向つた、また第三大隊本部は午後二時半より寶興路鐵道交叉點、横濱橋鐵道交叉點より敵の陣地に向ひ砲撃を開始し、我砲彈は東横濱路の敵の野砲陣地に盛んに落下しつゝあり、午後三時五分航空母艦鳳翔の飛行機に對し出動命令が發せられた

支那軍約五萬を集結

【上海二日發】敵はその後續々戰線に兵力を集結し閘北一帶には一萬二、三千、南市方面に一萬、吳淞に三、四千、眞茹に二萬二、三千合計五萬と概算されるが、北停車場附近で愛國青年學生多數が頑張つてゐる、また支那軍は總攻擊用意全く成り昨日閘北一帶の住民に避難命令を發した

【上海二日發】陸戰隊本部發表、午後三時半より一時間敵狀を視察せる我偵察機の報告によると敵は北停車場に裝甲車一臺軍用車二十輛を有し相當多數の兵が集結されて居る北部では碼頭線路附近に盛んに壍壕を構築しつゝあつたが我軍の攻擊で擊破された

我軍盛に砲擊を續く

【上海二日發】火蓋を切つた我軍は八吋砲〇門、五吋砲〇門を以つて發砲を續けつゝある、鳳翔を離艦せる爆擊機〇機、戰鬪機〇機は敵陣地上空を偵察中、現在（午後三時半）の我軍戰死者は、横濱路陣地第三大隊今村二等兵曹頭部に貫通銃創を受け戰死した

【上海二日發】午後三時我軍は新公園射的場と三義里に野砲、曲射砲の陣地を敷き射的場からは北停車場を三義里からは六三花園附近の敵を砲擊中、偵察機は同二時半一旦歸還したが再び出動し擊滅の筈、これに對し敵も抵抗砲擊を開始し彼我の交戰猛烈を極む

【上海二日發】我陣地は射的場に八サンチ〇門、五サンチ〇門、曲射砲〇門、三義里と寶興路に五サンチ〇門にて一齊に砲火を開いて居る、敵は青雲路北端を初め東北三ケ所に野砲、迫擊砲の砲列をしき我陸戰隊本部をかすめ我砲兵陣地を砲擊して居るが同三時十分迄被害なく砲戰激烈を極めて居る

北部一帶に火災起る

【上海二日發】目下彼我の交戰眞最中敵の砲彈我が居留地に落下し危險極りなし日本時間午後二時五十分閘北に更に火災起り黑煙濛々としてゐる

【上海二日發】六三花園は午後零時二十分支那兵のため掠奪された上燒き拂はれた、また午後一時四十分六三花園隣接の花園街は支那兵の放ちたる砲彈の爲め火災を起し邦人住宅地旺んに燃えつゝあり

【上海二日發】東横濱橋の我陣地で午後三時二十分今村近太郎二等水兵（佐世保）は卽死したが他は無事である

敵陣地を完全に擊滅
我軍砲擊をひと先づ中止

【上海特電二日發】わが軍は午後二時五十五分より砲四門を以て青雲路の敵陣地に各砲門から三十發の砲彈を浴びせ敵陣を完全に擊滅四散せしめた、わが軍の損害は在鄕軍人死傷二名、かくて午後四時頃砲擊を中止沈默にかへつたが我軍は明朝を期し再び空陸相呼應し更らに積極的攻擊に移る筈である

【上海二日發】我軍は更に横濱路の敵陣地を砲五門を以て砲擊を開始しこれを破壞敵全部を退却せしめた

【上海二日發】我軍の攻擊は午後四時終了したが今計百廿發これで青雲路廣場にある敵の塹壕陣地を完全に破壞し敵は陣地を捨てゝ離散したこと飛行機で確められた其の他敵の陣地にも大打擊を與へた

支那軍は逆襲を企つ

【上海二日發】本日の野砲曲射砲による總攻擊で敵の中央陣地を完全に破壞して大成功を收めた支那側は午後六時頃より豫備隊を前線に送り出し逆襲を企てをりわが軍を邀擊の準備をなさく怠りなく只今八時戰線は不氣味なる沈默裡にあり尙軍司令部は本日は我軍は飛行機で爆擊をなさず大爆擊は總て我砲彈によるものなる事を發表した

英米更に日本に抗議
抗議の內容は公表されず

【ワシントン一日發】米政府は上海事件に關し日本政府に對し更に强硬なる抗議を提出した英政府も同樣な抗議を出したが、兩國政府の抗議の內容は公表されない

米上院の論議

【ワシントン一日發】上海の事態急迫にアメリカ上院も之を重大視するに至り共和黨ジヨントーマス氏は今日の議場に上院外交委員會は上海の形勢に就き時々報告する事を要請するとの決議案を提出した又共和黨フレデリツクヘール氏は軍艦建造を力說した一方上院民主黨議長トーマスブラントンとジヨンランキンの兩氏は上海に軍艦派遣せるを非難した

外國側に通報

【南京二日發】平戶艦長發表、昨夜支那正規軍の挑戰に對し反擊せる事態を今朝七時平戶艦長より在泊英、米艦長に通報すると共に領事より米艦に託し外國領事團に通報し外交部に嚴重抗議の覺書を送附せり

日本膺懲强調

【ロンドン二日發】ランズベリー氏は極東の情勢に就き左の如く論

上海事件費

【東京二日發】上海事件勃發に伴ふ海軍省の經費は實に百八十萬圓の緊急處分を受けたが之では到底足りるものでないので二回分二千萬圓を要求してゐる、財源は全部公債に仰ぐ筈

新滿蒙建設の私見
物よりも寧ろ人の問題
（九）
難波勝治

上來私はこの頃喧しくなつた滿蒙新建設に就いて、私の小なる智識と體驗に基づき、最も重要な問題に關する所感の一端を概述しました、なほ細目に亙つて色々な事項はあります、金融問題は勿論、同じ產業にしても、林業、礦業、水産、牧畜など枚擧に遑ありません、それ等に就いても聊か意見がないでもないが、一々茲に詳說するの煩を避けます、しかし一言附記して置きたいのは、何事も結局は人の問題に落着きます、何物よりも先づ人を植えつけねばなりませぬ、如何なる富源の開拓も、市場の擴張も、總て資本と組織とを要する時代ではありますが、それ等を運用按排する者は人の力であつて、誰しも夙にこれを熟知してゐます、然るにその知れ切つた問題が却々實行され難い、誰でも意見は述べる、計畫も立て得る、さて之が實行に適した人を何處に求むべきかは、眞に建設を思ふ者の常に苦心する所であります、それには現に存在する物の調査が必要であると同時に、現に存在する人に就ての調査が必要であります、詳しくいへばこれまで如何なる方面に、如何なる人物がその實行力を發揮して居たかを精査研究して新建設の資料たらしめればなりません。

私は屢々各地に往來し、努めて實際の實務に奮鬪して居る人々の動向を見聞しました、その度ごとに私が想定して居た抽象論と異つて心强さを感じました、それは事業の大小淺深に拘らず、到る處に新建設の基調となるべき奮鬪を續け、その地、その時に應じて尊重すべき成績を擧げて居るとを認め

かうした芽生えが結局大をなす所以の因子だと感じました、彼等は名を求めず援を借らずして、その所信を徐々に確實に遂行しつゝあります、世間の所謂組織機關の下にある事業が、失敗だ、停頓だと批評されて居るに拘らず、その同じ事業に從事する個人の中には、實に敬重すべき成績を擧げて居る者が少くない、勿論其處には輪廓の大小、內容の繁閑はありますが、しかしその實行力を擴充すれば、以て大建設の範となすに足ると思はれます。

さうした事實が物の調査研究のみに沒頭して居る人々に組織されて居ない、偶々その風聞を耳にしても、數の大小、量の輕重から推定して餘り注意されないのでありますさうしてたゞ新建設、新建設と大業に抽象論が叫ばれて居ます

かうした世論と實際との矛盾を私は多くの植民地に見ました、今日十五萬を數ふるブラジル新植民は、僅々二三の日本人勞働者が、サンパウロの一耕主から認められた信用にその因を發しました、ダバオ三萬町の麻栽培地と、一萬有餘のそれに從事する邦人の繁榮とは、一青年冒險家の据えた根柢の上に築かれた結果であります、好かれ惡かれ朝鮮全島を風靡した干拓事業の盛況は、當初米穀商として彼地に渡航した一人の考案と奮鬪とが、過去三十年間に彼れだけの發展をなすに至らせたのであります、かうした現象は荀くも日本民族の足跡を印する處に、大小廣狹を論ぜずして芽生え發育しつゝあります、この意味に於て滿蒙今後の新建設を思念するとき、具眼者が最も注意せねばならぬ點は、さうした人の動向を諦察し、如何にしてそれを大衆化し具體化するかを考慮すべきだと思ひます、時局が與へた大きな刺戟は、青年に依つて滿蒙の眞相を見直すべき一石が投ぜられたことです、僞的の形式論から脫却して、現に在る物と人との實相と動向とを審かに透見し、その上に實際的建設の礎石を置くことだと考へます（完）

松平駐英大使ド總長を訪問

つた英、米、佛三國は國際法擁護の爲め共同動作を爲すべきである戰爭をする必要はないが日本に對しボイコツトを爲す事を明瞭にして宜しく膺懲すべきである

【ジユネーヴ二日發】本日開會の軍縮會議全權松平大使は一日午後六時ドラモンド氏を訪ひ挨拶を兼ね日支紛爭につきわが態度を述べ十分間意見を交換した

中立地帶案に支那側反對

【北平二日發】支那側報道に依れば南京外交部は上海の英米總領事の斡旋せる中立地帶設定問題に對し反對意志を表明し徹底的戰鬪繼續を決心したと

支那調査委員來月四日橫濱着

【ジユネーヴ一日發】日支紛爭の急迫によりアメリカ經由渡支の計畫を中止してシベリア横斷鐵道によつて滿洲に赴く豫定であつた聯盟支那調査委員一行は本日またも東支鐵道の交通杜絶の報聯盟事務局に達したので、再び豫定を變更する事となり先づ今明日中に支那調査委員のヨーロツパにおける最後の打合會をパリに開き結局三日パリ發アメリカ經由太平洋横斷渡支する事となつた、一行はリツトン卿（英）クローデル將軍（佛）シユネー博士（獨）アルドロヴアンデイ伯（伊）諸氏外隨員でアメリカにてアメリカ代表マツコイ將軍一行と合し二月二十日プレジデント、ジエフアリン號で桑港發三月四日橫濱着の豫定である

聯盟書記長

【ジユネーヴ一日發】本日聯盟の上海事件調査報告作成の書記長として目下南京に在る聯盟交通部長ロビール博士が任命された

英米佛三國協同して日支双方に停戰提議
三國大使、外相を訪問

【東京二日發】英米兩大使は二日午後六時相攜へて芳澤外相を訪ひ會見した右兩大使の訪問は本國政府の訓電に基き上海事件に對し更に具體的提議を齎して來たものと信ぜらる、英米兩大使に次いで佛國大使マルテル氏も同七時芳澤外相を訪問本國政府よりの訓電に基き重要提議を爲し會議の後七時二十分英米佛三大使とも同時に辭去した

【東京二日發至急報】英、米、佛三國は二日日本政府に對し上海事件に關する調停の共同提議を爲したが同時に南京政府に對しても同樣通牒を發した

三國政府提案の內容
帝國政府の受諾は疑問

【東京二日發】別項英、米、佛三國大使の芳澤外相訪問は芳澤外相は去る三十一日三國大使の來訪を求め上海事件に對する我が立場を詳細說明すると共に支那側の攻擊停止並に支那軍の特定地域に撤退方を斡旋せられん事を切望する旨申出たるに對し之が回答として文書の形式に依る三國政府共同の具體的提案を提示して來つたもので之が內容に關し芳澤外相は一切口を緘して語らないが日支双方の戰鬪行爲中止並に撤退問題を中心とするものである事は明瞭であるが右提案に對し芳澤外相は三日更めて日本政府の意志を傳達する旨を約した、同案が果して帝國政府の受諾し得るや否や疑問とされてゐる同案の內容は左の如し

一、日本は上海に對し之れ以上軍隊を派遣せざる事

二、列國は上海の安全を期し得る適當の地域迄支那軍を撤退せしむる爲努力する事

三、目下日本軍隊の警備してゐる共同租界の地域は列國が警備する事

而して芳澤外相が右提案を承認するや否やは相當疑問視されてゐる

我政府は一蹴か
けふ中に文書で回答

【東京二日發至急報】英大使リンドレー、米大使フオーブス兩氏は二日午後六時外務省に芳澤大使を訪ひ佛大使マルテル氏は七時これに加はり本國政府の訓令に基き文書を以て上海事件に關し三國共同提議を示した、右に對し芳澤外相は同提議中に日本政府としては承認する點もあるが承認し得ざる點もある、卽ち目下わが軍に依り警備中の共同租界の地域より現地の狀況を考慮せず我が軍を撤退することを東京にて決定するは不可能で到底承認する能はざる旨を述べ之に對する帝國政府の回答は明三日中に文書にて爲すと答へたが英米の提案は上海における提案と略同樣なるため鹽澤司令官と同樣に外務省でも一蹴するものと信ぜられる、我當局は一、支那軍にも停戰を希望す

二、日本を加へたる列國委員會を組織し停戰に關する詳細規定を設定す

三、若し支那側が該委員會の決定事項を犯すときは列國て膺懲す

らず衷心休戰を希望するとして戰鬪は勿論好むところにあらざるも根本條件が必要とする意響で芳澤外相は此の方針で列國と交渉する筈である

戰雲みなぎる南京
支那人市中で掠奪
支那側停戰を申込む

【南京二日發】昨夜の支那側の砲擊事件に關し我が海軍當局では直に抗議したが之れに對する支那側の回答不滿足のため今朝十時四十分陸戰隊は高地に陣地を固めたが支那軍又これに對抗せんとし戰機刻々迫りつゝある

【南京二日發】我砲擊に怯え逃げまどふ支那人で南京市中は大混亂を來し殆ど無警察狀態に陷り掠奪暴行盛んに行はれ全く收拾出來ない狀態となつたので公安局長は遂に我方に停戰を申込んで來た

無誠意食言の支那軍指揮官は停戰を口實に續々兵力の集中をなしわが軍を包圍攻擊する計畫なること明かで之を默視するは我軍は危險に曝されることゝなるので取敢ず飛行機にて支那軍の配備を偵察せり

支那側軍資金を募る

【上海二日發】支那側は第一線の顧祝同を第二の馬占山とし銀行工會が中心となり軍資金を募りつゝあり二十九日には約百萬元を同工會が支那軍に渡し三十日には八十萬元、卅一日には十二萬元が義捐金として集められた

支那軍應援隊頻りに活躍

【上海二日發】支那側では今や戰線に續々增員しつゝあり市內に於ても北停車場附近には愛國女學生多數出動し永遠對日絕交と赤く染め拔いた手拭の後鉢卷甲斐々々しく炊出しなどやつてゐる同時に支那軍應援の大衆は動員され義捐金募集も行はれ旣に二百四十餘萬元集まりこの他物品多數輸送されてゐる

鄭州辦公署が事務開始

【北平二日發】國民政府鄭州辦公署は昨日午後から政府事務を開始した

支那側の重要會議

【北平一日發】蔣介石、林森等は途中徐州で軍事會議を開いた後、本日午後二時河南の鄭州に到着、直に汪精衛、馮玉祥等と時局對策につき重要協議を行つた

我司令部發表

【上海二日發】午後二時司令部公表、廿九日午後八時停戰約定成立後連日連夜わが警備區域を攻擊する文書を寄せ當地にては日支官憲

漢口市內平穩

【漢口一日發】省主席何成濬は昨夕我總領事館に代表を送り鄭重なる文書を寄せ當地にては日支官憲

靑島も不穩
婦女子外出危險
路傍演說等さかん

【靑島二日發】上海動亂に刺戟され當地の形勢惡化し排日ビラを撒き路傍演說等盛に行はれ婦女子の外出は危險となつた

密接なる連絡を執り上海の如き不幸なる事件の發生を觀ざるやうに努力致し度く支那側に於ても反日會等に對しては極力取締り場合によつては武力彈壓を爲す可しと申し入れて來た、尙我海軍當局では萬一のため昨夜より今曉にかけて租界周圍に嚴重なる鐵條網を張つたが目下の所市內の空氣は極めて平穩である

南京各所に防禦工事

【東京二日發】南京二日發海軍省着電、上海事件發生以來支那側は盛んに防禦工事を施行中で各所に砲臺塹兵壕を構築中で日本人使用の運轉手ボーイ等は憲兵、巡査の脅迫に遭ひ逃げ隱れる者あり領事館も事務上多大の支障を來せるの

軍縮會議愈よ開會
一般討議は來八日開始

【東京二日發】ジユネーヴの軍縮會議は二月二日開會されるが、會議は議長の開會演說後二、三小委員會を設ける事になつてゐるので一般討議は八日より開催される模樣で相當長引くものと見られる、日本代表は第一週中に發言する筈、尙軍縮會議に對しては佛獨方面でも何等かの結果に到着せん事を希望してゐる

市會堂にて開會式

【ジユネーヴ二日發】愈々二日軍縮會議はジユネーヴに開かれる事となつたが午後三時半市會堂における開會式を以てこの劃期的大會議の幕が開かれるが、參加國數六十四各國代表人員數一千三百、新聞通信記者數六百名に及ぶと

開會式延刻さる

【ジユネーブ二日發】聯盟理事會は本日午後二時半開會引續き日支紛爭問題を審議なす筈又午後三時半開會の豫定であつた軍縮會議は午後四時半に延期された、尙理事會議長はボンクール氏不在のためタルジユ氏がつとめる事となつた

五十五國代表到着

【ジユネーヴ一日發】日支紛爭事件審議中休みのジユネーヴの街は本日俄に軍縮氣分に賑はひ出した參加招請を受けた六十四國中拒絕せるはエクワドル一國のみだが代表の到着したのは、五十五國のみであり、尙軍縮會議々長たるべきイギリス前外相ヘンダーソン氏は本日午後三時半約四十分間放送演說後、開催地たるスイス國大統領モツタ氏は名譽議長に推薦された、同時に參加各國代表の信任狀審査及び議事進行方法、議事手續決定のための委員會が組織されたが、右委員會は今週中漸く見込で各國主席代表の演說は來週に延び第一週は手續議事に費されるわけである

嘉興河の木橋を破壞

【上海二日發】我軍は午後三時十五分總攻擊開始に先だち嘉興河の木橋を破壞し狄思威路より日本人密集地帶へ敵の進出するを防いでゐる

新軍令部長海軍省御登廳

【東京二日發】新軍令部長伏見宮殿下は宮中の親補式執行はせられた後午後三時海軍省に御登廳谷口前部長と事務の引繼を行はせられた後大臣室に海相を御訪問あらせられ軍令部長就任の御挨拶を行はされた

邦人行方不明

【上海二日發】三井物產雜貨主任稻葉三郎（東京府）氏は午前九時英租界ガーデンブリツヂにて行方不明となり目下搜索中、赤牛乳製造業、愛光社主石崎良二氏は支那公安局に拘禁されて居る

上海の外銀一時閉鎖

【上海二日發】當地外國銀行は本日會合し協議の結果現在の狀態では營業繼續困難なるため全部休業するに決した、その旨銀行協會々長に通告した、之がため當地外國銀行は全部閉鎖の止むなしさ

上海方面の狀勢協議
出淵大使語る

【ワシントン一日發】出淵大使は一日スチムソン長官と上海の情勢につき協議し會見後左の如く語つた

上海のその後の情勢につきスチムソン長官と會談し合せて日本政府の意向を傳へたものでアメリカ政府から最近の通牒に對し回答したのでも新通牒を受けたのでもない、日本としては素より事を好むものでない、支那側さへ發砲を中止すれば日本でも止めるのは勿論である

邦人避難に船舶出港見合す

【上海二日發】日支兩軍の大衝突の機愈々切迫して來たので虹口一帶の空氣は息詰る程の緊張を呈してゐるが、支那兵の砲擊による萬一の場合を恐れエキステンションに居住の邦人は今朝來續々中心に引移りつゝあり、總領事館では婦女子全部の引揚に備ふるため大連靑島、天津方面行きの我船舶に對し出帆を見合せしめた

虹口一帶は死の街と化す

【上海二日發】虹口一帶は今や死の街となり我軍隊輸送の裝甲自動車の外全く人影をみないが、今朝支那人數十名はトラツクで來り掠奪を行はんとしたので我陸戰隊一個小隊出動これを擊退した

長江艦隊組織

【上海二日發】一遣艦隊と各出動部隊と合し長江艦隊を組織し司令長官を新たに任命の模樣である

北平邦人も增兵要請

【北平一日發】時局重大化し當地邦人は危險に瀕するので居留民會は本日午後政府に增兵請願をするに決し卽時その手續を採つた

海軍省最高幹部會

【東京二日發】大角海相は首相、陸相、外相と會見を終り、上海事件に關する海軍の態度を決定する爲め本省にて次官以下最高幹部を召集し重要會議を開き協議した

首相藏相懇談

【東京二日發】宮中に參內した犬養首相は午後三時二十分御前を退下直に麴町紀尾井町の伏見宮邸に伺候し閑院宮軍令部長宮に御就任の御挨拶をなした夫より高橋藏相を訪問上海事件に關する今後の財政上の問題に關し約三十分懇談した

閣議重要事項を決定

【東京二日發】二日の重要閣議は前十時半から開會中橋內相を除く犬養首相以下各閣僚出席先づ高橋藏相より實行豫算編成方針につき說明決定、次いで大角海相より上海方面の事態の變化の經過を詳細報告國防財政外交上の見地における重要對策を決定更に芳澤外相より駐日英米佛三國大使を通じて三國より上海事件に對して爲されたる抗議並に之に對する政府の回答に就き報告午後一時三十分散會

芳澤外相報告

【東京二日發】芳澤外相は本日の閣議で左の如く述べた

アメリカの抗議內容は悉く事實を間違へてゐる、殊に時間的に考へて相當疑問もある、相手國が故意に我に抗議する場合には事列問題である、事實を示して正解するにおいては今後かゝる誤解は一掃されるものと信ずる

谷口軍令部長辭職理由

【東京二日發】谷口大將は軍縮後始末問題で辭職の意を決してゐるが滿洲問題突發し延びくとなり最近健康を害し要職に留まるに堪へない爲め辭職の決意をなしたもので海軍首腦部協議の結果伏見大將宮殿下の御就任を仰ぐ事となつたものである

野村司令長官親補式

【東京二日發】海軍では旣報の如く第三艦隊を新に編成する事となり司令長官には野村中將に決定し二日午後二時軍令部長親補式に引續き左の如く親補式を行はせらる

補第三艦隊司令長官　横須賀鎭守府司令長官　海軍中將　野村吉三郎

免本職　軍事參議官　海軍大將　山本英輔

補横須賀鎭守府司令長官

免本職

勞働會議代表決定

【東京二日發】國際勞働會議代表は左の如く決定した

△政府代表　國際勞働機關事務所長　吉阪俊藏

社會局書記官　川西實三

△商人代表　片岡安

△勞働代表　西尾末廣

關東廳財務部の昇格を實現
旣に兩省の內諾を得

【東京特電二日發】關東廳においては年來財務部を財務局に昇格せんとする計畫あり山岡新長官も赴任以來行政機關を研究しこの目的を貫徹すべく上京中の西山財務部長をして追加豫算の形式をもつて財務部昇格案を立案せしめ既に拓務大藏兩省の了解を求め內諾を得たがこの追加豫算は臨時議會の承認を得て初めて實施される事になるものでその實現を見れば當然財務局長には西山左內氏が就任さるる模樣である又遞信局長も勅任待遇となさんとする意向である

滿蒙開發の植民運動
拓務協會を制定

新國家の樹立に伴つて滿蒙植民問題が擡頭しつゝあるが從來この移民問題については種々な意見もあるがそれ等は單に抽象的理論に過ぎずして實行に當つては尙相當研究の餘地ありとしこれが具體的方策とその實行に當らんと今回米國農學士赤木氏來奉、滿蒙拓務協會なるものを設け既にその創立事務所を在奉全滿米穀檢查所內に置き今後移民問題に對する輿論を喚起し滿蒙開發の第一歩卽ち植民運動を起して事となり近く奉天において發起人を募り具體的方策の下にこれが運動を開始する筈（奉天電話）

社說

上海形勢惡化と英米の抗議
責任は寧ろ租界局にある

長江沿岸に於ける邦人現地保護の原則は、遂に維持するを得ず、上海租界に於てすら邦人の安住を期す能はざるに至り、我公使總領事も亦全居留民の引揚を勸告し、公使、總領事、領事自身も夫々官邸を引拂ふに至つた。實に由々敷き惡化狀態である。英米兩國總領事は、先に兩軍隊の間に斡旋して停戰を講じたが、其間に屢々支那軍の裏切るあり、三十一日には列國會議にて中立地帶設置の協議ありしが、其の協議進行中にさへ支那側からの砲擊があつたのみならず、便衣隊の活躍あり、且つ英國側の偏頗なる提案の爲めに、日本側の不同意となり、議遂に纏まらず。他方に於て支那側は着々戰備を調へ大軍を集結して租界攻擊の姿勢を執り、益々多數の便衣隊を租界内に放ちて、邦人の生命財產を脅威する。支那が公然宣戰を布告すると否とに拘らず、日本國家に對する、敵對の意思と行動とは、十分にこれを認め得る。日本軍隊が重大な決心を爲すに至るは當然である。

◇

此時に方つて、英米二國は、我國に抗議した、抗議の要點は(一)日本軍の行動が必要以上に及ぶ事(二)日本軍は共同租界を攻擊の本據に使用する事(三)日本の行動は共同租界本來の地位精神を無視し、英米人の生命財產を危殆に陥らしめたといふ事である。恐らく其根據とする所は、支那側が初め日本の要求を容れたに拘らず、日本軍が行動を開始したといふ點であらう。併し既に芳澤外相も說明して居る通り、支那側は表面上我要求を容れたと稱するも、實際に於て日本に對する對敵行爲を繼續して居た。其れのみならず、遂に支那兵より我軍に對して攻擊を加へ、租界内に多數の便衣隊を放ちて、邦人に危害を加へた支那兵は多數であり、便衣隊の行動は潛行的である。

◇

斯る狀態の下にありて、日本軍が適當な行動を執るにあらざれば、日本軍隊及び我居留民は全滅の虞れがある。此れは支那政府の無力、其軍隊の無統制、並に正規兵を便衣隊に變裝せしめて、潛行的行動を執る事等の現實の事實より結論さる可き所である。故に英米にして此等の事實を正確に認識せんか、右の(一)(二)の如き抗議は到底問題とならぬ筈である。元來此の抗議は、上海に於ける英米總領事の報告を根據と爲すものであるが、彼等が上流の事情を知らぬ筈がない。此點に於ては、異に國際聯盟理事會が、支那側の報告を盲信したのとは大に趣を異にする。吾人は英米總領事が、何故右の如き本國政府を誤らしめるが如き報告を爲したるやにつき幾分の疑念を挿まざるを得ない。若し英米兩本國政府にして、今回の事件に關して公平に處せんとするならば、別に正確な調査を爲すの必要がある。

◇

抗議の(三)は上海事件に於て見る可き特殊の論點である。吾人の見解によれば、租界の危險を招いたのは、畢竟支那の不信表裏、及び便衣隊使用、殊に何とかして日本人に危害を加へんとする其の根本精神に基くこと勿論であるが、其れは今更ら云ふに及ばずとして、此際吾人の是非とも一言し置く可きは、共同租界當局の態度である。若し工部局が、最初に事件の重大性を認識して、租界警備に萬全の策を立て、其警察力を充實し、且つ便衣隊の進入活動を防止し、且つ支那軍隊に租界を窺ふの隙を與へなかつたならば、斯くの如き重大事には至らなかつた。假令租界外に如何の騷擾あるも、少くとも租界内だけは安全である可き筈であつた。若し警察力が不足ならば、軍隊によりてでも、豫防法を講ず可きであつた。然るに工部局は此等の點に於て十分の注意を拂はなかつた。而して只、口頭に於てのみ租界は安全だと稱して居た。吾人は曾つて工部局の取締が不徹底である限り事態は必ず重大化す可きを豫言したが、事實は正に其通りであつた。工部局の取締不徹底なるに乘じて、多數便衣隊が入り込み、邦人に危害を加へて已まぬ。且つ列國の不徹底な態度を奇貨として、支那軍は租界内の我警備區域に發砲する。我軍が自衛の爲めに、適當な方法を講ぜざるを得ざるは當然で、斯くて事態をして、今日の如く惡化せしむるに至つた。共同租界の地位、精神を無視して、租界内日本人の生命財產を危殆に陥らしめたものは、寧ろ工部局である。我國からこそ此點に就て工部局に抗議すべきである。

◇

租界内における日本軍隊の警備區域に向つて發砲する事、及び租界内に便衣隊を放ちて、日本人に危害を加ふる事は、唯り日本帝國に對する對敵行爲ばかりでない、共同租界の存在を全然無視したものであつて、條約違反の明白なものである。租界當局が、支那の此違法に對して何等匡正の方法を講ぜざるは何故であるか。元來、國民黨の傳統的意圖は、租界の回收にある。故に事ある每に、租界の擾亂を計畫する。平時におりて、富豪に對する綁票なども、故意に租界内に於て行はれる。綁票團の中には、國民黨に通ずるものあり、彼等は工部局警察を出し拔き、租界内と雖も決して安全でない事を、良民に知らしめんとするのだ。以て租界存置の意義を滅殺せんとする。今度の事件の如きは、彼等の最も乘ずべき機會である。巧みに列國を操縱して、租界の安全性を破壞し、外國人をして租界無視の習性を養はしめんとする。假りに斯くの如き深謀なしとするも、斯くの如き結果に導くは明瞭だ。滿鐵を破壞して滿洲の日本の權益を破壞せんとする。天津における日本租界の警備薄弱な時に乘じて、一擧して之れを拔かんと企つる。すべて先年の、漢口英租界奪回の轍を行く者だ。國民黨の最も關心する上海租界に對して、此企圖なしとは斷言し得ない。英、米、佛、伊の諸國は此點にも想及すべきである。

混亂に包れた大上海
沸騰する人の群と叫の渦卷き 黑煙、地響き、銃と劍の林
事變直後上海にて　日森特派員發

廿八日午後六時からだ、いや廿九日午前四時からと陸戰隊參謀が漏らした、閘北には公安局から立退きの命令した、運搬車は一時間十弗でも雇へない、廿八日は午前中から支那街閘北から租界内への避難者が血走つた眼をしながら急ぐ、への手荷物を抱て走る、喚く、黃包車は近距離は御斷り、黃包車巡捕の惡名ある工部局巡捕は一人も姿を見せない、南京通りに次ぐ北四川路一帶の繁華さも全市無警察狀態で文字通り氣味惡い沈默に包まれてしまつた

◇

魔都上海からポリスを引去つたら事だ、今常時から非常時への切替で沸騰する人の波、叫びのこの渦卷き十二時、一時、二時混亂は益々高まる、午後四時頃北四川路中部校で帝國海軍旗が上つた、領事館の爆彈騷ぎがパッと擴がる、六時未だ幕は切られず、刻々と闇にとざされ **虹口サイド閘北の人の彼は何處へか吸込まれてしまつた**、七時、八時、軍用自動車のみが街を突拔ける、近代都市上海の燃料、邦人紡績は一齊に七萬の勞働者に對してロックアウトする事を決定、租界工部局の特別戒嚴令の布告は各所に貼附され、人心はいやが上にも動搖する中を十時頃からは聯絡の街を傳令オートバイが驅ける、劍附き銃の **陸戰隊兵士は本部前の庭で萬歲を三唱、各分所部署に附く** 時に廿九日に入る事三十分、萬歲の聲が闇をこだまする時、各地から豆をいる樣な小銃機關銃の音が軍事行動開始を知らせる、租界内北四川路サイドの **街燈は空中戰を豫想されて殘らず破壞消燈** さる、凡ゆる窓の灯火は空砲を放つて閉ざした、**新春の月は絶好の戰爭月夜**——そう筆者が從軍する野砲隊の隊長は陣中感の一聲を放つた、

◇

敵の裝甲車が停車する北停車場に相對する北四川路橫濱橋附近天通菴驛の中國兵營に正向する陸戰隊本部、閘北、吳淞に通ずる陸戰隊射擊場後面、狄思威路東方の支那街、老靶子路から北停車場へ、セントラルは英國義勇軍、ゼスフイルドパーク方面の豐田紡一帶は英國軍、同文書院はイタリー軍等々租界の現地保護は三萬の中國軍に對して萬遺漏なき手配り、鐵道線路への武力對峙は廿八日午後十一時前後の中國軍射擊に應じて正規軍一掃は深夜のトバリを蹴破つて開かれた、第三大隊本部となれる中部校向ひエレンテレスの滿日 **支局から出た筆者は、陸戰隊本部に驅け附け** た、スコット路角に構へてゐた野砲隊の警告で一先づ同隊に附く事にしたが、中國軍の不規則的に放す射擊に對する應射は暗夜の空氣を粉微塵に碎く、斯くて魔都上海は、**エログロの上海は一瞬にして恐怖に怯える近代科學の戰場と化したのだ**、眞茹の無電は全世界に反日の電波をまき散らす、通信員は飛び電報は沸騰點突破、

◇

午前一時皇軍水上機は流星の如く飛び廻る、二時、三時、砲聲は豆をいる樣に傳はる、地と空が壓しつぶされる頃商務印書館から火を發し、怒火は降り出した小雨の空を赤く染め出す、**上は銃と劍の林、暗黑の街** 中國正規軍公安隊の捕虜がトラックで何處へか流れて行く、碎かれた夜が明らむ頃、一時射擊が止んだであらう、靜まり、ピストルの可愛?聲が思ひ出したやうに傳はる、小雨の止んだ靜の街は商務印書館のモウ〳〵たる黑煙のみが全市に警告を示してゐる、早朝の **北四川路は交通全く杜絶**、虹江路に便衣隊の死體五六個がうづくまつてゐる、本部報告皇軍兵士六名戰死、重傷者三十名、

物凄い音をたて、燃えゆく高層建築
傳令其他交通に惱む

北停車場は空中爆擊の凄じさは物語る樣に **猛火を吹上げてゐる** 北停車場はまた占據されず双方機關銃の猛射が續く、屋根裏から拳銃が自警團を驚かす、敵の流彈は安全地帶の窓を打つ、午後になつても間歇的銃聲と空中爆擊は依然として繰返され、商務印書館と北停車場の大火災は血走つた避難民と戰鬪員に冷眼視され益々橫に擴がつて行く、敵軍は鐵道以西二千米突に退却、然し、地の利を占める便衣隊はわが兵士の隙を覗つて攪亂を企てる、わが軍の配置は鐵道以東完全に現地保護で大部の戰鬪は雲をつかむ樣な便衣隊一掃に疲れる、**電線は切られ動力線は破壞され、軍事以外の一般交通機關は完全に停止**、閘北北四川路は暗夜とモヌケの空のうちに戰場第二夜のとばりは下りた、市民の間に軍隊增派陸軍派遣の要望高まる。

◇

敵の租界砲擊は本願寺に、老靶子路へ、北部小學校に地響きして炸裂する、北部小學校に隣接する筆者の隣家も三十日早朝大炸裂して破壞さる、砲彈の直徑二吋、怪士砲と別稱して邦人を恐怖さす、アマ、ボーイ支那人使用人は隙をうかがつて逃亡、其ため先づ第一に **食料買込みに困却し**、煙草兌換に缺乏して徵發を餘儀なからしめてゐる、**北四川路筋の大商店は全部店を放棄して逃亡**、自動車運輸手達(支那人達は逃亡)は疲れ切つて經濟交通は滯り勝ち、其ため邦人に組織されてゐる武裝自警團——青年同志會、在鄕軍人團、各路警備團——が店頭の煙草、果物等々を臨時徵發して戰鬪員其他に配布して廻つてゐる。

◇

三十日午後から虹江路の大映畫館オデオンより北停車場一帶の **密集高層建築は物凄い音をたてて燃燒しつゝあり、猛火の欲する所之れを抑止する何物もなく**、加之、東には之れを騷動しつゝある虹口一の虹口ホテルは便衣隊發砲の嫌疑を受け内部は破壞され四樓は火災に遭つた、抑止しても流れる避難民の檢査には言語の不通からいきりたつてゐる自警團(主に)のため毆打傷害を受け多少でも嫌疑あるものは續々本部へ後送され、捕虜の山が築かれてゐる、蘇州河南以南より邦人の居住する虹口北四川路閘北一帶への避難移動は絶對に壓止め、未だ殘つてゐる該地方の一部支那人達は一旦楊樹浦方面に迂回して佛租界或は南市へ向けて避難しつゝブロードウエイは **人の波が渦卷いてゐる**。

◇

卅日午後から漸く赤十字は活動を開始したが、其機能は全く問題にならない、消防隊は衝突を恐れて出動せず、火災は停止する所を知らず、閘北北四川路の繁華街は全燒燬の危機に包まれてゐる、今午後七時始めて工部局消防出動すとの情報あるが其效果は疑問、北四川路以西北停車場迄の老靶子路より入る露路には便衣隊の死體が散在して戰鬪の物凄さを語つてゐる、北四川路筋各所の自動車は全部軍事徵發、但し運轉手不足のため交通(主に軍事)機能は何等得る所なく、傳令其他の交通に大障害を來してゐる(三十日午後七時記)

滿蒙新國家建設の重大四大綱を決定
奉天商議の提出議案

在滿公共機關聯合會發起人會においては二日間にわたり奉天商議にて聯合會に提案すべき議案について協議の結果左記四項にわたる大綱を決定した

一、速かに東北四省を包括する獨立國家の實現を期待す

二、新獨立國家は民衆の啓發と東洋永遠の平和とを基調とし日本帝國と永久親密の關係を保持すべし

三、如上の根本方針に基き本聯合會は完全なる治安維持と經濟の安定を期し内外人安住の樂土たらしむべく左の方策を待望す

イ、交通機關は之を完全に統制しその整備充實を圖ること

ロ、門戸開放、機會均等主義により内外人の自由平等を確保すること

ハ、速かに幣制を確立し金融の調達を全うすること

ニ、現行關稅制度を改善し產業貿易の發達を圖ること

四、わが國の對滿蒙政策は速かに之が刷新を期すべし

イ、四頭政治の積弊を打破し統一せる機關を設置すること

ロ、我國の農業移民に有効適切なる方策を講ずること

ニ、金融機關の整備改善を圖ること

ホ、滿鐵の運賃炭價を引下げること【奉天電話】

大孤山に警官隊出動
武器類を押收

鞍山警察署松木署長、井上司法主任以下二十六名の警官隊は機關銃歩兵砲を持つて一日午前七時三十分發運行電車で大孤山に至り千山の天嶮に長銃、その他彈藥を隱匿せることを聞知し押收に出動した大孤山より更に前進通明山々麓の一軒屋を襲ひ機關銃、歩兵砲の猛射を浴びせ突入して長銃一、拳銃三挺、彈丸、防寒衣等多數を押收して主人徐相臣(五〇)は馬賊と氣脈を通じてゐたので證人として逮捕し午後七時半同所を引揚げ二日午前三時歸鞍した、目下嚴重取調べ中【鞍山電話】

味岡中隊 騰鰲堡出動

湯崗子西方約一邦里の甘泉子部落を襲擊し放火掠奪の暴虐をつくした匪賊大頭目老北風の部下約一千名は舊正月前鞍山西方騰鰲堡部落を襲擊する計畫中との情報あり、鞍山守備の味岡中隊長は部下百三十名を率ゐ二日午前六時半徒歩にて騰鰲堡に向つて出動した【鞍山電話】

敗殘兵續々哈市に入込
皇軍哈市三里地點に迫る

【ハルビン發浦鹽經由國際運輸入電】皇軍は目下ハルビンを距る三里の地點に到着、敗殘兵は續々入市しつゝあり、市民は極度に緊張してゐるが市内は平穩である、國際社員一同無事、一日からチチハル總田電信聯通せり

第三軍用列車出發
きのふの午後長春から

ハルビン派遣の第三回軍用列車は二日午後三時四十分盛大な見送り裡に出發した、平井聯隊本部、歩兵第○大隊、大谷野砲第○聯隊本部、第○聯隊小野大隊以下○○名滿鐵社員鐵道修理班○○名の總○○○名である【長春電話】

蔡家溝の北方にて敵の大部隊と激戰
わが軍に七名の死傷

二十九日夜八時頃鐵道守備の重要任務を帶びてトラック十三臺に分乘し長春を出發した、平賀大尉指揮の公主嶺獨立守備隊○中隊は途中長谷部○團應援の命を受け北進したが進行意の如くならず一日夜陶賴昭に到着、二日午後四時頃蔡家溝を通過北方七里餘の地點で突如一千四百餘名の敵の襲擊を受け山砲○門をぶつぱなし僅か○○名に過ぎぬ同部隊は孤軍奮鬪全く文字通りの苦戰に陥り全滅の覺悟をきめてゐた際天佑にも長谷部○團に彈藥と一週間分の食料とを輸送すべく一日午前七時三十分頃長春を出發した平田○隊本部及び○個大隊の軍用自動車隊が後方から到着し應援を得て交戰一時間餘にして敵を敗走せしめた、この戰鬪に於て平賀○隊は戰死一名、負傷准士官以下五名を出した、敵は約五十餘の死體を遺棄して北方に算を亂して逃走した爲め五時頃から之を急追しそのまゝ双城堡に入り長谷部○團に合した、負傷者は驛の臨時野戰病院に收容手當中である尚獨立守備隊は三日旅順より應援の來るのを待つて双城堡に出發せしめることゝした【長春電話】

五家驛でも敵と交戰

午後三時千葉○○隊加藤中尉以下十一名八驟家堡鐵橋視察の途中五六百名の匪賊の襲擊を受け勇敢に擊退任務を果しての歸途五家驛に入るや驛内三百の匪賊は加藤裝甲機動車目がけて一齊射擊しわが軍はこれに應戰せんとしたが轉轍を間違へ元の軌道に入るを得ず河瀨軍曹は直に飛び降り施錠を打ちこはした、この時敵彈飛來同軍曹に命中したるも屈せず機關銃六挺をもつて應戰遂に敵を殲滅午後五時双城堡に歸還した、拔群の功を發揮した河瀨軍曹重傷の外、中月、芦澤兩一等兵も負傷した【長春電話】

鈴木○團も某方面出動

【チチハル二日發】駐屯中の鈴木○團長の率ゐる秋田○大隊今朝來齊の弘前野砲○隊騎兵○隊は今夜六時○○鐵道により○○方面に出動した

今曉ハルビンに進擊

二日午後六時平田聯隊野砲○個中隊その他双城堡着多門主力も續々到着するが三日拂曉を期し北進ハルビンに向け丁超軍殲滅の一大進擊開始の筈【長春電話】

學良義勇軍の運動を獎勵

張學良は二十九日吳鐵方に銀二萬元を提供せしめ山海關に向はしめ秘密裡に義勇軍の積極的運動を獎勵しつゝあり【奉天電話】

飛行場の準備

關東軍飛行隊の情報部長立松少佐は目下航空隊が前進してからの根據地設定のため準備中である、尚愛國號は傷病兵を輸送すべく準備を急いでゐる【長春電話】

長春双城堡間四日振で聯絡

一日午後二時四十分牛田工兵大尉の率ゆる鐵道第○隊裝甲、通信、砲、歩兵等双城堡に到着四日ぶりで長双間の連絡が取れたが之等は双城堡砲ふしとして裝甲車○臺、無蓋車等に毛布を被つて急行したものである【長春電話】

やがて我態度を英米も諒解せん
今夜東京發歸任する　内田滿鐵總裁語る

【東京特電二日發】愈々三日夜歸任する内田滿鐵總裁の身邊は訪問客殺到混雜を極めてゐる、二日は南前陸相、本山大每社長、長岡駐佛大使その他政界の巨頭連等が麻布狸穴の總裁社宅に訪問した、内田總裁はかくて午後五時半芳澤外相を官邸に訪問して退京の挨拶を兼ね對支問題につき約三十分に亘り打合せをなした總裁は語る

愈々時局も重大化し上海方面の形勢が切迫して來た樣である、併し日本の今日採つてゐる行動は全く自衛權の發動で他に何等やましいところはない、それ故國際聯盟にしろ或ひは英米にせよ、やがて日本の立場が充分了解して日本の行動が全く正義に立脚してゐると云ふ事を認識してくると思ふ、只恐れるところはこう錯綜してくると何時どんな突發事件が起らぬとも限らぬからこの點を充分に警戒する必要がある、又我々の身邊を心配してくれるものがあるが信念と確信を以て働いてゐるものに少しの不安もない、江口副總裁も用事が出來れば何時でも上京するが直ちに來る程の事もあるまい、選擧も濟みやがて臨時議會でも開かれゝば我輩は總會前に今一度上京するかも知れない、最近色々の人に會つて見たが何れも眞面目に滿洲事件の解決困難の打開に苦心して居られる事は自分として何となく心強く感じ且つ日本の國運は將來必ず進展するものと云ふ確信を得た

駐佛大使に長岡春一氏任命

【東京二日發】特命全權大使兼特命全權公使長岡春一氏は兼官を免ぜられ佛國駐劄を仰付けられた

同胞救濟の義捐金送附

滿洲事變による遭難鮮人救濟のため市役所に於て募集中の義捐金は左の通り淸算し奉天總領事宛に送附した

遭難鮮人義捐金品收支補算書

▲收入ノ部　金四千七百四圓三十四錢也、内譯金四千六百九十三圓四十錢寄附金、金拾圓九十四錢預金利子

▲支出ノ部　金四千七百四圓三十四錢、内譯金三千圓第一回送付義捐金(十二月一日奉天總領事宛送金)、金三十三圓六十錢義捐品荷造及運搬費、金二十圓廣告料金一千六百五十圓七十四錢第二回送付義捐金(奉天總領事代理宛送金)以上

▲義捐品(古衣類)寄附總數八十四梱包、内譯六十梱包十一月廿八日奉天總領事館宛鐵道便にて送付、二十四梱包十二月十七日同

大觀

勢ひの赴くところ南支における日支の關係最惡化し▲暴戾、不信、反省の色なき支那軍に對するわが軍の攻擊は痛烈壯絶を極む▲英、米、佛等の共同提議なるものに對してわれは果して何の程度に信を置いてよきや▲例によつて喧嘩相手の片方のみを羽交ひ締めにして「さア、やめた、やめた」では仲裁にあらず一方の壓制策のみ▲ソンないい加減なコケ脅し的調停には浮かり乘るべからず▲仲裁は時の氏神とは云へ、犬猿の喧嘩に狐と、狸と狼が乘り出すやうなやり方ではこの紛議到底收まる筈はない▲列國眞に平和的解決を望むならば先づ以て無謀なる支那側の攻擊、抵抗等を抑制し▲然る後わが攻擊の停止を求むべきであり▲挑戰した方は等閑に附し、應戰した方のみを止めんとする偏頗な態度では調停者としての資格なしと知るべし▲「醜を吠ゆる犬猫々し冴えかえる」▲獻金百萬圓、愛國飛行聯隊の形成易々たるは心強し▲滿洲愛國號の計畫も愈々具體化▲この際エロを避け、煙草を節し、酒を控へ、擧つて獻金を求む▲滿洲愛國號の擧を聞いて青島在留邦人相諮つてこれに贊し▲青島新聞並に本社を通じて獻金の計畫を進む床し在滿邦人も敗けまいぞ▲「柏手や神に奏する冬の朝」

本日市公報號外を添ふ

市況(二日)

株式　內地株引安　地場續落

內地主力株の引安と東京の五品安につれ當市の五品は三四圓安の二三圓安、新豆は一圓搦み安錢鈔は二圓四五十錢安と續落した

後場

◇定期◇

銘柄		當限	先限
新豆	寄	一三三、五	一三三、七
	引	一三二、八	一三二、八
錢鈔	寄	二一、〇	二一、三
	引	二〇、四	二〇、六
氷新	寄	—	一三三、七
	引	—	[illegible]
五品	寄	一二二、四	一二三、三
	引	一二一、二	一二一、四

◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	一三〇	一三〇	一二五	一二五
新豆	一三〇	一三〇	一二九	一二四
錢鈔	一〇五	一〇五	一〇五	一〇三
東新	一三三	一三四	一二九	一二九

商品　麻袋變らず　綿糸軟弱

綿糸●　大阪三品大引は期近一圓搦中先一二圓安を入れ當市は投げと新規買の混戰で相當手合せをみた

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	四月限	一三六三	五〇
同	五月限	一三八九	一〇〇
同	同	一三七一	一〇〇
同	同	一三七五	五〇
同	七月限	一四三四	六〇
同	同	一四二〇	二三〇

出來高　四百十梱

麻袋●(延取引)

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	二月限	二七五	二〇
同	三月限	二六五	一〇

出來高　三萬枚

錢鈔

査正につき後場休會

奥地市況

▲奉天大洋　現物　七〇、八〇　先限　一四一、〇〇　一四一、二〇

▲開原大洋　現物　七一、〇〇

▲安東鎭平銀　當限　九九〇　九九九

市場電報

神戶特產

品目	値
大豆現物	四六〇
先物	三八五
豆粕現物	一三八
先物	三〇〇
滿洲小麥	三六〇
豆油現物	二〇六〇

橫濱生糸

限	後場一節	後場二節
二月	六二六〇	六一〇〇
三月	三六三〇	六〇〇〇
四月	六三九〇	六〇〇〇
五月	六四一〇	五九八〇
六月	六四五〇	五九〇〇
七月	六七〇〇	六二〇〇

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
二月	一三三五〇	一三二三〇
三月	一三四七〇	一三三九〇
四月	一三六八〇	一三五九〇
五月	一三八五〇	一三七一〇
六月	一三九五〇	一三八六〇
七月	一四一八〇	一四一六〇
八月	一四四二〇	一四三〇〇

大阪期米

限	後場寄	後場引
二月	二四〇九	二四三五
三月	二四八一	二五二九
四月	二五四一	二五八六

東京期米

限	後場寄	後場引
二月	二三八九	二四二九
三月	二五三〇	二五六九
四月	二六一八	二六六五

神戶期米

限	後場寄	後場引
二月	二四四二	二四六五
三月	二五三〇	二五五一
四月	二五八〇	二六〇五

日本佛敎新聞滿洲支社設置

今般滿蒙における時局多端の折柄思想善導の一助にもと左記に支社を設置し元大連新聞社員大石一男を支社長に命じ一切の事に當らしめ候に付ては萬事御指導賜り度奉懇願候

日本佛敎新聞社　東京市神田區今川小路二ノ三

支社　大連市近江町一九〇番地

私儀大連新聞在職中は公私共多大の御厚情を蒙り難有存奉候附ては今度日本佛敎新聞滿洲支社設置に當り支社長として赴任仕り候に付今後共萬事宜敷御指導と御援助を賜度御願申上候

大連市近江町一九〇　日本佛敎新聞滿洲支社　支社長　大石一男　電八三一七七

腕一本で雄々しく實社會に躍り出す

大連早苗校卒業生の志望調べ　美ましい就職振り

大連早苗高等小學校では今春三月高等科二百六十三名、專修科八十七名の卒業生を送り出しますが、これら卒業生は行く先何を望んでゐるのでせうか、左に掲げて見ませう

	高等科	專修科
中學校	七	一
商業學校	九	一
育成學校	七	二
專修科	一四九	一
工專附屬職業教育部	四	七
鐵道教習所	五	一
遞信講習所	一四	一二
滿鐵工場見習	二〇	一六
撫順工業養成所	一	一
美術學校	一	一
就職	二四	四五
家庭	一六	二
未定	七	一

右によって見ますと、こゝを出る子達は將來腕一本で社會に躍り出ようといふ

健氣な　氣持ちを多分に持つてゐるようですが、これも今の時代が斯うさせたのでせう、そして高等科、專修科合計六十九名の就職希望者に對しては既に滿鐵消費組合、國際運輸、滿日社、東拓各會社より十數名、市內個人商店より三十名餘りの求人があり、半數以上は賣れてゐるのですから卒業日までにはおよそ不足を感じるだらうと校長始め訓導達は就職難時代を餘所に鼻たかくの態です、次のは重松校長のお話

昨年第一回卒業生を出し就職希望につき保護者側と相談いたしましたところ保護者は從來の殼を破り得ず兒童の

性能を　重く見て將來の職業を決定しやうといふ重大な點を無視して體裁上大會社、商店をと希望される向が多く、兒童の希望と相反して學校側では大へん困つたため今年は昨年の失敗を繰り返さない樣にと入學當初より各兒童の性能長短を充分知る事に努め彼等各々に應じた職業を與へる樣に努力した結果割合に今年はうまく行つてゐるやうに思はれますそれに保護者側の方でも兒童に對する態度が昨年と變り大會社、商店の希望者は割に減つてむしろ個人商店などで將來獨立できる

立派な　商人を拵らへ樣と希望される樣な傾向となり嬉しく思つてゐます

不幸中學校、商業學校に入學できなかつたからといつてその兒童が無能であるとはいへないので、各兒童はそれ〴〵或る長所を持つてゐるものですから保護者はその兒童のケ所を發見する事に努力し長所をのばす樣に指導して行きましたらきつと社會に役立つ人間を造り上げる事が出來ると信じて居ます、特にこれより滿蒙土着の民として働く人間がこの滿洲には要求されてゐるのです、この意味で家庭に於ても無理な

負擔を　負はせる勉强でなく兒童の性能に適したものを修得させるといふ點にもつと目覺めて欲しいのです

昔ながらのお雛樣全盛

値段も昨年より一割方安い　机上や書棚向きにモダン雛

○▼…桃のお節句があと一月となつて、輝かしい內裏樣や官女があちこちの店の緋毛氈の上に並びはじめました。お雛樣！それは昔からのあらゆる日本女性の憧れでありました。お雛樣をまつる氣持は昭和の今日も矢張り昔と違ひありますまい。でお節句のお雛樣は古典的なもの―緋毛氈にのつた一對の內裏樣を一番上に、官女や五人囃や隨臣、衞士等がその下にかしづいてゐる―を本格的に並べたいといふ人が多く、この傾向は時勢に逆行して昔ながらのクラシックなお雛樣が全盛です。

○▼…しかしこのお雛樣を一通り揃へるには少くとも數十圓、ちよつと體裁を張らうとすれば何百圓といふ多額の金がかゝりますので、近年は近代雛壇十五人揃などいふ小型でちやんと組になつたものが一般に迎へられるやうになりました。これで安いのは三圓位から木目込でも十圓から二十五圓位までですから狹いお家や轉勤などの多い御家庭には大變重寶です。

○▼…かうして古典的なお雛樣がよろこばれる一方新らしい小型の變つた所謂モダーン雛もお孃樣や奧樣方に愛好されて机の上や書棚の上に氣の利いた姿を現はすでせう、本年度―32年型のお雛樣としてはお雛さまの女夫がマイクの前に立つてゐる「GO雛」襷がけの官女がラケットを振つてゐる「テニス雛」K・Wと女夫に仕立て優勝カップを添へた「早慶雛」綠の丘にパラソルを背景とした「ピクニック雛」桃源の別天地にキャンプを張つた「キャムプ雛」

○▼…時局を捉へたものでは滿蒙の地圖を踏んで平和のシムボルの白鳩を手にした「滿蒙平和雛」この他ナヨイと押すと東天紅と鳴く曉鷄雛、ピエロ雛、ブックエンド雛、パラシウーター雛、野球狂時代雛、漫畫雛、新舞踊照明裝置雛、さては時節柄不景氣雛など眼の前の社會相を巧に摑んだ趣向、樣々のもの―これで六七十錢から二圓位までです、さてお値段は諸物價騰貴の折ですが昨年に比べれば尚一割方廉いさうです。（三越、船塚調べ）

一 タイチャン　トサルハ　ククラレタママ　ウマニノセラレテ　ドコカノヤマノ　フモトニ　キタ

二 コレカラ　アルクンダト　イハレテ　ダンダン　ヤマノナカニ　ハイツタガ　オホキナ　イワヤノマヘ

三 ヤカタ　ガデテキテ　タイチャンニ　サアオハイリト　ヤサシク　イツテクレルノデ　ズンズン　ユクト

四 アツト　オドロイタ　イワヤノナカハ　ヒロクテ　ゴチサウヲ　タクサン　ナラベテ　オイシサウ

童話　月夜の凧　（2）

八木橋ゆじう

眞紅なお陽さまが、西の山にころげこんで、夕闇がまつたく街をおほひつくされば、勇吉は事務所から歸ることが出來ませんでした。

街の十字には、自動車のヘッドライト、赤いテールが火花のやうに入れ違つて夜が來るのでした。赤や、星色のネオンサインが、なんとなく人々の心持をうきくさせる街の底を、空の辨當箱を抱えた勇吉が、凧の事で頭を一杯にしながら、テク〳〵歸りました。

「さうだ。家に歸つたら凧を自分で作つて見やう」

しかし

「困つたな、せつかく作つたところで、家に歸るのは夜だから凧を上げる暇がないや」

この事は、道々歩きながら考へてゐる頭の中で鉢合せするのでした。

同じやうな事を、なんべんも繰かへして、結局作つて見る事にしました。

「おつ母、只今」

「あ、勇坊かい？お歸り、寒かつたらう」

「ちつとも寒かあないよ」

「ずゐぶんお疲れだらう。さ、御飯が出來た」

勇吉の家は、お父さんが五年許り前に亡くなつて、お母さんと二人暮らしでした。

淋しい貧しい夕餉です、しかし勇吉親子にとつては、これ以上の樂しさがあるでせうか。夕餉を濟ますと、勇吉は物置から、古い箒を持ち出してきました。

「そんなものを持ち出して何をするのかい？」

お母さんはいぶかしさうに勇吉の顔をのぞき込みました。

勇吉は、庖丁で古箒の柄をだまつて切りはなしてゐました。

お母さんが、針仕事をしながらこくり〳〵居眠りを始めても、勇吉は、一生懸命でした。

古箒の竹の柄を、ようやく切り離して、今度はそれを細く割り始めました。

凧の骨を造らうとするのです。細く竹の柄を庖丁で割つてゐる勇吉の頭の中には、廣々と澄んだ青空に凧が光つてゐました。

「どんなに愉快だらうなあ」

しばし手を休めて、勇吉はうつとりその凧に見されて了ひました右に、左にかすかに揺れ動きながら、糸を張らして悠々とあの凧が勇吉の頭の中の青空を上つて行くのでした。

おいしい牡蠣料理

▲フライドオイスター
牡蠣を洗つて水氣をよく切り、鹽、胡椒をふりかけ、玉子をくゞらし、パン粉をまぶしつけ、手の平でよく押し再び玉子をくゞらせてパン粉を更につけて狐色に揚げて供します、出します時にレモン一切とパセリを添へます（鷄卵は牡蠣六個に對し玉子二個の割合）

▲パンブロイルドオリスター
大きい牡蠣を目ざるにてよく洗ひ布巾で水氣をよく取り、バターを引いたフライ鍋に入れ、手早く鍋を動かし乍ら兩側を燒きバターを引いたトーストパンの上にのせ鍋の底に出た汁をかけその上に、別に適宜のバターを鍋に溶かし、鹽、胡椒少量のレモン汁及び刻みたるパセリ少々を加へて作つたソースをかけて供します。

▲牡蠣飯
米一升、牡蠣、好みの量、醬油八勺、酒八勺、水は蠣の煮出汁と合せて一升一、二合
牡蠣を下拵らへして、醬油、酒とを煮立てた中でざつと煮出しておきます、牡蠣の出汁と水を合はせて水加減して御飯を炊き御飯が蒸れて竈にうつす時に煮ておいた牡蠣を混ぜて熱い中に供します。

寶の塚を目當てに最前線に向ふ邦人
滿洲へ滿洲へて奉天に集る群
そしてそれから後は

【奉天】憧れて來るべき滿洲の理想鄕、寶庫の開扉を夢見て內地からドシドシ滿洲に入りこむ、在滿邦人も之に刺戟され一攫千金にでもありつかうと勝手な理窟をつけて最前線の都市例せば錦州、鄭家屯、チチハル等に出かける、先づ事件の中心地たる奉天に內地その他から雪崩こむものだけでも容易な人數ではない

お影 で各旅館は全部滿員料理店、飮食店も事件前のやれ閉店、やれお撤縮などのいたましい等に比し現在ではやれ改築、やれ增員といつた全く掌を返した程變つた繁昌振りである、また錦州方面よりの現狀を聞くと同地に入りこんでゐる邦人が四百名、日本側の料理店が廿三軒、飮食店十二、旅館八その他運送業、印刷業、菓子店、豆腐店、寫眞業、鮮魚商、雜貨店、米穀商、兩替店、古物商、自動車業、湯屋、屠牛場等次から次へと營業許可願ひをその筋に提出してゐる

有樣 である卅一日も奉天署保安室に柳町四番地〇〇家の藝妓が訪れ錦州へ旅行許可願を出したその理由は知人の許へ行くといふ極めて漠然たるもので本人は鞍替へでも何でもないと云つてゐたがさもあれば兎も角そうでなければまかりならぬと斷然言渡されその藝妓もハッとしたやうに立ち去つたといふエピソードもある好況振りである、しかし內地から滿洲目ざして奉天に入りこんで來たものは見ると聞くとは大の相違に旅費さか

資金 さか持參した多少の金額も既に使ひ果し宿は追はれ寢るに寢る處なく食ふものなく窮極の果ては警察へ泣きつく狀態で每日數名づゝ押しかけ身の振方を相談に及んでゐるその中には三月又は明春卒業すべき學業をなげうち千金を夢見てやつて來る無鐵砲極まる學生生徒も少くないので警察當局でもこの處置に手を燒いてゐる

機敏周到な此三少年の美擧
二少女を救助した三少年の表彰式

【旅順】去る廿五日午後二時過ぎ旅順後樂園瓢簞池氷上において工大事教官田中大佐の令孃溫子(八)同姉妙子(一一)を救助した旅順少年團員大利義雄(一三)相原正身(一三)分須勇治(一三)の三君に對する表彰式は一日午後三時から第二小學校講堂に於て行はれ米內山團長、加藤警察署長からそれぞれ表彰狀及び賞品を授與され團長から訓示感謝の辭を受け團歌を合唱閉式した尚當時の模樣を聞くと實に少年團としての性能を遺憾なく發揮したもので奇しくは又滿洲最初の旅順少年團である、その立第八回記念式の前日此美擧が行はれ然して社會に一大センセーションを與へた事である、卽ち

當日妹の溫子（八）さんが薄氷の所に至り池中に陷つた、それを見て驚いた姉の妙子（一一）さんは無我夢中妹を救はんとして駈けつけた處外套を着たまゝ同じ水中に陷落した、此の時附近に餘念なく辷つてゐた大利君はこれを發見するや「スワ一大事」とロングの力に任せて馳せつけた處誤つて自分も又その水中に陷ち込んで全身沒入した、此時左右より姉妹に取縋がらるゝ虞があつた、姉の妙子さんは感心にも妹を先きへ助けてと云ふ觀念から協力氷の割れ口に妹を取りつかせたその時相原君は自己の携帶せる救命綱を手早く妹の方に投げ與へた處妹の溫子さんも都合よくその綱を握り三人協力漸く引上げる事が出來た

此時溫子さんは氷上に座したまゝ感慨無量の體であつたそうである

相原君が綱を投げた時傍の分須君は「これは綱ばかりではいかぬ」と直感しロングを穿きたるまゝ溫室にかけつけ支那人ボーイと共に一本づゝ棒を持來りこんどは姉の妙子さんが浮つ沈みつしてゐる穴の緣に二本の棒を差しかけ辛うじて溫室迄運んだが此時もズブ濡れの大利君は共に協力した、妙子さんは多少永く水中にゐた爲め餘程妹より弱つてゐた、一方分須君は新市街はマサカの時に馬車が間に合はない、と云ふ考へが頭に閃き溫室より早速御路に驅出し獵師一臺の馬車を雇つて來た溫室では小宮夫人、山本大尉夫人がストーブの傍らで二姉妹を介抱してゐるのでその馬車に再び飛び乘り田中大佐の宅へ驅付け事の次第を告げ着替を用意して田中夫人と共に引返して來た、そうすると相原君は大利君のズブ濡れ姿を見かね救助の業成るやそのまゝ出診所に韋駄天走り大利君の着替を持つて來たもので實に此三少年の機智周到、勇敢、その犠牲的精神は崇高なる模範的少年團員として旅順少年團の一大誇りである

撫順聯合婦人會
二十團體參加して廿一日盛な發會式

【撫順】撫順聯合婦人會創立總會は三十一日午後一時より高女講堂に於て開會在撫既成各婦人會二十團體よりの會員有志三百餘名出席寺田警察署長、宮城驛長、藤永郵便局長等來賓多數臨席の下に寺田幹事の開會挨拶、齋藤副會長の挨拶、原田社會主事の經過報告、あり次いで規約及び細則の協定に入り滿場異議なく原案を承認終つて一時半より約一時間半に亘り關東軍參謀矢〇少佐の時局に關する有益なる軍事講演あり一同に感動を與へ、寺田署長の謝辭、原田主事の聯合會創立に關する所感を述べ三時十分盛會裡に閉會した、尚同聯合會は帝國の滿蒙に對する期待の重大性に鑑み女性として又母性としての立場より在滿各婦人團體が一致團結し之に善處せんことを期しその創立を見るに至つたものだけに事業も時局に善處を第一に家庭生活社會生活の改善、婦人兒童の保健方法を講ず、兒童の訓育方法を講ず、婦人の修養、救貧之資事業に協力す等が揭げられてゐる

タクシー射たる

圖所及び奉天警察官が宿舍を襲つた同一犯人と目星をつけ目下嚴探中である

【奉天】三十一日午後三時頃琴平町十二安全タクシー運轉手朝鮮人崔利泰(二〇)が陸軍將校を乘せ兵工廠附近を進行中突然狙擊したもの

あり後は頭部に貫通銃創を負ひ直に赤十字病院に收容手當中であるが生命危篤の狀態である狙擊犯人については目下嚴重搜査中である

巡邏中射たる

【鐵嶺】法庫門駐箚中の步兵〇〇聯隊第七中隊當井軍曹は三十一日午後七時頃市中巡察の爲め佐藤、和田一等兵を隨へ憲兵所を出で西門より約三百米突程の地點を巡邏中闇の中に擧動不審の支那人を認め誰何せしところ犯人は突然狙擊し軍曹の右腕部に貫通銃創を負はせ闇に紛れて逃走非常搜査を行ひたるも逮捕するに至らなかつた、軍曹は生命に別條なき模樣

奉天中學優勝す
中學校アイスホッケー

【奉天】全滿中等學校アイスホッケーリーグ戰は卅一日午前十時より滿洲醫大氷滑部主催の下に醫大屋內リンクに於て開催された參加校は奉中、安中、長商の三校で本年最初の試みとして各校とも必勝の物凄い試合を演じたが安中對長商は長商が常にリードし六對一で長商勝ち又奉中對安中も奉中、安中を壓迫し四對零で奉中捷ち最後に奉中對長商の試合では兩軍更に緊張し大接戰を演じたが結局三對二で奉中優勝した閉戰午後四時半

安奉沿線の警備
朝鮮側から應援
警官二百名を急派

【安東】目下安奉沿線の警官增員急なる折柄とて朝鮮總督府より之が應援警官の派遣を爲すこととゝ決定し二百名の警官が今明日中に着安の豫定である、從來關東廳よりの臨時應援隊は無期限に之を駐在せしめることは事情が許さぬ關係上約百名を朝鮮よりの應援隊と交替せしめ歸還せしめて事務に就かしむる模樣である、事變前の安東署員（安東草河江まで）は約百五十名であつたが關東廳からの臨時應援隊によつて之が四百名となり又一兩日中に總督府より二百名の應援隊が來る事となつてゐるから總計六百名となる、その中關東廳よりの應援隊約百名を歸還せしむれば五百名となるから時局事變突發前に比して三百五十名の增員となるものである

餓死線上を彷徨する同胞避難者二千名
安東でも對策に窮す

【安東】事變勃發以來兵匪賊の暴虐に耐へきれず避難する者逐次增加しつゝあり或時はそれが收容所に困窮し或る時は個人生活より集團生活へ、溫突生活より無溫狀態の收容所生活への變化は、漸く死地を脫し得た人々をして二度病臥は襲ひ特に近日來の氣候は到底集團生活に耐へきれず罹病者、死亡者は多數續出し滿鐵及び地方篤志家の力を得て施療、埋葬等萬策を講じつゝあるが昨今又復避難民激增し一日百名乃至百五十名の避難民あり現在の收容人員を合すれば實に二千名を突破せんとし是が收容所救濟費にさへ困窮し、朝鮮人會として今後如何なる方法をさるか或は萬策つき避難民諸共餓死線上を彷徨し朝鮮人會側の焦慮その絕頂に達してゐる、一方平均五十名程度の避難民を朝鮮側に送り屆けてゐるが故鄕を出てから十何年歸つて見れば知人すら今はなく其處へも側は付纏ひ仕方なく二度安東へ歸安する者其半數以上に上り今では歸來を納得する者すらなく漸次之等朝鮮側の餘りにも冷淡なる態度に憤慨する聲さへ起りつゝあり朝鮮人會側としても全く施すべき策すらつきた有樣である、金會長を訪へば氏は語る

避難鮮人は續々增加しつゝありそれに又一兩日中に寬甸縣より三百名ばかり來安する事になつて居り、朝鮮人會は一體どうなる否それよりも之等避難民を捨置けば彼等はどうなる、それこそ由々敷き人道問題です、私はこの際斷然起つて同胞幾千の爲め及び之が解決救濟の爲め朝鮮總督府に陳情解決を歎願する考へです

奉天に三人馬賊
着衣を强奪逃走

【奉天】三十日午後七時奉天浪速通三十四番地秋林洋行店員露人バードル(二七)及び滿蒙毛織會社構內居住守衛の露パリキン(二九)の兩名が附屬地より鐵西公和橋同會社中間路上を步行中物陰より三名の支那匪賊現はれ拳銃をつきつけて兩名を脅迫金品を强要したが金錢を所持せぬと答へると突然拳銃を以てバードルを射擊し同人右肩に貫通銃創を負はした上兩人のオーバーを强奪して皇姑屯方面に逃走、急報により奉天署より松井司法主任以下十名急行したが既に逃走後にて手懸りなく[illegible]

日本人聯合會理事會

【奉天】全滿日本人聯合會奉天本部に於ては來る二月六日午前九時より奉天滿鐵俱樂部に於て左記に依り全滿同會理事會を開催する事となつた

一、場所　奉天滿鐵俱樂部
一、日時　二月六日午前九時より
一、事務及會計報告
一、上京委員運動經過報告
一、懇談會（軍部要人參加の豫定）
一、新政府に對する在滿同胞の主張及要望事項協定の件
一、新滿蒙に對する吾人の活動大體方針協定の件
一、會務報告の件

沿線往來

▲首藤滿鐵理事　卅一日長春へ
▲林關東廳警務局長　卅一日長春より來奉
▲芦田白耳義大使館附參事官　卅日長春より過奉內地へ
▲兒玉朝鮮軍參謀長　卅日京城へ
▲荒川六平氏（安東商工會議所會頭）は三十一日鞍山へ一泊
▲宮地一元氏（鞍山社會主事）は一日午前六時發列車にて安東、撫順、長春方面へ一週間の豫定にて出張

奉天に大規模の國際競馬場
舊會社の株を買收して
既に敷地問題も解決

【奉天】四年前から日支合辦により國際競馬俱樂部會社は株主の據込み不能と馬場敷地その他の關係から今日まで放棄されてゐたが最近新國家樹立を目指して同社關係者間に復活促進の運動が擡頭し同社の舊株を買收し新規大規模の國際競馬俱樂部會社を創立する段取りとなつてゐるそして既に支那側某要人間に融資の諒解成り馬場の買收問題も解決した模樣で數日前から新株二千株の公募を開始してゐる、來る解氷期を待つて地均しに着手する運びに至ると云はれてゐる而してその馬場は北陵ゴルフ場附近の土地六萬坪を敷地に充當する筈でこれが實現の曉は上海の國際競馬場を凌駕する馬場となるべく早くも競馬ファンから多大の期待を以て迎へられてゐる

光輝稀に見る戰ひ
一兵をも損せず敵を殲滅した
前小煙臺の戰鬪詳報

（二）

天候　一月十七日は晴、一月十六日夜半より俄に吹き出したる滿洲獨特の蒙古嵐は砂塵を卷き氣溫又降下して十七日午前五時頃零下二十六度を示してゐた、日の出時刻午前七時二十分なるも黃天砂塵のため未だ日沒時刻午後五時二十分、後半夜月なく明暗の度十米突前僅かに單獨の人影を認めらるゝに過ぎず、氣溫降下と黃塵吹き卷く蒙古嵐とは本戰鬪に最も影響を及ぼした、敵の根據地たる前小煙臺は其の周圍西より東北方向に幅十米突南側に幅五米突乃至七米突の各々堅固なる堤防を築き堤防內人家には側防樞舍を備ふる圍壁を有するもの多く要害の地なる上に同村西北側地區は開豁して瞰視自在射界廣濶、實に地の利を占めたる要塞なるを以て直接之れを攻擊する爲めには自然大なる犠牲を覺悟せざるべからざる戰鬪上我れに不利なる點のみの狀態にあつた

◇

本戰鬪に於て交戰せし敵は沈旦堡附近を根據とし暴戾の限りを盡し附近部落農民を極度に疲弊に陷れたる大頭目李芳林の一派にて其の將帥頭目大須子の率ゆる全員五百より成る騎馬隊である、常に抗日鐵血義勇軍と稱し又救國鐵血義勇軍とも號したる最も殘虐性に富む部隊である、我軍の兵力は大石橋岩田大隊の一部にして戰鬪參加兵數大隊長以下四百の兵員のみ、山砲を主體とするものを以て前小煙臺南方地區より拂曉之れに砲擊を加へ敵を西北方地區に退却せしむる任務を帶ばしめ步兵部隊の主力は拂曉前々小煙臺西北方地區に包圍の隊形を以て極力隱密に展開し敵の退却し來るを待ち至近距離に於て之れを殲滅するの任務を帶びて就中葛目少佐は山砲を主體とする第三中隊を指揮し午前一時遼陽を出發し折柄吹き卷くる黃塵を犯し徒步井頭屯後方二堡を經て前小煙臺道を夏家窩棚に向つた

◇

從來の戰鬪に於て頑强なる兵匪と雖も我が軍の襲擊を察知するや巧に逃走するの例あるので我部隊は目的地區に達するまで途中に於て小部隊の匪賊軍と交戰空しく時間を浪費するを避け故らに部落通過の際は迂廻の方法にて翌朝午前六時三十分迄强行軍を續け目的地に到達した、大隊本部主力及第一、第二、第四中隊は鐵路煙臺に至り午前二時煙臺を出發し大荒地後窩草溝大黃屯を經て煙臺道に出で午前六時三十分迄に第四中隊は前八家子に第一中隊は王家溝に第二中隊は小新庄子に何れも極力隱密展開旬開隊形を敷き敵軍の至近距離に退却し來るを待ち受けた、斯くの如く萬難を排し黃塵天を蔽ふ暗夜而も零下二十有六度の嚴寒と戰ひ强行軍に次ぐに强行軍を續け指定時刻には各部隊共其目的部署に就き戰機のいたるのを待ち受けた

（寫眞は前小煙臺攻擊のわが軍）【大石橋支局發】

撫順

撫順附近馬賊

山谷起伏せる本溪縣下要礙の地域を根據にして撫順、新濱、營盤等安東沿線から瀋海沿線一帶を跨にかけて配下千數百名を擁して横行掠奪を恣にせる總頭目鐘子臣以下の強暴なる馬賊團の討伐に就いては嚢て沿線各日支警察署守備隊等屢々出動驅逐しつゝあるも賊團は次から次と良民を狩り立て、之に武器を與へ配下として益々強大を加へつゝあるが、目下鐘總頭目以下頭目王棠、王占、一郎、希侯、劉玉鵬、小和尚、楊秀峰等は配下千六百名を擁し本溪縣、興京縣の縣界望城崗子、馬圈子、楊草部落に宿泊同地を根據として附近各部落を横行してゐる

炭塊

市川右治丸舞踊研究所主催軍人、警察官及び同家族慰安演藝會は六日、七日公會堂に於て開催の筈で、一般市民の後援會費は三十錢均一但し階上小人十錢となつてゐるが、同夕は軍警同家族の慰安藝題として舞踊「初子の日」「小鍛冶」「助六」歌舞伎「野崎村」「白石噺」各一幕、及び新作レビュー五景を紹介すると▲大連西部公議會顧問孫午蓮(茂卿)氏は今回撫順縣公署の渉外事務を擔當することゝなり一日着任炭礦事務所其他を歴訪挨拶した

訂正　本欄一月「卅一日印鑑偽造犯人」記事中永安大街益田孝雄逃走中の如く記載しあるも右は全くの誤記にて犯人と被害者と轉倒し益田氏に多大の迷惑を及ぼせるに就きこゝに訂正す

安東

安東の猩紅熱

正月に入つてから發生し目下益々蔓延しつゝある安東の猩紅熱は現在患者三十名を越し滿鐵病院其他市中醫院等も之がため滿員の狀態にあるので斷然此際之等を一掃するため豫防注射をなすことゝ決定施行場所及び日程は左の通りである

一日二日　六道溝家庭研究所
三日四日　山手町滿鐵クラブ
五日六日　安東公會堂
八日九日　南地座

遼陽

遼陽振興策

遼陽振興期成會では振興策の專門委員詮衡方を詮衡委員に一任されて居たので三十一日午後八時から詮衡委員會を開き協議の結果植樹其の他の關係事項は森、小林、谷田川の四氏白塔溫泉は渡邊、杉田天土の三氏競馬場は谷田川、佐々野、林の三氏、引込線は高木、林西田、猿渡の四氏に依囑することにし散會した

實業會復活が

遼陽實業會の復活問題に付いては正副會長の諾否が第一問題であり積極的か消極的かゞ第二問題であり書記長や經費問題が第三問題であつて暗礁に乘上げた形であつたが三十一日夜有志懇談の結果高木林、安率、梶原の四氏が近日會合して評定することになつたので何とかけりがつくものと觀測されて居る

眞綿を御下賜

遼陽憲兵分隊員に對し一日午後着急行列車で眞綿御下賜になり隊員一同之を拜受したと

社員會幹事會

遼陽滿鐵社員倶樂部では一日午後一時半から幹事會を開き左記の諸件協議の結果六年度決算報告七年度豫算に付協議したが六年度實行豫算は三千六百九圓四十四錢で七年度の收入豫算は三千三百六十三圓三十一錢であると因に遼陽倶樂部の收支は機關區及び列車が今秋撤退さるることも新年度豫算編成上相當考慮して居ると

警察署員增加

遼陽警察署には一日巡査十名が增配され着任した

高橋氏講演會

遼陽社員會倶樂部主催で二日午前十時半から鞍山の高橋氏を聘し修養に關する講演會を催した

鞍山

開帳中を逮捕

原籍海城縣牛莊城內現住所鞍山南八番町一四無職胡潤亭(五四)及原籍遼陽縣遼東双横臺現住所遼陽縣八封溝二道街旅館營業長寶奎(七五)の兩名は時局柄官憲の警備手薄に乘じ八封溝二道街にある張寶奎所有の家屋を大洋二元にて一月廿一日より借り受け遼陽、立山、千山、鞍山、海城等より毎日數十名の賭博者を集め開帳してゐることを鞍山憲兵分遣隊の探知する處となつた、吉村伍長は去る二十八日夜憲兵三名と共に同家屋に踏り多數の博徒が賭博開帳中に踏み込み一網打盡二十三名を逮捕し分遣隊に於て嚴重取調べの結果賭博親分張寶奎は八封溝半警察署長に預け胡潤亭は鐵西鞍山農商聯合會に預け外の二十一名は八封溝商務會及鞍山商務會保證の下に三十日放還した親分の張及胡は支那側に於て近く嚴重處分すると

家出して離縁

鞍山苗□居住の中野一榮(假名)は去る卅一日午前九時頃無斷外出し夜に至るも歸宅せぬので妻女は頗る心配し夜もすがら眠らず居たが一日中野氏より妻女に對し一通の手紙が到着した、內容は本日限り離縁なした亦築福島大平(假名)と絶交するとの意味の手紙であつたので妻女はいたく心配し各方面を捜査したが全く行方不明である、斯くと知つた鞍山實業□□年團は一日午後四時半より鞍山管內を限なく捜査したが何の端緒も得ず歸鞍した

マスクを贈る

鞍山時局婦人團ではマスクを一千三百七十七個作製し鄭家屯方面の守備に出動中の鞍山獨立守備隊第六大隊の將士に對しマスクを二日發送した

滿鐵社員戶數

鞍山附屬地管內の滿鐵社員十二月末現在の戶口調査を示せば左の如し

		戶數	人口
鞍山	日本人	八一四	三、六六六
	支那人	四三八	二、七一〇
其他	日本人	一〇六	三四九
	支那人	九五	四一八
計	日本人	九二〇	四、〇一五
	支那人	五三三	三、一二八

公學堂同窓會

鞍山公學校第一回の卒業生を以て組織されたる第一回同窓會は去る十五日午後一時より公學校に於て開催され相互の親睦を圖り母校との連絡を爲し時局重大なる此の時に鑑り善處すべく有意義な宣言書を配布した

井井寮炊事請負人

鞍山滿鐵社員獨身宿舍井々寮の炊事請負人は來る三月三十一日を以て契約滿了するので炊事では炊事請負人を募集して居るが希望者は履歷書、同居家族數、鞍山在住保證人二名等の書類を添へ來る十五日まで寮幹事に申込まれたしと現在寮員約百二十名にて一ケ月諸請負金額朝晝夕の定食十五圓朝夕の定食十圓五十錢臨時食朝十五錢晝二十錢夕二十五錢

大石橋

□□□□招宴

□□□□□□山盛之助及び從山卯三郎の兩氏は時局發生以來居住邦人との連絡協調を保ちつゝありしも事務多忙のため親しく懇談する機會を得ざりしが昨今諸種萬端の膳立ても漸く落ちつきたるを以て一月卅一日午後一時より城內大門裡支那料理店料盛園に蓋平附屬地及び城內居住邦人三十有餘名を招待し慰勞懇親會を開催したるが主客歡を盡し和氣藹々裡に午後三時解散した

無理退院强要

客年十一月二十四日沙崗事件に於て名譽の負傷を爲し爾來當地病院に於て治療中の村岡巡査は右手第四指及小指の屈伸未だ自由ならざるも人指し指に支障無く銃の操法等に何等關係無しとして院長に無理退院を迫り一月三十一日事件負傷以來六十八日目に退院し南滿面漸く險惡なるに鑑み第一線警備を署長に志望して居る

金州

果樹剪定開始

千町歩を遙かに超ゆる廣大な果樹園を有する金州では十數年來の引續く好天に惠まれて數日前から各農園共一齊に剪定を開始したが此の天候で百パーセントの能率が發揮さるゝので例年よりも短時日裡に終了するものと見られてゐる

義捐金應募者

金州時局後援會に於て募集中の戰死者遺族並に戰傷者に贈るべき義金に其の後左の諸氏が應募した
▲三圓十錢農業學堂職員▲四十七圓七十錢關東廳農事試驗場職員有志▲四圓八十錢公學堂南金書院職員有志▲五圓四十錢金州保線區員▲五圓小島輔氏▲五圓安永乙吉氏

城外城　生

料亭玉乃家は紅裙一族郎黨を引連れて此の程南滿遊廓へ進出した
◇
金州驛の竹澤助役は應援のため某方面へ向け出張した
◇
根本的改革の聲が擡頭するに至つた金州婦人會では近く總會を開き具體的方策を決定の筈
◇
金州時局後援會では開原に應援の爲出張中であるが金州署司法主任佐藤敬治氏に對し近く慰問品を贈呈すると

旅順

警備隊後援會

旅順靑年義勇警備隊後援會員は目下約日支人合して千名を算するに至つたが一日旅順公義會より支那人側全部として合計四十六圓の現金會費を送附して來たそれによると五十錢口三十二名、二十錢口百五十名である

御めでた

▲元寶町一三五　佐藤政藏氏三女住興子嬢十九日出生▲出雲町一　吉田伊一郎氏三男次市君二十三日同上▲秋津洲町　安田琴一氏二女トモ嬢十七日同上

不破少佐以下戰死者の遺骨

【奉天】過般新立屯に於て名譽の戰死を遂げた不破少佐以下十六士の遺骨は奉天着と同時に當地奉天寺に安置されてあつたが二日朝七時十五分發列車に原隊に送還されたが奉天光明婦人會は主催となり一日午後二時より奉天寺に於て右戰死者の追悼會を營んだ稀に見る盛儀であつた

杉山曹長遺骨

【安東】先般濱寶城匪賊討伐の際名譽の戰死を遂げた安東守備隊故杉山曹長の遺骨は以來安東守備隊に安置され戰友の手で朝夕懇ろに弔はれてゐたが愈々一日午前六時四十五分發北行し奉天に於て他戰死者と共に大連經由一路故國に歸還することゝなつた

第二の反抗 (140)

三宅やす子
阿部金剛 畫

伯父の代理(四)

伯父はもう待ち兼ねて居た。
「あ、よく來て呉れた——あゝ、まあ、いろ／＼話があるんだ」
眼をしよんぼりさせて居る。
「どうなさいました。佐枝子さんに心配事が出來たやうですが——」
「それが、あまり突然なんでね——尤も、遠因はいろ／＼あるだらうが、今度の衝突は突然だ」
「ハア」
「氣になるからさつき、電話をかけて、佐枝にも訊いた——電話がなか／＼通じないで、こつちも焦れて居た譯だつたし、電話が遠くて、よく聞きされんこともあるし、まあ、佐枝はもう決心は動かさないことに、ちやんと夫婦で話がついてますから、と落つき拂つて居て手がつけられない——俺はそんなことはならん、と怒鳴りつけてやつた。すると、さうですかつて電話を切つてしまつた。呆れた女だ。俺には、もう手の下しやうもない、頼む。行つて仲裁して來てくれ」
「僕なんかに仲裁役がつとまるとは思へませんよ。かういふことはもつと、年配の方でないと——」
「いや、若いからいゝんだ。お前が若いから、また佐枝を動かす力があるんだ」
「………」
「舊弊にしたつて、若い者同士の方が、話が滑らかにゆく。第一、年寄に云ふやうな遠慮がないからな」
「だから——どうも——」困つた
寮一が聽たかく傍から
「寮さん。伯父さんが折角あゝ仰しやるんだから、行つて下さいよ。ほんとにとんだ御足勞だけれど」
「いゝえ——そんなことは構はないんですが——」
「寮さんも、此頃は忙しさうだから——ちつともうちにも見えないのに」
と少し、女らしい皮肉で
「こんなこともお頼みするのは、惡いつて云つたんだけどね」
「………」
寮一はしばらく考へて居たが
「では、あちらから云つて來た書分を一通り——手紙でも見せて頂けたら——」
「よし、これだ」
寮一は絶えて久しい佐枝子の手紙を見た、あの快活な、冗談ばかり書いた彼女の手紙を見なれて居た彼には、何といふ變りやうが、手紙の上にも見られたことか。
(あの人は變つたらうな)
「最近ある女の事件で、夫婦の間には、越え難い溝をこさへてしまひましたから、近く別居いたします」と書いて「女と申しましたが、これは最近に夫が親くした女といふ意味ではございません。御思ひ違ひのないやうに」とつけ足してあつた。
「何の事でせう?」
寮一は伯父に訊いた。
「何の事だかわからないよ。まるで謎だ」
「行きませう——伯父さんの御希望にそへるかどうか、あぶないが行つてよく訊いて來ませう」

『全員彈丸悉く盡き肉彈で斬り拔いた』

昨夜悲しくも松尾中尉等の遺骨大連に到着す

錦西小嶺子方面に於て數百名の敵から包圍され戰史にも未曾有の壯烈極まる全滅を遂げた松尾中尉以下二十五名並に新立屯方面に於て三方より敵の攻撃を受け戰死した不破少佐以下十五名その他合せて五十三名の戰死者の遺骨が二日午後八時二十五分大連驛に到着した驛頭には軍部、海軍、青訓生徒、各團體、各宗僧侶、その他市民プラットフォームを埋め小川市長辛島民政署長、石井警察署長江口滿鐵副總裁その他官民有力者の出迎へあり

戰友 を代表して井上三等獸醫の挨拶あつて後一般の禮拜をなし遺骨は遺族、戰友、海軍等に護られ關東倉庫に安置された、遺骨輸送の任に當つた宍倉曹長は松尾中尉以下の戰死當時の模樣に關して語る

松尾中尉以下二十五名の輜重兵隊は一月六日二十七騎隊に糧秣を供給する爲めに錦州を出發七日錦西に到着し無事任務を遂行した、その夜驛近くに匪賊が襲つて討伐に向つた當時松尾中尉の一隊は豫備隊として錦西驛に殘されることゝなつた處非常に殘念がつて是非參加させて貰ひたいと懇願して之が容れられて第一線に立つた所驚くべき

勇敢 さを發揮し同地の駐屯部隊員も舌を卷いたと云ふことさである、輜重兵ではあるがそれ程に他兵からも信頼されてゐたで錦州に向けて引返したがその九日中尉以下他の任務があるの途中小嶺子東方高地に於て約八百名の敵から襲撃され激戰中、他の敵が側面から現れその內後方からも射撃され全員戰死するに至つたので後から調べた處に依ると最後には全員彈丸悉く盡き肉彈をもつて切つて切つて切り拔いた跡がよく判る、そして松尾中尉の如きは身に數十ケ所の刀傷や彈傷があつた程である私と他に若干名はこうして

戰友 の遺骨を鄕里(關東地方)に屆けてすぐ又引返し必ず仇をとるつもりです、吾々生殘りの者は生きて凱旋しやうなどとは一人も考へてゐません、唯弔合戰の時機を待つばかりです

前線の軍警に新聞を贈る

敷明、彌生、羽衣の三高女では大連婦人團體聯合會の希望を引受けて毎日不用となつた新聞を集め、第一線に活動しつゝある軍隊警官滿鐵社員等に之を寄附することになつたがこの試みは多分非常な歡迎を受けるものと觀られ前記各校では一般にこの趣旨に贊して當分の間讀了の新聞を生徒に持たせて貰ひたいと希望してゐる

十字火を浴びてつひに戰死

不破少佐等戰死の狀況

又新立屯附近の戰闘に於て不破中隊長以下十五名の戰死した當時の狀況につき右戰闘に參加した井上三等獸醫は語る

不破少佐の率ゐる騎兵中隊、衛生隊其他は一月十一日朝新立屯を發して敵狀搜査の爲め附近の黃地と云ふ部落に行き村長から狀況を聽取した、その時監視兵が正規兵及び賊らしきもの

數名 が逃げて行くと報告して來たが自警團だらうと思つて前進した、そして六七キロの宋家窩堡といふ處に行つたところ十時三十分頃突然五臺子の高地が襲撃された、一同徒歩となつて應戰し十二時半頃まで戰闘は續いた、敵は約二千名であつた味方からは特務曹長及び兵四名が負傷したがそれでも餘裕綽々であつた、所が敵はこの時千五六百の乘馬隊が增援して側面から攻撃し漸次わが軍の後方に廻り十字火を浴せらるゝことゝなつた、一同再び乘馬して奮戰したが何しろ三方から銃火を浴び力の限り戰かつたがこの時不破中隊長廣瀨大尉及び兵一名が

戰死 し非常な苦戰であつた更に戰闘が續くに從つて戰死者續出する有樣で自分は馬を射たれて倒れたが藤原一等兵に助けられて戰死者の馬を借りた藤原一等兵の馬も倒れたが同人は僅か三十六發の彈で敵六人を倒したのが剛の者である、かくて奮戰しこれが爲めに一時敵が退いた程乍ら兵を集結し六時三十分に至つて應援の步兵隊とも連絡がされ敵を擊退した

昨夜着連した戰死者の遺骨

夫と最後の別れ

混亂の上海を逃れて

避難邦人長崎に到着

【長崎二日發】動亂の上海から危地を脫して歸還した避難者婦女子を主とする八百四十八名を乘せた長崎丸は午後二時半當地に入港したが、甲板と言はず船室と云はずこれ等氣の毒な避難婦女子の姿で一杯、船は文字通り鈴なりの態であつた、岸壁は避難民關係者、各種團體などの出迎へで雜沓を極め船が岸壁に着くや

出迎者 も避難者も只もう淚で名を呼び交しながら制止も肯かず船內へ雪崩込んで行つた、同船事務長は語る

船室の割當も出來る筈なく等級も無視し御見掛け通り混雜です今日八百四十八名引揚げて來ました、乘り切れず本船の出帆を怨めしさうに見送る人達には實に氣の毒でした本船は明朝上海に引返し又避難者を乘せて來ます碇泊中にも銃聲は繼續して聞え混雜の巷といふ言葉その儘の狀態で居留民の不安は極度に達してゐます

また夫を上海に殘して避難して來た一人は動亂勃發以來の經過と恐ろしい思ひ出を交々語る

勃發したのは二十八日の夜半十一時であつたと思ふ、豆を煎るやうな銃聲聞え間もなく

突貫の 聲が聞えた、これは支那兵の發砲に對して緊張し切つてゐた在鄕軍人がたまり兼ねて應戰したのです、そして戰は忽ち市街戰となり夜半窓から光でも洩れやうなら狙擊されるので窓と云ふ窓は毛布や布團で覆ふて仕舞ひ難を避けてゐたが窓外には銃聲と砲擊の炸裂する音物凄く終夜まんじりともせずすくみ上つて恐ろしい一夜を明かしたが翌日からは程近い第一線の戰と便衣隊の活動とこれを狩出す陸戰隊の奮闘加ふるに火事は各處に起るし只物凄いばかりこの間に在つて陸戰隊、在鄕軍人の活動殊に十四歲以上の少年隊が軍隊や在鄕軍人の間に交つて警邏に加はり少さい身で大きな支那人の服裝檢査をしてゐる

健氣な 樣は淚なくしては見られぬ圖でした、殊に支那側は前から準備を整へてゐたのに對して我軍は用意もなく地理も知らない水兵が陸上で惡戰苦闘する樣は混亂の中にも感謝されてゐましたが如何せん戰は大變我軍に不利に進展してゐるやうに聞いてゐます、支那街と云はず邦人居住區域と云はず各所に火災が起り消す人もない、大火は支那街も租界も焦土となつた地域は大變なものでせう、この大火と市街戰の中を無數の支那人避難民が雪崩を打つてゐるので混亂の狀も略想像が出來ませう、私等は三十一日の夜乘船しましたが昨日吳淞沖を出るまでは甲板にも絕えず

彈丸が 飛來するので皆が一團となつて船室に閉じ籠つてゐました、こうした混亂の中に在つても通信の任務に服する新聞通信社員は無二無三に飛廻つて材料蒐集と打電とに死を賭して驅廻つてゐるのでした、私達も萬一の場合を豫想し最後の別れを告げて來たやうな次第です

妙な極め新戰法としては子供等を三階邊りの二階から覗かせて日本人が通行すると直ちに代つて狙擊すると云ふやり方だそうです、敵軍の打ち出す野砲彈は各方面に落下してゐるが目下新築中の本願寺の本堂にも落下したと云ふ事で所嫌らはず打出されるので頗る危險です、船の支那人ボーイも大谷光瑞師宛の手紙を持つて行きましたが途中で誰何され吃驚したそうでした、幸ひ大谷さんのところへ信書を持つてゐたので事無きを得たがお蔭でその日のうちに歸船が出來なかつた始末です、我海軍の空軍も大いに活躍して空中から市民に

安堵の 胸を撫で下させてゐますが本船の出帆に[illegible]の如きは十七臺が機翼を列れて上海の上空を飛んで居りました

入港しても上陸は頗る危險

便衣隊の巧妙な活躍

奉天丸の齎した上海の實狀

上海における事態は愈々重大化し二萬五千の居留同胞も決死の臍をきめ善處しつゝあるが二日入港した奉天丸によつてその後のニュースがもたらされた戶田事務長は語る

上陸は危險と云ふので自分達は上陸しなかつたが支那人ボーイその他上陸したもの〻話を綜合すると

大變な 事ですれ二十九日着いたのですが平素なら大汽の船着場には多數の出迎人があるに拘らず僅かに數名の人が慌たゞしい顏を見せてゐる丈で入港と同時に胸を衝かれる樣な不安な氣がしました本船が上海碇泊中は大した事は無かつたがその後無線で聞くと出帆した三十一日に大騷ぎをやつたらしい自警團義勇軍その他は殆ど不眠不休で海軍陸戰隊と協力して便衣隊狩りから婦女子の安全保護に任じてゐる始末でウカ／＼警戒線內に入つて行くと誰何されその緊張ぶりは凄いやうです、支那側の便衣隊が居つたと目される建築物、店舖等は片ツ端から打ち壞されてゐますが聞く所による

便衣隊 の狙擊方法は實に巧

『北滿嵐』を放送

今夜七時半AKから

既報、關東軍司令部の臼田少佐および岡田猶馬共作、豐田旭穰作曲の「北滿嵐」は本庄軍司令官が自ら命名し三日午後七時半(滿洲時間——內地時間は八時半)から四十分間東京放送局で放送することになつたが、滿洲事變でわが軍が揮るところ勇猛果敢に戰闘をなし悲壯な最後を遂げた一句一句を織込んだその悲壯の放送は壯烈無比泪なくては聽かれぬものがある【奉天電話】

僅か十九の寡兵で敵兵一千名と獅子奮迅

日本戰史を飾る隱れた新立屯の

(一) 高木小隊奮闘物語

一月十三日頃の各新聞紙上にて「新立屯附近の戰闘で高木中尉以下四名重傷」なぞと聽して讀者にも殆ど氣のつかない位の記事が出てゐる

滿洲事變 の焦點から離れた所に起きた戰闘であるのと、その事件の關係者が極めて少數であるのとで世に知られずに埋れて了ふ性質さへある、事實は昭和七年一月十日打虎山と新立屯の中間で

「たつた十九名をもつて約一千名の支那正規兵と交戰實に五時間に及び皆が無事に救はれたといふ一大快事である、この事實そしてその當事者の努力、苦心、それは知つてい、事實であり、又それに依て日本兵が如何に強いかを知ることが出來る、當時小隊を指揮して勇敢に戰つた高木中尉は不幸右大腿部に貫通を受け遼陽衛戍病院に入院してゐる、病院勝ちな中尉から

これだけのことを聞くことが出來た、その戰闘の模樣は斯うである

この戰闘 のあつたのは騎兵の古賀騎兵隊が錦西でいたましい壯烈な戰ひをした前日だつた、高木中尉は機關銃小隊長として打虎山から北八邦里(約度これは打虎山と新立屯との中間附近である)八道壕の警備中隊に配屬せられてゐた、こゝには鐵道の給水塔と發電所とがある、一月九日中隊から

派遣部 隊としては騎兵十九名も居れば兵匪の百、二百が束になつて來ても大丈夫であらう、と思はれた、これは道理である、しかし高木小隊にぶつかつたのは二百や三百ではなかつたのだ、一月十日午前十一時頃中尉以下は命のまゝに燃えるやうな責任感と自信とを以て出發した、が意外にも餘りにも早く極めて重大なる事件となつて行く手に現出してゐる、あゝ、試練とは云へ餘りにも大きな試練だ、所詮全滅はまぬがれぬところ、たゞ賴むは一彈一敵を斃す必中の眞念と部下の己に對する信賴だけだ、小隊にとつて幸ひなことには恰度誂樣の掩合せの樣に小隊の占めてゐるのが線路を挾んだ高さ二三十米の小山で附近一帶を火制するに至極都合のいゝところである、こゝで一寸この附近の地形について說明する必要がある、敵の下馬した林は千米の前まで小隊の西方一帶に續いてゐる、小隊の西北方四五百の所に小部落、東北七八百の所に不部落そのほかは平坦開闊である

ら五邦里南、黑山に出されてゐる警備小隊長から「有力なる兵匪黑山を襲ふと諜報しあり眞實なるが如し」との報告が來た、中隊からは高木中尉の指揮で機關銃一分隊を遣ることになつた、警戒の爲め小銃手四名を加へて一行十九名である、八道壕から黑山まで五里、しかも錦州附近から四散した正規兵をはじめ兵匪の橫行してゐる極めて物騷な地區である、これに機關銃一と小銃七八を除いては殆んど無手と云つてもいゝ十九名が出かけたのである、全く危險この上なしと云ふべしだ、けれども上陸後[illegible]漸く兵匪に對し纖細の少い內地よりの

來る、敵は前面にあるもの七八百以下であらう、出かけた林に引返すと下馬

徒步攻擊 に移つた、一部のものは右前方から我が背後に向つてゐる、敵はもう馬で刻々小隊に近づいて來る、叢林を今や出やうとする乘馬隊を見た、先頭には紅旗を翻へしてゐるが後尾はとこさわからぬすばらしいものだ、高木中尉は思ひもかけぬこの優勢な敵兵にあまりにも突然遭遇し、如何にこゝを切り拔けるべきかに一時は途方にくれた、が任務、任務、任務の遂行が自己に與へられた唯一の行動の規範であると頭に浮ぶや決心したこの部隊を突破つて與へられた任務を完うしよう、さ、機關銃から下す、もうばらばらと彈丸が

せめて五千人の警官を增員

一部の人事異動は止むを得ぬ

林警務局長來連語る

關東廳新警務局長林壽夫氏は二日沿線の視察を終へて來連各所を訪問就任の挨拶を述べたる後ヤマトホテルにて晝食をとつたが、ホテルに訪ふと何等の裝ひ氣もなく全く村夫子そのものゝ態度でテキパキと記者の質問に答へた

今回就任の挨拶旁々沿線各地を視察して來たが、何と云つても沿線に對する警官の增員は刻下の急務だ、さりあえず朝鮮から二百餘名の應援を仰ぎ、本日あたり奉天に到着した筈だがこれ位ではまだ／＼足りない、沿線における警官の苦心は實に氣の毒だ、今のところ警官と云ふよりも匪賊討伐隊に外ならぬ、散らばつてゐる匪賊の殘黨を討伐するだけで精一杯、とても警察事務に當ることは出來やしない、自分の理想としては此處に一萬人の警官を增員して全滿警戒を嚴にしたいがとても政府が許してくれぬだらう、せめて半數だけでも自分は實現すべく努力するつもりだ、兎に角政府も增員には決して反對しないだらうから、要は人數だと大いに抱負を語り、續いて局長更迭に附きものゝ部下警官の異動を質問すると

一部の異動は止むを得ない、大體警察官は一定の場所になれ過ぎることは非常に禁物だ、しかし自分は無闇に首を切るやうなことはしない、自分の云ふ異動は要するに部署の移動だ、これは相當廣範圍に亙るかも知れぬが、最近ではない、多事の今日徒らに士氣を沮喪せしむるやうなことはしたくないから、但し自分は首を切られるかも知れぬ

漸く落着た錦縣

一般民も殆んど歸り

縣知事わが軍に感謝

錦縣知事谷金聲は日本軍が過般大凌河方面匪賊掃蕩を完うし歸還したるに對し其の勞を感謝するため、わが第○○團司令部に來りその意を表した、尙同知事の語るところによれば日本軍の黑山屯、紅螺縣附近及び右屯衛その他における飛行機を以てする攻擊は匪賊を四散せしめたがため、從來匪賊の勢力範圍內にあつて彼等に脅迫せられやむを得ず匪賊になつた良民又は自警團は今やほさんど匪賊と離脫し歸村するに至りしを感謝し將來もしばらく飛行機をもつて攻擊せられたしと希望をのべた、錦縣民は我皇軍の威武に信賴してその業に安んじ自警團及び警察はともに協力して治安の維持に任じてゐる【奉天電話】

上海事件の發端?

水上氏の位牌着連

今次上海における時局變化の原因とも認められる遭難日蓮宗布敎師水上勇雄(三一)師の葬儀參列並に天崎師のその後の慰狀見舞の爲め赴滬中であつた大連日本山妙法寺師敎師澤行仙師は二日入港奉天丸で故水上師の位牌を捧げ歸連した、船中愁色の漂ふうちに語る

何とも申樣がありませんが只上海の居留邦人二萬五千が一樣に起つて故水上の死を無爲に終らさなかつた事をよろこびます、二十四日本國寺における居留民葬の盛大ぶりには亡くなつた水上も喜んだ事でせう今日は位牌丈を持つて來ましたが次船で遺骨も送られてくると思ひます、大連から行つた天崎も懸念されますが生命丈は取止めたやうです、何れにしても上海の日本人は一大決心を示めして居ります、我も安閑としてゐられません

上海事件の戰死傷者

佐世保に到着

【佐世保二日發】上海發佐世保軍港へ悼ましき戰死傷者を乘せて歸還の途に就いた軍艦瀧田は二日午前十一時半入港した、後部甲板上に安置された內山、近藤兩中尉以下二十一名の柩に對し中村佐世保鎭守府司令長官の禮拜あり直に記念會館に移し安置したが一方負傷者七十八名は午後二時海軍病院に收容し終つた戰死者の遺骸は記念會館にて午後二時より佛式に依る告別式後名切齋場にて茶毘に附し五日海軍合同葬迄同所に安置する事となつた

相撲協會役員辭職

【東京二日發】相撲協會は二日午前[illegible]理事長、出羽海、入間川、高砂三取締役以下役員參集協議の結果取締役以下役員二十六名連袂總辭職に決定した

と云ふやうな弱點のある人は今の內に辭表を出した方がいゝかも知れぬワハヽヽと意味深長な笑ひと共に警察官異動に關する第一聲を放つた

機關士表彰

奉天機關區機關士技術員荒木一雄氏は去る一月十九日下り三二一列車に乘り込み中、張臺子煙臺驛間で線路傍に頭部を負傷して倒れてゐる支那人婦人と幼兒を發見急停車を行つて救助したが今回その機敏な行動につき村上鐵道部長から表彰されることゝなつた、因に荒木氏は既に二回人命救助で表彰を受けてゐる

本庄軍司令官救濟資金寄附

一日午後二時本庄軍司令官は、趙奉天市長を招き貧民救濟資として金三萬圓を贈つた、市長は之をもつて目下閉鎖中の貧民公處を復活して貧民救濟に着手したが一般支那人は大いに感激し軍司令官の德を謳歌してゐる【奉天電話】

ボロ布を募集

奉天では奧地より避難し來れる鮮人婦人への授產の方法として雜巾を縫はせてゐるが最近その材料たるボロ布が不足を告げて來たので一般有志の寄附を希望してゐるが日出町、双葉、北公園、沙河口各幼稚園及び常盤橋メソヂスト敎會に屆ると大連婦人團體聯合會で取纏めて奉天に送附する由である

井杉氏未亡人から感謝狀

曩に興安嶺に於て中村大尉と共に屯墾軍の爲め虐殺された井杉延太郎氏遺族に對して早川氏の手で弔慰金を募集し送附したが未亡人から左の感謝狀が來た

夫井杉延太郎が興安嶺の蘇鄂公爺府附近にて支那兵の手にかゝり非業の死を遂げました事に就き御同情下され早川正雄樣を通じて御懇篤なる御弔問と少なからぬ弔慰金を賜はり遺族一同御禮の申上げ樣も御座いません

一、弔慰文　一束

一、明治生命保險會社敎育資保險證書　二通(イ)長男延壽金五百圓十八歲受取、一時拂金額金三百四十五錢也(ロ)次男保金五百圓十八歲受取、一時拂金額金二百九十九圓也

一、現金　金一百七十七圓〇五錢也

矢吹救世軍大佐

日本救世軍の元老である救世軍矢吹大佐は滿洲慰問使として十四日入港のあめりか丸で來連し十九日まで滯在して講演又は說敎に臨み十九日大連發、營口、奉天、長春、安東と沿線を廻り三月二日安東發歸東すると

佐波牧師講演

沙河口基督敎會にては今回派遣軍慰問のため來滿した日本基督敎會大會副議長東京大森敎會牧師佐波亘氏を聘して來る三日午後一時半から婦人會、同午後七時半から一般講演會を開催すると

慰問金寄附

市內沙河口居住の帝國戰友相愛會支局長石塚藤作氏は軍隊並に警官隊慰問の獻金第二回分十五圓を沙河署を通じて獻金した

ほんこん丸船客

【門司特電二日發】四日朝入港豫定のほんこん丸の主なる船客諸氏　大田黑英記(辯護士)白川友一(白川保善社)南好雄(製鐵所副參事)中村太次馬、吉村英吉

安樂椅子

新任匆々ダンスホール談をたゝかはし八八の功德を說いた林警務局長その大マかな點で前の中谷局長とは違つた意味で頗る下のものに評判が好い。

◇

二日何の前ぶれもなく飄然と大連に出て來た局長管にアッサリした氣持ちで市中各方面を廻つて新任の挨拶を交したが、お伴を仰せつかつた道案內役もいつもと違つて肩がこらず喜んで居る。

◇

そのくせ林局長時局に對する關心は人一倍で飯島水上署長を經て最近の上海の情勢が知りたいと申入れたものだ。

◇

水上署でも「では最も新しい所を」と云ふので折柄入港の奉天丸事務長戶田氏に時局談を賴むことゝなり事務長も大いに乘氣になり直にヤマトホテルに休憩中の林局長を尋ね在滬邦人の意氣込みから支那側便衣隊の暗中飛躍ぶりさては牛天を焦がして炎々と燃えてゐる火災の有樣手に取る樣に捲くし立てたので林局長スッカリ滿足したと云ふ。

曙の鐘 (185)

倉田潮 作 / 河野想多 畫

海賊（一）

よもぎと謎の男とはマリアの死骸のはいつてゐる白木の箱の蓋をあけた。あけるより早く箱の中をのぞきこんだ。が、中には死骸に達するまでに、餘程土がかぶさつてゐるらしい。もし箱に土を入れないで埋めておけば、その上を人が通る時、足の下に空箱の音を感じて、死骸を掘出すかもしれない。その邊に心づかないあけみでもなさそうだ。謎の男とよもぎとは力を合せて箱の蓋を更に廣く押し開けて、中の土をかき出しはじめた。着物は厚い綿入れであるらしく、それを辿つて行くと、よもぎの手に圓い滑らかなものが觸つた。素早く用意して來た懷中電燈をつけて見ると、

「あつ、足だ」

白いマリアの足が見えた。謎の男が照すと、彼は土にまみれたマリアの頭の髪を手にして、また半土に埋まつた其の顔をのぞきこんでゐるところだつた。が、突然よもぎの手にした懷中電燈は荒まじい勢ひで叩き落された。

「何をするの」

よもぎは跳のきながら、叩き落した者が謎の男自身であることを知つて、恐怖に身顫ひした。うまく此處まで自分をおびき出してマリア同樣危害を加へようとするのではないか。彼女は總身に冷汗を感じながら、おぼろ夜の薄闇をすかして、謎の男の方をうかがつた。本當にその男が已に襲ひかかつて來るなら、横の松の木をめぐつて門の方に逃げようと身構へながら。

しかし、謎の男はよもぎに背を向け、古池のかなたの丘の方を一心に見つめながら、

「人が來ますよ」

と落ちついた聲で、背後にさびのいたよもぎに答へた。

よもぎはその男の指さす方向を眺めた。丘を眞白いベールをかぶつた女が、最一人の仮面と話しながら近づいて來る。

「箱の蓋を閉じて隱れませう」

と謎の男が靜かに云つた。よもぎはその男と共に箱の蓋を閉じ、その上からそつと落葉をかけ、松の木の根に寄りそつて身をひそめた。

よもぎや不思議の男がそこにゐるとも知らず、二人の人影は池を遠くめぐつて、池と低い土堤で劃されてゐる雜木林の中に這入つた。よもぎが松の根からはなれてそつと土堤に這ひのぼり、月の光にその樣子をうかがふと、一人は白い薄絹で上半身をかくした天女の假面で、もう一人は謎の男と全く同じピエロの扮裝した男だつた。

先程謎の男が壯三もピエロの扮裝をしてゐると云つたことを思ひ出して、よもぎは眼を見張つて驚いた。壯三はこんなところへ來て、何んな秘密を天女の假面と語り合つたのだらう。あけみは自分と同じ小惡魔の風をしてゐると云ふから、天女はあけみでないことだけは解つてゐる。では天女の假面は何んな女か。とにかく二人は今夜も互に長らく語り合つて來たものらしく、疲れて歩みもしどろもどろだつた。

幸ひに二人の人影は雜木林をぬけ、よもぎの隱れてゐる土堤の向ふ側に腰をおろした。三間ばかり下に寄りそつて座つた二人の背中が見える。はつみあがる息をこらへて、よもぎが二人の話を聞き取らうとしてゐると、背後から謎の男がそつと衣の袖を引つぱつた。で、一寸下りに土堤を這ひおりると、謎の男はよもぎの耳に口をつけて、

「このひまにマリアの問題から片づけませう」

と囁いた。よもぎはうなづいてまたマリアの死骸の埋めてある箱に近づいた。枯葉をかきわけると今度はすぐに箱の蓋が開いた。中の土は殆どかきのけられてゐる。二人は首の方に廻つて左右の肩に手をさしこんだ。成る程マリアの死骸らしい。氷のやうに冷たいが頸の大きさ肩の幅などが全くマリアそのまゝである。よもぎは恐怖に身を顫はせながら、謎の男と力を合せて死骸を抱き起し、その額に懷中電燈の灯をそゝぎかけた。

Sow.

滿日俳壇

島田青峰選

雪

大連 筧鳴鹿

空竿や僅かに雪のたまり居り
風拂ふ燈籠の雪を惜みけり
雪のせて石炭貨車の着きにけり
裸木の雪さら〳〵と梢かな
庭石の雪に歩める雀かな

大連 吉元汀雨

雪解や立樋の氷の黒々と
雪晴や大和尚山まのあたり
雪折の枝かぶさりし雛舍かな
着ぶくれの苦力雪掻く廳舍かな
郊外や雪滑りして子の遊ぶ

大連 阿部天潮

雪除の雪を捨てゐる廣場かな
雪晴や四圍の山々迫り見ゆ
雪中に歩哨の立てる館かな

＝滿日俳壇募集規定＝ 次回課題「春淺し」「殘雪」「蒜」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切二月十日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲原稿送り先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

大連 宇都宮嵐翠

したゝかに雪降る電車下りにけり
雪掃いて道つけてある交番所

大連 花崎翠峰

荒海や吹雪の中の巡邏艦
凱旋や吹雪になびく聯隊旗
砲列の俄にみだる吹雪かな
淡雪や南天の實の赤々と
淡雪の渚を歩む鴿かな

大連 田中九牛

閑爐裡火の赤々燃えて吹雪かな
見上ぐれば枝もたわゝの松の雪
大吹雪に入港船の遲れけり
雪折れの音のきこゆる書齋かな

大連 高木春陸

銅像に雪晴れ行くや大廣場
街燈の薄き光りや雪の町
雪狂ふヘッドライトや夜汽車入る

河本眞佐路

雪載せて着きたる上り列車かな
窓をうつ粉雪の音や夜のしゞま

海城 島谷艶子

初雪や枯れ殘りたる庭の桐
せゝらぎの音冴え渡る雪夜かな

桑原南嶺

雪達磨耳も目鼻もとけにけり
初買に雪さら〳〵と降りにけり
雪の夜半警笛高く響きけり

大連 嵐雪

ドライヴやヘッドライトに見る吹雪

第卅八回 滿日勝繼碁戰（勝湯淺氏二回目）

湯淺唯二氏 先二級 ／ 渡田俊介氏 二三級

先

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ

●一〇一ヘ十一 ○一〇二チ十八 ●一〇三タ十八 ○一〇四ヘ十七
●一〇五ヘ十六 ○一〇六チ十 ●一〇七ト十六 ○一〇八チ六
●一〇九カ七 ○一一〇ル七 ●一一一チ五 ○一一二ル六
●一一三ル五 ○一一四カ四 ●一一五ヌ六 ○一一六ヌ七
●一一七リ七 ○一一八（七九の處さる） ○一一九カ五 ○一二〇ワ四

—【6】—

けふの放送

大連 JQAK

二月三日

▲午前七時 ラヂオ體操 ▲午後六時五十分 ニュース ▲英語講座「テキスト第卅九課」大連神明高等女學校山田長三郎 ▲民謠 越後民謠（一）佐渡おけさ 唄堀井千隆、三線大檢一菊、同同さめ（二）長岡甚句 唄堀井千隆、太鼓大檢一菊、三味線同さめ、笛櫻川ゝ平（三）蒲原節（一名下方節）唄堀井千隆（四）柏崎三階節 唄堀井千隆、三線大檢一菊、同同さめ（五）追分節 唄堀井千隆、三味線大檢一菊、同同さめ、尺八西山翠松 ▲マンドリン合奏（イ）ハンガリアン行進曲（コワルスキー作）（ロ）アメリカンパトロール（ミーチヤム作）滿鐵音樂會マンドリン部 ▲筑前琵琶「橘中佐」法償山加藤旭明 ▲職業紹介事項 ▲天氣豫報▲ニュース

東京 JOAK

二月三日午後六時三十分

▲映畫物語「心の燈火」谷天郎、伴奏指揮田中豐明、獨唱次田勝 ▲三絃歌謠曲 新組歌、冬空にうたふ、流行歌編曲、侍ニッポン、有憂華の唄、酒は泪か溜息か、妾非頭變なのよ、唄新駒、同小房、同定子、三絃節子、玲明定子、同廣子 ▲琵琶 北滿嵐「宇多田少佐作詞」豐田旭纓作曲 豐田旭纓 ▲室内樂（一）三重奏狂想曲、テレマン作、（二）インベンション、バッハ作、ガボット舞曲、ビバー作（三）三重奏曲冥想曲、ビュックステヒューデ作、シュナイダートリオクラブ チエンバロ、アナトールフイーデングホフシエル、ヴアイオリン、レミアプアイシユヒッツ、チエロ アオルフアングシユナイダー

婦人雜誌界の明星

雜誌界の中でも、婦人雜誌の抗爭が最も激烈を極めてゐることは店頭に立つた人の何人も觀取されるところである。今日最も多くの新興讀者層を有し、將來最もその擴大發展を期待される婦人雜誌界は、今や全く混戰狀態にあると云つていゝ。それにも拘らず、いづれの雜誌を見ても編輯內容は依然舊態を存し乍ら、たゞ宣傳、誇大な廣告に意を用ゐてゐるのはどんなものであらうか。その中で我々が將來を期待し得る雜誌としては、僅かに「婦人公論」だけであるとは心細い限りである。婦人公論の今日の編輯內容の清新潑剌さはなんと云つても目覺ましい。その發展振りも、事實に於いて新興讀者層の八九割を獲得しつゝある現勢は、婦人雜誌界の明日の統制者を豫想せしむるに難くない。

試みに、二月號を見るに、先づ問題實話の案創に依る「罪は女にあるか？」は、行詰れる實話界に一つ清新の氣を投ずるものとして、各方面の注目を集めてゐる。

特輯附錄「女性の悲劇」はその觀點、扱ひともに然斷特異なものとして、最も偉大な文化的意義をもつてゐる。大衆婦人生理小說といふ「女學生から人妻になるまで」はいろ〳〵の意で問題となつて是非の議論の喧しいのは既に讀者の知られる通りである。その他、お子樣を學校に送るママの教育室彼女はどうして美人となつたか等の實用記事の扱ひでも、中間讀物記事でも面白い。の外に、新しみをもつてゐるところに此の雜誌の強味があらう。

新年號に於いて「稀に見る粒揃ひの小說欄」と文壇驚異の的となつた五大小說は二月號では俄然急展開のテンポを早めて、更に一層驚異を深めてゐる。現代第一の流行作家長谷川伸氏の「濡れ闇の男」は同氏作品中の最大傑作と云ふ評判は高いが、筆者は不幸にして未だ讀む時間をもたない、長篇讀切であるから讀み出しても止められないと困るのである。表紙は多少若向きではあるが、現在の婦人公論としては先づ最上のものであらう。斯く見て來る時、現在の婦人雜誌界を統一して、明日の新興日本の婦人雜誌を豫感せしむるのに、先づ第一に、婦人公論をあげなくてはなるまい。明日の婦人を理解する途として、男子も一度は婦人雜誌をとりあげて見て置かれることは決して徒事でないことを附記して置く。」（發行所・東京丸ビル五階・中央公論社 定價五十錢・郵稅三錢五厘）

滿洲日報

支那軍の挑戰に應じ我軍けさ總攻撃開始
砲門火蓋を切り砲聲殷々

(上海二日發) 支那軍は今や準備全く成り我軍に向け攻撃に出でんとしてゐる事判明したので今朝九時半鳳翔、加賀を離艦せる飛行機○臺は偵察のため市の上空に向ひ霧深きため遂に引き返して來たが、支那軍の挑戰に應じ我軍は今朝愈々支那軍に對する總攻撃を開始し砲門は火蓋を切り砲聲殷々として轟く

霧霽れるを待ち爆撃

【東京二日發】本日我軍は霧の霽るを待ち飛行機を飛ばして閘北、南市、呉淞の三ケ所の敵を爆撃し又鐵道、兵器廠、北停車場を爆破の豫定で敵は一線に約二萬卽ち閘北一萬、南市七、八千、呉淞三千あり新橋には約三萬の兵が待機中である

我電信局を襲撃

【上海二日發】便衣隊三百名は本日午前五時日本電信局を襲撃し配備中の警戒隊と交戰約一時間後退散したが敵の砲火により電信局前の民家は燒失した

支那軍續々集結

【東京二日發】海軍省着電、支那軍約四千名三十日午後四時頃徒歩行軍で蘇州を通過し上海方面に向つた同じく杭州方面より二個列車三十一日上海に到着又南京政府方面の情報に依れば飛行機四個中隊(四十機)は濟南より南京に輸送し更に蘇州に前進せしめ日本軍の空中襲撃に對抗せんとしてゐると

斷乎處置を決意
最後の對策協議

【上海二日發】鐵道に沿つた我守備將士は既に五晝夜不眠不休の活動で極度に疲勞しこれ以上繼續せばその結果は非常に憂慮されてゐるが、このため陸戰隊參謀始め幹部は決意を確めた如く本日支那側が依然挑戰的に出るにおいては斷乎たる處置に出るものと解さる

【東京二日發】一日の三相協議にて日支狀態最惡の場合の對策も充分協議を遂げた

第三遣外艦隊を編成
司令長官に野村中將親補

【東京二日發】海軍では現在上海方面に在る全艦隊を統一するため第三遣外艦隊を組織し司令長官に野村吉三郎中將(現横須賀鎭守府司令長官)を推すことに決し二日午後大角海相は宮中に參內、右を上奏御裁可を經て直に野村中將の親補式を行されることゝなつた、野村中將の第三遣外艦隊司令長官親補に伴ひ横須賀鎭守府司令長官の後任に海軍大將山本英輔氏を起用するに決した

參議官會議
連日開會に決定

【東京二日發】海軍では一日午後元帥及び軍事參議官の參集を乞ひ大角海相より上海事件の經過報告をなし之に對し諒解を求めたが事態急迫せるを以て二日より連日軍事參議官會議を開催する事になつた

軍令部次長も更迭

【東京二日發】軍令部長の更迭に伴ひ百武軍令部次長も更迭を見る模樣である

陸軍重要會議

【東京二日發】陸軍では上海方面の情勢に基き二日午前九時より陸相官邸に荒木陸相、杉山次官、眞崎參謀次長、小磯軍務局長等參集し約一時間半に亙り重要協議を遂げた

反駁回答協議

【東京二日發】大角海相は一日午後八時半外務省に芳澤外相を訪問し英、米、佛三國大使よりなされたる上海事件に對する抗議內容並にこれが反駁的回答內容につき重要會談をなした

海軍々令部長に
伏見大將宮殿下御親補

軍事參議官海軍大將 大勳位功四級 博恭王

免本職、補軍令部長

海軍々令部長海軍大將 正三位勳一等功四級 谷口尙眞

免本職、補軍事參議官

(御寫眞は伏見大將宮殿下)

【東京二日發】谷口軍令部長は軍事參議官に轉補され伏見大將宮殿下が軍令部長に御親補あらせられることゝなり二日午後二時宮中鳳凰間において親補式を行はせられた、伏見大將宮殿下並に谷口大將に對してそれ〲親補の勅語を賜ひ犬養首相より官記を授けられた

支那軍砲撃
我陣地に砲弾

【上海一日發】北停車場附近の敵は夜に入つてまたも攻撃を開始し午後七時三十五分三發の砲聲聞え一發は我陣地に落下し附近人家に發火し盛んに燃えつゝある

不逞分子の策動警戒

【上海一日發】上海工部局は上海市中恐怖時代の混亂に乘じ支那不逞分子、共產黨員の租界潛入とこれによる秩序攪亂の策動を憂慮してゐる

長江一帶に戰雲低迷
支那砲臺わが軍艦を砲撃

【南京二日發】海軍發表、昨夜十一時廿分獅子山砲臺より三發我軍に向つて砲撃したので對馬その他の驅逐艦五隻はこれに應戰、一時迄砲撃を行つた、尙南京殘留邦人は汽艦に收容の筈だが、二名は日清ハルクで敵彈の破片で負傷した、因に今や長江一帶に戰雲低迷して來た

【上海二日發】當地英人側に信ずべき報道として日本軍艦は支那軍の挑戰に對し一日午後十一時十五分より南京の砲撃を開始したとの報が傳はつた

支那挑戰事實を隱蔽

【上海特電二日發】獅子山砲撃に際し支那正規軍の挑戰に對し反撃せる事情を本職より在滬英米艦長に通牒すると共に領事より米艦に對し外國領事に通報し支那外交部に嚴重抗議覺書を送附せり、以上の如く司令官は發表したが支那側が逸早く日本軍の砲撃のみを大々的に宣傳しその原因となれる自方の砲撃を隱蔽せるは極度に日本側の憤激する所である

下關で日支兩軍對峙

【南京一日發】南京の滬口下關では日本の海軍と支那軍隊が河岸で對峙の形となり、支那側は極度の緊張を示し下關始め南京郊外の支那人は續々城內に逃げ或は汽船で他に避難してゐるが、上海事件勃發以來當地に避難して來た多數の支那人は却て南京を不安に感じ上海行のイギリス汽船に乘込まんものと大混雜を呈してゐる

我警戒隊を狙撃

【上海特電二日發】一日午後十一時南京獅子山砲臺より三發の砲撃を認めると同時に日清ハルク警戒隊も正規軍の狙撃を受け救援を求め來つたので直に各艦の警戒を命じ鎭壓の目的を以て對馬八發(目標ハルク直前陸岸)天龍二發(目標象占門)の緩漫なる砲撃を加へ午後十一時十五分射撃中止を命じた、領事その他官民乘用の雲陽丸は砲撃開始と同時に平戶の上流三哩に轉錨す

佛艦隊も上海に集中
英米と協力して租界防備

【パリ一日發】フランス外務省は上海フランス總領事に對し上海共同租界防備の英米兩國と協力するやう訓令すると共に、巡洋艦ワルデックルーリー號その他佛領印度支那艦隊中繰合せ出動し得る砲艦軍艦を全部上海に派遣するやう命令した旨發表した

佛兵一個大隊派遣

【パリ一日發】本日佛政府は上海の佛租界防備のため佛領印度支那の東京にある步兵一個大隊を上海に派遣するに決し直に出動命令を發した

佛政府注意喚起
共同租界尊重に關し

【パリ一日發】フランス政府は駐日大使マルテル氏に對して英米兩國と同じく上海事件に關して共同租界尊重の必要につき日本政府の深甚なる注意を喚起すべしと訓電を發した

イタリーも同一行動
米國に正式回答

【ワシントン一日發】イタリー政府は本日正式にアメリカ政府に對し上海で生じた危機に關し西洋諸國と同一行動を取る旨通告し來たつた

伊も正式抗議

【ローマ一日發】イタリー政府の發表によればイタリーでは今回支那における日本の行動に關しアメリカ及びイギリスと共に正式抗議をなすに決したと

我に感謝するが當然
英米抗議と我當局意見

【東京二日發】英、米兩國政府の抗議提出に對し海軍當局は左の如く語る

日本軍の行動を單獨行動と見做して抗議するとは不可解である、我陸戰隊は一月廿七日の列國協議に基き二十八日より共同租界の共同警備のために配置に就かうとした際支那軍の挑戰を受けてこれに應撃したまでゝあつて立場を變へて英國軍隊としてもその際にはこれに反撃せざるを得ないはずだ、卽ち現在の日本軍の行動は共同警備行爲ともいふべき共同租界の特殊の性質を知つて居ればこそこれが安全を圖るために苦しい戰を續けてゐるのである、寧ろ列國は日本軍に對して感謝して良いはずである

上海南京方面略圖

(獅子山砲臺　下關　南京　鎭江　常州　蘇州　上海　揚子江口　蕪湖)

第十五條提訴の規定、方法に疑義
我代表部説明を求む

【ジュネーヴ一日發】聯盟日本代表部は聯盟規約第十五條による告訴の提出規定、提出方法等に疑義の點があるのでドラモンド事務總長に右説明要求書を提出した

死を以て上官の決斷猛省を促す
上海出動の米丸大尉

【上海二日發】第○大隊中隊長米丸大尉は今朝三時軍刀にて胸を刺し自殺を企てたが一命は取止め得る模樣である、遺書には鹽澤司令官の決斷を猛省を促してある

南京外人引揚準備

【南京二日發】昨夜十一時下關警備中の我陸戰隊は突如支那側から射撃を受けたため之に應射又同時に獅子山砲臺からも大砲を發射したゝめ我軍艦も遂に發砲し敵を沈默せしめた砲聲に驚いた南市街では直に消燈したので市內は暗黑街と化し一方飛行場では飛行機の襲撃を怖れ探照燈で盛に空中搜査を行ひ凄愴な光景を呈した、又下關の支那人は砲撃の起ると共に城內に避難各國領事館員は直に居留民の引揚げ準備に取りかゝつたが遂に命令は發せられなかつた

御眞影奉遷
昨夜軍艦安宅に

【上海二日發】我總領事館は續々たる便衣隊の襲撃を受けるので御眞影を軍艦安宅に昨夜奉遷した

電通支局引揚
假事務所を設置

【上海二日發】不安の一夜は明けた英租界、佛租界は避難民群衆で大混雜中である、我軍の南京砲撃の報は外交人を更に亢奮せしめ今や一刻も猶豫すべきに非ずとし午前八時電通上海支局は此處に立籠りたる支局員一同は涙をのんで遂に閉鎖し北四川路の北端千愛里の支局長舍宅を假事務所とし一身を犧牲とし死を賭して通信報告の任につく、社員はそれ〲互に堅き最後の握手を交し定められたる部署につき支局員一同は斯くていよ〱背水の陣を布き勇奮の決心である

蕪湖居留民を軍艦に收容

【蕪湖二日發】時局惡化の爲め居留民全部を軍艦比良に昨日收容した

上海調査に米國協力
委員に參加せず

【ジュネーヴ一日發】聯盟理事會の決定による上海事件緊急調査委員會に對しアメリカにも參加方勸誘をなしたが、アメリカ政府から聯盟事務局宛回答があつた、その內容は公表されないが、在支アメリカ外交官は委員として參加しないが同委員會と協力するやう訓令されることゝならうと觀測されてゐる

人事

▲首藤正壽氏(滿鐵理事)二日朝奉天より歸連

▲佐堂草雄氏(同上)二日朝撫順鞍山へ

蛇舌 1932

共同租界を占據して支那便衣隊の活動地たらしむ、工部局こそ租界の地位權威を破壞する者。

◇

英米軍艦上海に集まる、陸軍も追々來る、佛國も陸兵を廻す、舞臺が上海となれば、彼等の意氣込眞劍。

◇

蔣介石と馮玉祥、何時の間にか握手、曾て死生を掛けて爭奪した鄭州で對日相談を爲す、お互にクスグツたい顏で。

◇

吳佩孚六年ぶりに北平に歸り、當年敵將嗣子の客となる、今昔の感如何。

◇

支那調査委員一行、三日パリ出發、三月初め東京着の豫定、これは又餘りに御ゆつくり。

在留民保護權限訓令
駐日米大使に

【ワシントン一日發】米國務長官スチムソン氏は駐日大使フオーブス氏に對し在支アメリカ人その他の外國人の保護を行ふために東京駐箚の各外交使臣と協力し適宜の措置を取るべき自由裁量の權限を與へる旨の新訓令を發した

各派立候補數

【東京二日發】立候補者數二日午前十一時現在左の如し

政友三二八、民政一八五、社民一三、大衆一三、革新二、安達派九、其他無產二、中立其他一九計四七一

林警務局長挨拶

關東廳警務局長林壽夫氏は二日午前滿鐵に江口副總裁及び各理事を訪問し午後は民政署、大連取引所等を歷訪就任の挨拶を述べた

日下内務局長挨拶

關東廳內務局長日下辰太氏は二日午後零時半來連、大連民政署、滿鐵會社を初め主なる官衙、新聞社を歷訪新任の挨拶を述べた

東亞の謎 (89)

國枝史郎 作　伊藤順三 插畫

大連の冒險(十四)

この間多くの會員達は、咳もしなければ物も云はず、新入會員と會長と、會長の横に立つてゐる男とを、嚴肅の顏をして眺めてゐた。で、場內は物々しい、雰圍氣に包まれてゐるのであつた。

と、會長は例によつて、含んだやうな籠つた聲で云つた。

「今夜吾人は數人の新信徒を天地會に介紹し、而して桃園の義に倣らひ結んで兄弟となり、姓は洪、名は金蘭、共に一家となる。洪門に入りてよりの後、一心同體として相互扶助し、彼我の別あるを許さず。今夜天を父とし地を母とし日を兄とし月を姉妹として拜す。今夜吾人は香爐の前に跪拜し、吾人の心神を潔淨にし、而して吾人の指を刺し、吾人の血を混じ、之を啜りて同生同死を盟ふ。新會員はその分定せられたる範圍に於てその任務を遂行し、而して天に從つて行動すべし、天に從ふ者は存し天に逆ふ者は亡ぶ。反逆者は轅轅の下に滅び、而してその種は滅絕せん、唯忠心義氣の人のみ永遠の福祉を受けん」

それから會長は手を上げて、壇上の香爐を指さした。

と、痣のある男が頷いて、

「では」

とかう云つて花田を押した。

花田は心得たといふやうに、敏捷に、ソロ〱と前進したが、香爐の前まで行くと立ち止まり、横に置いてある香の罐から、ひとつまみの香をつまみ上げると、それを香爐の中へ投げた。

煙が立ち上がり香りのよい匂ひが、そのあたりをかほらせた。

石田はやをら後へ下がつた。

「では森川さん」

と痣の男が云つた。

森川といふ男は進み出て、同じやうにして香を焚いた。

「では岡島さん」

と、痣の男は云つた。

岡島といふ男も同じことをした。

最後に伯爵の番が來た。

「では松村さん」

と痣の男が云つた。

そこで伯は進み出て、香をつまんで香爐の中へ投げた。

と、その時「フン」といふ、鼻を鳴らして嘲笑ふやうな聲が、會長の假面の中から來た。

で、伯は其方を睨んだ。

會長ともう一人の假面の男とが、その假面を突き合はせて、肩で笑つてゐるのが見られた。

(どうも變だ、變な奴だ、たしかに何處かで見た奴だ)

又、伯はさう思つた。

やがて會長は新會員の方へ、巾の廣い背中を向けて、壇の方へ進んだが、白い鷄を取り上げると、その鷄の首を刎ね、したゝる血汐をこれも壇にある皿へ、したゝるだけしたゝらせた。

ゆる〱と會長は新會員の方へ向いた。

これも壇にあつた長い針を、會長は右手に持つてゐた。

痣のある男へ合圖をした。

「では石田さん」

と痣の男は云つた。

進み出た石田の右の手を握ると會長は藥指へ針を刺した、すじに血がしたゝつた。

その血を例の皿へ受けた。

「では森川さん」と痣の男が云つた。

森川の血も皿の中へ這入つた。

伯の番が巡つて來た。

不安と不快を感じながら、伯は會長の前へ行つた。

長春飛行隊掩護下に 多門○團司令部北進

けふ軍用二列車長春出發

多門○團兵員は二日午前九時卅五分長春發、第一回軍用列車で双城堡に向つたが、同○團司令部は、騎兵隊、野砲隊、戰車隊、裝甲自動車隊を率ゐ長春市民の萬歳を浴びながら長春飛行隊掩護の下に第二回軍用列車に乘り午前十一時五十五分長春を出發した【長春電話】

彈痕生々しい列車に 勇士を乘せ雪中出發

勇壯な第一回軍用列車

多門○團司令部の先發隊は二日午前九時三十五分降りしきる雪の中を市民萬歳の聲に送られて一路双城堡に向つたが、右列車は双城堡の激戰後始めて長春に廻送された列車で機關車や貨車の側面には數多の彈痕があり双城堡に於ける三十一日の激戰を如實に物語り出動兵士及び見送の市民を亢奮させてゐたが、一兵士は雄々しくも「何、立派に仇を打つてやる」と固い決心を洩らしてゐたが、その勇壯な兵士に市民はわれん許りの萬歳を浴びせ征途を祝福した、なほこの第一回軍用列車には名倉少佐指揮の下に第○大隊○中隊、通信隊、山砲隊○個中隊が乘り機關車の前方には無蓋車に野砲を据ゑ石川大尉引率の野砲第○聯隊の兵が戰闘準備を整へ途中運行事故發生に備へるため修理班として屈強の滿鐵社員多數參加した、右列車機關車の運轉は東支從業員と滿鐵社員の兩者が當つた【長春電話】

長春待機部隊總出動

明朝天野○團も北進

双城堡から廻送された三ケ列車の中第一回は二日午前九時三十五分第二回は午前十一時五十五分何れも出發したが、更に午後一時には第三回列車を出し野砲、山砲、騎兵隊、飛行地上勤務員等の特科隊が出動し更に三日午前中には天野○團及び同司令部が出動する、これで長春に於て待機中の部隊は全部出動することゝなる、因に長春附近一帶は二日午前一時半頃からしきりに降雪があり原野は白皚々たる白雪に蔽はれ寒氣一段と加はり軍の行動には困難を伴ふものと憂慮されてゐる【長春電話】

飛行隊双城堡進出

長春にある關東軍飛行隊長永峰大佐指揮下には目下追擊裝置を有する偵察機は○個中隊があるが時局の重大化に鑑み作戰に便するため双城堡に前進し臨時飛行場を設置し事態の變化によつては目下奉天に在る輕爆○機をも長春に前進させる豫定で愛國第二號は目下長春に在るが第一號機も二日午前十時長春に飛び北滿に活動する事になつた【奉天電話】

一萬五千の聯合軍が 哈市郊外で邀擊準備

本日午前十時ハルビン派遣某機關特務の情報によれば昨夜來ハルビン郊外東南に反吉林軍一萬五千、大砲二門、機關銃、迫擊砲多數を持つ一團皇軍のハルビン入りを邀擊せんとし居り兩軍の衝突聯合軍の敗退兵ハルビンに遁入を豫想し在住邦人は戰々兢々義勇軍は必死の覺悟で緊張してゐると【長春電話】

馬占山が丁超と策動

チチハル方面も惡化

輪に引揚げた馬占山は丁超と協議の結果愈々共同動作をとることに決意した、表面は部下に引ずられて止むなく起つに至つたとも傳へられてゐるが、之がためチチハル方面は頗る緊張してゐる【長春電話】

丁超軍豫備三個旅を集結

【双城堡特電二日發】丁超軍六百六十二團は曩に長谷部旅團下の大島聯隊に寬城子で擊破され六百六十三團は今次の戰闘で支離滅裂となつたので丁超は豫備の三個旅約一萬を集結沿線一帶に配置邀擊せんとしてゐる

破壞十一ケ所を修理

双城堡からの後送列車

三十一日午前九時双城堡を發車した空車三個列車は長谷部○團の○個小隊掩護の許に中川機關區長を班長とする滿鐵修理班の一行が運輸し途中十一個所の破壞個所を修理し乍ら十八時間を要し滿鐵作業班全部を乘せて二日午前一時半無事長春に到着したが滿鐵修理班員は交々語る

彈藥、食料を積んだ自動車隊は途中で遇つたが本日午前中には双城堡に到着するでせう、長谷部○團は彈藥及び食料が極度に缺乏してゐるからさぞ喜ぶでせう、敵は既に北方に擊退された後で長春に歸る途中は危險は無かつた、東支南部線を東支管理局が運輸するだらうなど云はれてゐるがちと疑はしい、滿鐵社員の負傷者は多いが幸ひ輕傷で喜んでゐる

因に右列車は夥だしい彈痕を殘し機關車の要部にも四發命中し他の車輛は數限りない、而も彈が側面から貫通し慘澹たるものがある【長春電話】

愛國二號機 出發延期

降雪のため

双城堡に於ける戰傷者收容のため二日出動の豫定であつた愛國二號機は降雪のため着陸困難と見られ三日彼地に於ける準備完了を待つて出發の筈【長春電話】

飛機出動不能

本日當地方一帶降雪のため飛行機の出動は不可能となつた【長春電話】

村田通譯戰死

長谷部○團に通譯として從軍した長春吉野町一丁目村田滿一郎氏の負傷については長春全市民が憂慮してゐたが後頭部の負傷が重傷であつたために一日夜戰死した、氏は熱血愛國の士で氏の死は非常に惜まれてゐる【長春電話】

後送列車に便乘し 双城堡から長春へ

多門○團を輸送のため卅一日午前十一時双城堡を發し長春に向つた最初の聯絡軍用列車は途中數回の障礙を突破して辛うじて二日午前一時三十分長春に辿り着いた、記者（本社特派員）は双城堡方面の慨報を齎すべくあらゆる危險を冒して同列車に便乘した、双城堡を距る約二キロの地點（三十一日午前十二時ころ）に差掛るやレール上に山の如く枕木を積んで列車の進行を妨礙してゐるのを發見し直に列車を止めわが兵はその除去作業に掛らうとすると附近の掩護物内に隱れて日本軍來れと待構へた支那兵は列車の兩側から猛烈な一齊射擊を浴せた、わが軍は直にこれに應戰、約三十分に亙つて交戰の後敵は數個の死體を遺棄して北方に退却したが前途なほ如何なる危險があるかも知れないので野砲を準備する必要を生じたので已むなく一時双城堡に引返すことになつた、午後一時双城堡に歸つた列車は野砲○門を積み列車の編成を新たにして午後三時三十分前途幾多の危險を豫想しつゝ列車乘務員いづれも決死の腑を決め出發、戰重なる警戒裡に徐行をつゞけ約六キロの地點に差掛るや數本の軌條が除去されあるを發見した、之を修理前進せんか、夕闇は既に迫つて危險ますく加はり、徒らに猛進せんかただ手を束ねて死地に入るに等しく再び熟議の結果涙を呑んでまたも双城堡に引返すの已むなきに至つた、一夜を同驛構内に明した列車は翌一日午前八時三十分三度編成を整備しあらゆる注意と警戒のもとに前進、また約六キロ地點附近に差掛ると前方の部落に少數の支那兵を發見、即刻戰兵し之を驅迫しつゝ前進を續け午後四時十五分辛うじて陶賴昭に辿り着いた、列車が同驛に入るや附近の土民代表數名驅け附け「同地一帶全く馬賊の包圍中に在り、危險この上なし、願はくば日本軍の保護を受け度い」としきりに哀訴歎願、その窮狀見るに忍びず遂に獨立○ケ中隊を同地に止どめて列車は再び前進、危險と眞の闇を衝いて南下し二日午前一時三十分漸くにして長春驛に到着することを得た、なほこの列車は二日多門○團を乘せて双城堡に引返すのである【長春電話】

義勇隊の嚴戒裡に 哈市邦人無事

武裝解除を斷乎拒絕

ハルビン特務機關よりの來電によればわが居留民は總領事の指示により二十八日來豫定の避難場所正金、鮮銀、警察分署、國際運輸、滿鐵俱樂部及び總領事館に避難しわが義勇隊は晝夜嚴重な警戒を行つてゐる、一日傳家甸のわが居留民一名掠奪された、支那側はわが義勇隊の武裝を解除すべしと盛んに謠言を放つてゐるがわが義勇隊は斷じて之に應ぜざる決意をなしてゐる【奉天電話】

長哈護路司令 官金壁東任命

吉長鐵道守備隊司令官金壁東は長哈護路司令に任ぜられ日本軍に協力南部線の警備に當ることゝなつた【長春電話】

古賀聯隊の 補充兵

姬路を出發

【姬路一日發】滿洲の野で匪賊と戰つて名譽の戰死を遂げた故古賀大佐等の補充として選ばれた姬路○○聯隊の服部大尉以下○○名の將士は一日午前十時十分名市民の歡呼の聲に送られて勇躍滿洲に向つた

張海鵬軍が 馬賊討伐

鄭家屯に集結

洮遼鎭守使張海鵬は遼源通遼康平縣に蟠居する馬賊團を徹底的に掃蕩する目的を以て二月二日午前十時洮南發臨時軍用列車で鄭家屯に向け出動した、之より先張海鵬軍約四千名は四洮昂沿線より、家屯に集結しあり張海鵬はこの軍隊を指揮し馬賊討伐の筈【四平街電話】

刻々に危險

憂慮さる今明日

長春、ハルビン間の電線は三十一日以來全く杜絕し支那電話線一本が通じてゐる許りであるが、皇軍のハルビンに入城までは復舊の見込がない、在哈在留邦人三千の生命財産は頗る危險に瀕し今明日が殊に憂慮されてゐる、邦人は長い避難に飽いてたゞ亢奮に生命をつないで悲慘な狀態である【長春電話】

沿海州から白 系露人が避難

二日北海道小樽より入港した大成丸にて白系露人漁夫パウエルエクサルウイツチリヤービニン（三）外六名が來連したが彼等が口々に臨檢の水上署員に訴へるところによると一行は仲間と共に沿海州スエトラプクタにて漁夫として働いてゐたがソ聯邦官憲の酷使虐殺から逃れ前記七名は一月三日發動汽船で逃亡去る六日北海道稚内に上陸の上該發動汽船を賣却して旅費をつくり安住の地を求めて來連したものだが途中唯一の目的地たるハルビン上海方面が共に事變の渦中にある事とて如何とも出來ず「何とかして呉れ」と泣きついてゐる

『滿洲號』獻納に 早くも寄附

紀元節から募集開始

われ等の飛行機「滿洲號」獻納義金は既報の通り二月十一日紀元節を期して全滿一齊に募集を開始する豫定で目下大連市役所で準備を進めてゐるが、既に羽衣高等女學校生徒一同から金二百圓の寄附申込あつたほか敷島町五〇新滿蒙證券公司より二十圓、三河町正直洋行より三十圓、また大連消防員鶴ケ岡末松氏より五圓の寄附申込みあり、右は何れも募集事務開始前であつたので一時預つてゐたが一日大連における發起人協議會に於ていよく募集開始の手筈も決定したので二日これを正式に受納する事になつた

上海の居留民救護に 時局後援會が奮起

救護班派遣準備成る

上海の形勢惡化し死線に彷徨する三萬五千のわが同胞は兇暴なる支那抗日團體の鐵火に見舞はれ流血の慘日々に繰返され不幸數多の犧牲者を出しつゝあるので當地時局後援會小川會長、小澤、恩田兩委員は卅一日滿鐵會社に十河理事を訪問し大連醫院の外科醫および看護婦を以て組織する救護班派遣に關し交涉したがその諒解を得たので二日上海の日本人俱樂部内時局委員會宛左の電報二通を打電した

貴地の時局に對し心痛に堪へず在留同胞不慮の負傷者治療の一助として滿鐵醫院より外科醫および看護婦より成る救護班の派遣を得るの諒解を得たるにつき本會理事者同行して貴地に赴き聊か同情の誠意を表せんとす、若し他に適切にして急を要する方法あらばそれにて宜敷く貴地の都合至急返待つ

貴地在留の婦女兒童引揚げに對し大連市として特別の御便宜を計る用意あり二千名位收容出來る見込み

邦人避難船に 長平丸待機

上海惡化と大連汽船

上海方面の情勢惡化により上海における各船舶の諸荷役は休止狀態にあるが、當地大汽でも時局の變化に伴ひ配給計畫を大要次の如く改むるところあつた、卽ち上海青島天津間三角航路に就航中の長平丸天津丸を變更して天津丸は大連塘沽間に廻し長平丸は大連に繫船として萬一の場合の避難邦人輸送船として待機せしむる事となつた

同時に大連天津間就航の天潮丸濟通丸は今日迄は塘沽迄で天津迄の遡航を休止中であつたが流氷の成績が好いので一日大連出帆濟通丸より天潮濟通兩船を當分天津迄遡航せしめる事となつた

プラチナ時計 から詐欺告訴

市内岩代町四四竹井好三郎は三十日同町七番地福豐東方西原サカへ並に東鄉町一九岩本ハルの兩名を相手取り大連署に詐取横領の告訴をなしたが

告訴狀によれば去る六年八月中竹井は西原サカへの紹介で岩本ハルより金七十五圓でプラチナ時計一個を買ひ受けたがその後專門家の鑑定によりその時計が價格約三十圓のニッケル時計であることが判明したので直ちに兩女の不正をなじると、誤りであつたから直ちに取代へると云つてニッケル時計を持ち歸つたきり再三の催促にもかかわらず今日に至るも金品の返却をなさぬのでこの告訴に及んだものである

旗揚げ興行は AK中繼放送

【東京一日發】興行中止問題も紛糾を續けた國粹會の諒解も三十一日大ノ里以下の全理事金子政吉中村三吉、金井米吉氏等國粹會幹部を自宅に訪問して挨拶を述べたので殘るは只後三日に迫る旗揚げ興行に邁進するのみとなつたがAKでは新にこの興行狀況を中繼放送する事となつた

各役員年寄 總辭職

相撲協會動搖

【東京二日發】相撲協會では二日午前十時より事務所に於て廣瀨理事長、出羽の海、入間川、高砂三取締役以下各役員二十六名參集協議の結果全部連袂辭職に決定した

製鋼所問題協議

昭和製鋼所滿洲內設置期成同盟會では製鋼所設置問題に關し四日午後三時より同會實行委員、各局長、各團體代表者市役所會議室に參集し協議會を開催する

金を捨てゝ 强盜逃亡

騷がれて狼狽

二日午前五時三十分頃沙河口警內香爐礁三區二〇乘用馬車夫劉德鐵（三）方へ沙河口元町華記號の店員と稱する二人連れの支那人が屋內に入るや居直り刃渡一尺の短刀を突きつけて脅迫し小洋十六元を強奪して逃走せんとしたので隣家の者が發見騷ぎ出したので賊は屋上に飛び上り家根傳ひに逃走を晦ました

屆出により沙河口署で卽時市內各署に手配すると共に署員の非常警戒を行ひ小野司法主任等現場に急行調査したところ賊は隣家の者に騷がれ餘程狼狽したものと見え强奪した小洋十六元は屋上に遺棄されてあつた

自轉車泥檢擧

市中に續發する自轉車盜難品は最近續て解體の上山東に送り込まれてゐるとの聞き込みで當地水上署司法係では山東各地行船舶注意中のところ一日午後四時出帆芝罘に向ふ第十八共同丸にて怪支那人を逮捕した、右は登州府生れ市內秦山街一四一居住大工韓啓榮（三）で麻袋に包んだ解體自轉車四臺を密かに山東に持ち込まんとしてゐたが市中に共犯者ある見込みで水上署では引續き嚴重取調中

貨物列車脫線

一日午後九時四十六分貨物第七十八列車が滿井、泉頭間（泉頭驛寄方信號機附近）にて前部十六輛目の車輛折損のため脫線直に復舊の取りかゝり漸く二日午前五時四十六分復舊を見たが、このため下り旅客第十五列車は昌圖驛を四時間卅八分、上り旅客第十六列車は四平街驛を三時間四十分何れも遲發した

巡察員奇禍

一日午後八時四十分撫順線牛相屯深井子間を民家屯丁場派遣軍のモーターカーが進行中、深井子線區線路巡察員張玉麟、劉錫心の兩名が同モーターカーに刎れ飛ばされて重傷を受け直ちに撫順醫院に運ばれたが內一名は今朝遂に死亡した

節分厄除法要

市內天神町常安寺では來る四日午後六時から大般若六百卷轉讀の上節分厄除の祈念大法要を修行し豆まき餘興につき一般參詣人には木彫神像十數體の福引をなす外福鑑杓子及び福豆袋を漏れなく授與多數參詣を希望すると

大連運動場

來る六日午後三時より同運動場事務室に於て在連各運動關係者を招じ本年度の同運動場使用の日取り打合せ會を開催することゝなつた

天氣豫報　三日

北西の風 曇後晴 溫度下る

各地溫度

	昨日最低	午前十一時
大連	零下〇、五	零下二、六
旅順	同〇、六	同二、八
營口	同四、九	同七、二
奉天	同五、九	同八、四
長春	同一三、三	同七、〇

暴風警報　風强かるべし午前八時三十分遼東半島を警戒す

けふの小洋相場（正午）

金百圓は一六四圓五錢

武門血笑記 (42)

下村悦夫作　布施長春挿畫

紅蓮の焰（二）

源之丞は、眼を閉ぢたまゝ、また、默つてこつくり點頭いた。

「まあ、まるで、唖のやうだわね。ほ、ほ、ほ……」

お蓮は、玉虫のやうに赤い唇に手を當てゝ笑つた。

「でも、まあ、妾安心したわ、れ後生だから、あんな短氣なことはしないでね」

お蓮は笑つた後で、急に、しんみりとした調子になつて、源之丞の顔を、凝つと眺めた。

と、ぽつくり眼を開けた源之丞が、お蓮の親綴を、ぢつと、見返しながら、

「お蓮どの、そなたは拙者の事を何故、そんなに心配して下さるのぢや」

源之丞は、一句一句、言葉を切つて、重苦さうに云つた。

「何故つて……」

お蓮は、はつとしたやうに、言葉の調子を變へた。それは、わななくやうな小聲であつた。さうして、そのまゝ、口を噤んで、ぢつと項垂れてゐる。

源之丞も、それきり、また、口を閉ぢてしまつた。深い沈默！外では、雨戸を叩く木枯の音が、もの淋しく聞える。

と、暫くして——

「拙者は、いつも、聞きたいと、思つてゐた。聞かなくとも解つてゐるやうな氣もする。が、拙者には、自分で自分が解らない」

源之丞は、獨言のやうに、口の中で云つた。と、蒼ざめた彼の頬の上を、暗い行燈の光に照らされて、キラリと一滴、涙の露が光つて流れた。

「か、かんにんして……憎い女だと思つてゐなさるでせう。皆んな皆んな、妾が惡いんだもの……」

行燈に、面をそむけた、お蓮は泣いてゐるのであらう。語尾が、怪しいまでに慄えてゐる。

と、その時、不意に襖の外で、

「姐御、青馬の兄貴が、一寸顔を借して貰ひたいと云つてますぜ」

突慳貪な龍圓の濁り聲がした。

「姐御、聞えやせんかへ」

「聞いてゐるよ、後から行くつてさう云ひな」

「牛次や、牛六の兄いも待つてゐるんだから、今、直ぐ來て貰ひたいんだが」

「行くつてはさ、うるさいね」

お蓮は、繻袢の袖口で、眼の邊を、一寸押へると、源之丞の方へ輕く眼で笑つて置いて、出て行つた。

こちらは、青馬の六兵衛に、牛次と牛六の三人、懷手のまゝ、にゆつと、入つて來たお蓮を、不氣味な眼で、ヂロリと見上げたが、誰も口を利かうともしない。

「青馬の、何か用なんですかい」

お蓮は、薄水色の腰のものを、一寸覗かせながら、圍爐裡の傍へ傳法な立膝で座つた。

「姐御、俺ア、此頃のお前さんの仕打を、腹に据え兼ねてゐるんだ」

と、六兵衛は、お蓮の方を、キッと見ながら、赤鬼のやうな眞赤な顔を、強張らせた。

「何だつて、妾がどうしたと云ふの」

「どうしたも、ねえもんだ、一體お前さんは、あの若僧を、どうしやうてえんだい」

「またかい、御苦勞樣れ、うつちやつといてお呉れよ」

「打つちやつとけ、へん、笑はせらあ、こう、姐御、親分が死んでから、どれ位になると思ふんだ」

六兵衛は、今にも噛み附きさうな劍幕である。

嵐の街スタヂオ

俳優引き拔き

デマは盛んに亂れ飛び　策士の暗躍は縱横無盡

京都スタヂオ街は昨今全く大動搖をきたしてゐる東活から退社して富岡キネマを設立した嵐門光三郎、原駒子や山口哲平、竹内俊一これをあやつるものに内藤富吉、大西市次郎、輪里縮松の諸氏があり目下各方面に手を延ばして俳優の引拔き運動に暗躍して居り撮影所は西の宮に設けるといふが果して何時出來るか問題であると云ふ

又小金井勝を繞つて獨立プロが起されやうともしてゐるが、これは資金を作るのに目下大童の態である、又主要スターの退社を見た東活では日活の應援を得て河部五郎、酒井米子、海江田譲二等の參加を得更に鈴木澄子大江美智子の二スターをも入社させ、一方寶塚からも有明月子岸小夜子、光静子が加はり、この外まだ〳〵各方面にスター漁りを物色してゐると言ふ

またこの他に新興キネマは昨秋大搬ぎ新陣容が整へられたが、所内に中野英治の獨立プロの話や河津清三郎や賣出し中の高津慶子の獨立の噂もあり春早々大騒ぎをさせたと言ふことである

日活を退社した入江たか子も獨立はしないが資金難で撮影に至らず、大衆文藝映畫も生駒の月形撮影所を使用と決つたものゝ同所の使用についてはいろ〳〵むづかしい事情があつて撮影が行き惱みの有樣でありこれとても赤資金の方には相當の惱みがあるらしい、一各獨立プロとも撮影所の適當なのがないのがなにより困り折角空いてゐると思はれてゐる舊マキノスタヂオは映音商店が使つてゐて大事業を目論んでゐるとかで思ふやうに行かないと言ふ

また日活の人氣スターには策士が魔手を延ばしてゐると言ふことで統制上たへず注意を怠つてゐない

しかしこれらの大混亂の中にも東活の動搖を機に乘り出した寶塚の大資本が、日活、寶塚、東活を中心とする大トーキー會社設置等の建設的方面の噂もありこの所京都スタヂオ街は各社の統制上に混亂を呈してゐる有樣である

兩社競映の古賀聯隊長

双方撮影進む

「古賀聯隊長」の映畫化は東活新興兩社の競映となつたが、東活ではその後錦西、錦州附近に於て着々進行中であるが、今回軍部の後援の下に滿洲駐屯軍の特別出場を許可せられ華々しい激戰場面を撮影してゐるが、なほ同映畫のため更に十數名の俳優を増派渡滿せしめた、また新興キネマでは教育總監部及び陸軍省後援の下に、松本泰輔、瀬良章太郎、牧英勝らで製作を急ぎ目下第十六師團騎兵隊の大々的應援を得る連日凄壯な群衆撮影を續けつゝあるが、同映畫の主題歌「噫軍神古賀聯隊長」及び「噫悲壯なる騎兵隊」は松本英一作詞、近藤十九二、服部良一作曲

女流萬歳の花奴來演

四日から大劇へ

朗かな笑の女神として來る四日より五十間大連劇場で開演する大津勞花奴は一萬圓藝妓と唄はれ東京淺草帝京座で幾多のファンを笑殺し斷然女流萬歳界の人氣王として又斯界隨一の美人として評判の女で今回藤波興行部の手にて始めて滿鮮巡業に男女若手腕達者揃二十餘名を引連れ初の御目見得するもので濃艶なる舞臺と華やかな舞踊音曲を呼物にしてゐる一座のメンバーは左の如し

道樂萬歳（浮世亭出羽三、大津秀丸）▲珍藝（柳家奈壽男）▲曲藝（日の本太平樂）▲追分（松前照子、戸田大佛）▲ユーモリスト（北川政夫、北川桃子）▲萬歳（玉子家利丸、利子）▲新内浮世節（岡本美津國）▲女道樂（土佐の家清子、桃太郎、小房）▲舞踊（橘の圓雀）▲ナンセンス（菊川時之助）▲女道樂（大津勞房江、花奴）▲大切ナンセンス（バラエテイ）

因に入場料は特等八十錢、一等六十錢、學生半額、小人二十錢均一である

本社特選　新棋戰（其四）

香落　八段△花田長太郎　六段▲平野信助

【圖は九八飛成迄の局面】

▲平野氏「持駒」角桂歩歩

△花田氏「持駒」香歩

△八八飛　▲同　龍
△八一角成　▲六七歩成
△同　▲五八と
△同　金　▲五五角
△八九歩　▲五三銀
△七三歩成　▲三六桂
△三八玉　▲七九飛

【土居八段講評】△花田君の八九歩打は早い、一旦七三歩成同銀と取らせ而して八九歩と打つて置けば以下五四馬引の手が發つて面白い▲此時平野君は敵に五四馬と引かれては攻勢に支障を及ぼすから敵に七筋へ成歩を作られるのを意にせず、五三銀と上つて角引を避け以下極力攻勢を採つた、その趣向は好い。

【荻原六段解說】平野氏の六七歩成は敵同銀なら六八飛打を含んでゐる。花田氏の八一角成は駒損を防ぎ五四角成の順を窺つてゐるのである。平野氏五五角は攻防を兼れた先手であつて次の五三銀は敵に五四馬と引かれると敵馬が攻防によく利く順になるので先手に防いだのである。平野氏の三六桂は次に七九飛と打つて四九銀の詰を窺ひ五五角打よりの繼續である。花田氏三八玉で一八玉では一五歩と端を攻められて惡い又一五歩で三八銀と打たれても全滅であるから三八玉は止むを得ない。

噂話

音樂ファンの間に名物となつた村岡樂童氏宅の初午祭は今年も明三日に恒例の如く執行▲當日は午後四時から始め一般の參詣を歡迎するが徹宵稲荷祭といふところに興行價値がある▲大連劇場は芝居小屋一本となつたので次から次へと開演してゐるが▲一方演説會場となつて終つた歌舞伎座もその後いろ〳〵と取沙汰されてゐるが、この程愈々現在の場所に改築復活に決定したとのこと

橫田良一、黑田進獨唱で太平レコードに吹込み發賣された

喜多會初會

喜多會滿洲支部では來る七日午前十時から濱速町ほていにて本年初會を催すが、番組左の如し

▲素謠　翁（獨吟）老松、箙、東北、弱法師、小鍛冶
▲仕舞　蟬丸、網之段、鐵輪、玉葛、花筐、枕慈童、天鼓、雲雀山、籠太鼓
▲連吟　田村
▲獨吟　松風、隅田川、盛久、安宅、雲林院、朝長
▲獨調　東北、玉之段、船辨慶、鵜之段、笠之段、三輪
▲囃子　嵐山、八島、湯谷、百萬、富士太鼓、鞍馬天狗
▲狂言　末廣

女教師から娼妓になつた女

若い女教師が神聖な教壇から所もあらうに廓へ身を沈めた。人の子を教へる先生が賣女になるとは識者も眉をひそめる問題だ。その裏面に動くものは失戀か？、呪咀か？淫亂か？そそれとも海蛇のやうな男の魔手にかかつてか？この事實傳はるや、彼女千葉みつ子（二二）を訪れる嫖客は夜毎に七八十に上るさうだ。世の罪か人の罪か？　俄然教育界をして色を失はしめたこの問題を醜業婦人世界はいちはやく社會に訴へてゐる。一讀をすゝめる。

滿蒙新國家と貨幣制度 (3)
金か銀か＝經濟人に聽く

理想に過ぎぬ新國家の金本位制
脆き黄金國の建設は不可である
大連錢鈔信託專務 古澤丈作氏の主張

第九 滿洲の貿易は出超なれば金貨流出の惧なしとの見解是非

過去五年間の平均出超約一億五百萬兩ある如く過去現在の滿洲貿易は說の如く出超である、從つて年に幾分づゝ受取勘定になつてゐるがそれは金銀の輸出入及び貿易外の收支勘定を含んでゐない、この貿易外の收支は必ず支拂勘定である筈である、現に投下した石升資の利子及び利潤を計上した外國外に持ち出されればならぬことを考ふるだらう、この外國資金中我國の投下せるのみで今や二十億圓に達し此資金が利潤を生んでゐるのは滿鐵の分位、その他多くは固着し活動を休止してゐる、假に二十億の資本に對する利子又は利益を八朱として拂ふとしたら年々一億六千萬圓の貿易外支拂勘定を負ふてゐるわけである、故に滿蒙といふ經濟單位は最終なる意味において輸入超過で今は拂ふべきを完全に拂はずに出超と稱しても正鵠を得たものでない、又滿蒙三千萬の民衆は大多數辛うじて生命を保持し得る程度の生活をなしつゝ生產品を窮境輸出してゐる、所謂空腹輸出乃至飢餓輸出をなしてゐるが文化の進んだ國家で云ふところの出超とは大いに趣きを異にする、我國の指導により將來滿蒙といふ一經濟單位の上に理想的國家を建設せんとする所以は決して三千萬民衆の生活程度を生存限點に止めて置かうとするのではない、滿蒙開發の過程として民衆の生活程度を徐々に向上し消費を增して行くとすれば出超はつひに入超となるは容易に想像される、況んや今後の開發は多くは外來の資金によらればならぬ以上この利子を海外に拂ふ時機に開發用物資の輸入を見る時滿洲の出超を冀ふことは恐らく四半世紀の彼方と見てよからう、故に現狀の下における出超に安んじて金本位制が擁護されるとみるは早計で殊に時々刻々變る爲替關係で何時兌換が起り正貨流出をみるかも知れないであらう

第十 金本位としておけば銀資を持ち來る事業家の活躍を封ずる利ありとの說

是は實に狹量なる見解で斯くの如き料簡で滿蒙開發が出來ると思ふは誤りである、左程外來の資本家が恐ろしければ金本位とすれば[illegible]利の金貨を持つて來る米佛英人等の入つて來ることの方が論者にとつて重大であらう

第十一 滿蒙新國家を金本位させれば日本の金資本家には不便で投資に躊躇するであらうとの見解是非

之は一應尤もである、併しこれは新國家を一躍政治上又は經濟的に理想國たらしめ得る場合のことである、成程金資本を投下し銀建で商品を賣り又利子を銀貨で得たとせば爲替の高低により或は金收得が增し或は減ずる不便がある、併し乍ら爲替の豫約によりて或程度まで調整し得る方法もある、又鐵道運賃の如きはよろしく銀建とし金銀比價が或程度を越ゆる場合に之を變更して調整するか又は建值を不動のものとし別に調節貨を徵し又反對に割引制度を採ることによつて或程度の收入安定を期し得るし又輸出品製造工業においては銀安の際（世界的不況に基因する場合は別として）は金に換算したコストが安いからよく賣れる、從つて利益の增收を促すから之による收入安定が望み得られる、又內國用品の製造工業に於ても同業者が同じく金貨を投じてゐるとすれば期せずして銀安の不利を利益マーヂンの擴大によつて埋め合せんとするは明かであるから金貨銀收入に或る程度の安定を齎すであらうが決して不便の全部をカバーすることは出來ない、併し獨り滿蒙と云はず隣邦支那を市場とし又は之を活躍の舞臺とする本邦事業家資本家が此程度の不便不利を忍ぶ覺悟がないとすればそれは海外における企業者たる資格がないと云はればならぬ

以上 列記した種々の見解を吟味すれば結局その結論に到達する、卽ち新國家の金本位制は未だ一個の理想に過ぎないので滿蒙の習俗を見、民度を觀ればよし滿蒙が政治的に銀貨國支那より分離するとしても人種、文化において依然として支那人であつて吾人が鮮人に對すると同樣の取扱ひをなすことが出來ないのをハッキリと意識しそして現幣制を基調とした改善と全然別個の金融を以て代らしむるは其難易同日の談でないことを想はねばならぬ、殊に我國が不幸に金の輸出を禁じ兌換を禁じて了つた今日此滿蒙の曠野にのみ宛然脆き黄金國を建立しやうとするが如き努力は到底成功の見込ない、功をあせらず宜しく目標を少くとも四半世紀乃至半世紀の彼方を想定し歩一歩近づく方策を講ずることそ實にコンストラクチブステーツメンの行くべき道と確信する＝古澤氏主張終り＝

農業關係の新金融機關設立
統治部方面でも種々研究中
首藤滿鐵理事語る

長春方面に出張中であつた首藤滿鐵理事は二日朝着歸任したが左の如く語る

チチハル、ハルビン方面を**視察**する豫定であつたがハルビン方面がこんなになつたので到頭行くことが出來なかつた、閉店中の黑龍江官銀號の內容は目下の所具體的數字は不明だが相當財產もあるとのことだから想像されてゐる程惡くはあるまい、吉林の方は案外良好で順調に業務を續けてゐる、幣制改革につき金、銀兩本位制のうち何れが滿蒙の實情に照して適當なりやにつき各方面で**盛に**論議されてゐるやうであるが結局は銀に落着くのではないかと思はれる、いづれ滿蒙新國家の生誕も目前に迫つてゐるのであるからこの問題の最後的決定も近いうちに行はれるだらう、それから農業國としての滿洲に今日迄統一的な主として農業を對象とした長期金融機關例へば內地の勸業、興業兩銀行の如きものがないのでこれが新設について統治部方面でも種々研究が行はれてゐるやうであるが斯かる問題については**政府**も充分考慮すべきだと思ふ、この種の新金融機關を日支合辦とするが適當であるや否や等の具體的問題は勿論今後の研究に俟つべきである

滿鐵經濟調査會
調査員一部任命
事務助手等を合し總員二百名

滿鐵經濟調査會の調査員以下の人選は石川副委員長を中心に各部當局間に詮衡中であつたが各係班の主任たるべき調査員の一部は二日社報で左の如く任命發表された

總務部外事課 事務員 田中盛枝
同 同 內海治一
總務部調査課 同 安森松之助
同 同 南鄕龍音
同 事務囑託 戶泉憲溟
整理部考査課 事務員 天野元之助
地方部商工課 同 前島秀博
地方部農務課 技師 三隅英雄
同 技術員 佐藤義胤
農事試驗場 同 高松三守
總務部勤務を命ず、經濟調査會調査員を命ず（各通）

なほ各部は數班に分れ第二部（產業、移植民、勞働）の如きは九班に達する程で各班に主任一名、調査員二名を配屬することになつてゐるから調査員の總數は百名位に達すべく之に事務助手、タイピスト等を加ふれば二百名位になる模樣であるが委員長十河理事は多分三日朝奉天に出發し石川副委員長以下は數日遅れて赴任し陣容を整備する筈である

クレヂット殘金を返還

【パリ一日發】英蘭銀行は磅貨の維持のため佛米兩國よりのクレヂット中フランスの分の殘金十八億七千萬法をフランスに返濟した

右は同行がパリ金融市場で買入れた法貨で支拂つたものである

英米の抗議で諸株一齊に暴落

【東京二日發】英米の干渉的抗議提起で今朝の株式市場は一齊に不安人氣となり前日來より下押商狀となつた揚句として加速度的に寄付鼻に短期諸株は暴落商狀を呈した卽ち新東の百六十一圓六十錢と四圓七十錢方下放れたるを初め鐘紡九圓安鐘新十圓七十錢安と目立ちその他の諸株も一齊に三圓八十錢より一二三圓方下押し新東は寄付後直に五十七圓五十錢と安值を示し甚だしい不人氣を呈した

ないかと觀られてゐる

爲替氣配強調

【大阪二日發】上海事件益々惡化に對米關係強硬兩樣に觀察されるが經濟封鎖說依然強く益々相場漸騰し買手總見送りにあり氣配強調を示したが利喰筋の賣進みに買手依然買つかず賣手の賣急ぎに三十六弗を苦もなく突破し氣配の強調を辿る

米穀證券借替發行

【東京二日發】大藏省發表＝政府は二月一日支拂期日の米穀證券借り替のため一日米穀證券を發行することに決した、預金部引受、日歩一錢六厘である

那須農博來連

滿洲視察中であつた東京帝大教授農學博士那須皓氏は一日二十時着列車で來連したが語る

滿洲の農業移民が有望であるかどうかは自分も永いこと研究をしてゐるが難かしい問題だ、然し今內地では「滿洲にさへ行けば何か仕事が」とか「滿洲で百姓すれば」なんて空氣が非常に濃厚なやうだがこれは非常な間違だと思ふ、何も基礎のない所にボカリとやつて來て成功の出來る筈がなく、また農業が金儲けのうへから有利だなんてことを考へることは根本的に間違つてゐる

食料品の小賣物價
一月廿五日現在

一月二十五日現在市設小賣市場食料品小賣物價は總平均指數七九・二にして之を前月に比較すれば二分一厘、前々月に比較すれば六分九厘の騰貴であるが前年同期に比較すれば二分一厘の低落に當り金輸出再禁止による影響を如實に示してゐる

なほ仔細に檢討すれば

魚類に 見るが如く節季需要期の後をうけて反落せるもの又は地物玉菜、林檎などの騰貴に見るが如く貯藏品の減少によるもの等主として季節的關係に基きて騰落せるものを除けば一般の

物價は 昂騰の大勢に向ひ前年同期に比較すれば僅に二分一厘の差に迫りたるも金輸出解禁前たる昭和四年十二月末に比すれば未だ二割方の低位にあれば今後とも續騰の道を辿るものと觀察する、今これを調査品目五十六種につき騰落振を示せば

騰貴は 十二種、低落四種、保合四十種である、なほ六大分類別に前月に比較すれば穀類は八分六厘、蔬菜果實類は四分七厘、肉類は八分五厘、飲料及調味料は四分四厘の騰貴、魚類は六分一厘、雜食料品は一分四厘の低落に當る、更に前年同期に

比較すれば騰貴せるもの十四種、低落せるもの十九種、保合へるもの二十三種にしてこれを六大分類別に觀れば穀類は二割二分四厘、肉類は八分五厘の騰貴、蔬菜果實類は八分五厘、魚類は三分八厘、飲料及調味料は七分七厘、雜食料品は五分一厘の低落に當り總平均に於ては二分一厘の低落を示した

滿鐵貨物の輸送激減を示す
時局の影響をうけて
鐵道收入著減を來す

上海事件の影響を受けた特產物相場の下落および北滿の事態急變に基き滿鐵社外貨物の持込は此處兩三日來減少を來し一日の如きは一萬二千五百餘噸に激減し近來稀しい數字を示した、また發送噸數の點について見るも、一月二十一日から三十日まで十日間の一日平均發送噸數は五萬二千百十一噸であるが北滿時局に伴ふ輸送力の減退等の關係から卅一日は五萬九百十一噸、一日は四萬六千八百七十八噸と漸減しそのため一時恢復の曙光が見えた鐵道收入も卅一日現在遂に前年比減收五百萬圓を突破するに至つた

時局懸念で株式崩落
五品四圓安

二日前場內地株式市場は上海事件の擴大と日米關係懸念から俄然人氣惡化し大阪の定期は鐘紡十二圓十錢安、鐘新七圓四十錢安を筆頭に大株大新も三四圓安と崩れ東京短期の東新は五六圓安滿鐵新は二圓安と慘落を入れ當市も嫌氣投げ殺到し五品は四圓擱み新豆、錢鈔は二三圓安と一氣に暴落し市場は凄慘な場面ながら商內活況を呈し取引所は帳簿整理のため午後立會を二時二十分に延刻した

特產市場平穩に納會
舊正で八日まで休會す

上海事件の擴大と同地金融機關の停止は大連特產市場における買玉の大部分が南支筋であるために取引上非常な不安を誘致し、殊に上海方面向商談の不圓滑による一段安を氣構へて華商側は極度に狼狽し上海よりの送金杜絕を理由として立會中止を高唱し、幾度か熟議の結果、開市した一日の市場は仕手の活躍で大混亂に陷つたが、二日朝に至るや一般に冷靜となり仕手も大體一巡した後とて一齊に堅調を入れ手仕舞商內による取引高は多量であつたが、極めて平穩裡に納會し、明三日より八日迄は舊年末、年首で休會となつた、然しながら華商側の買玉は依然として多量に上つてゐるから舊正明けの九日に至るも尙上海事件が無事解決し得ない場合は依然として不安に包まれてゐるわけであり、舊正明けの市場は大暴落を來すのでは

朝鮮米實收高減收の見込

【京城一日發】朝鮮米實收高は一月末調を以て來る二月四日總督府より發表する筈であるが大體に於て第二回收穫豫想高より減少の見込である

京城商工業者の一行

滿洲事變以來百日餘漸く建設の途についた滿洲經濟界視察の爲めに內地實業家團體が追々來滿するが皮切りとして來る十三日京城商工業者一行廿二名が來連先づ旅大を視察した上奉天に赴き現在の產業狀態及び取引關係を調査、將來の鮮滿商業取引の促進を圖るさ

五分利債發行
二千六百餘萬圓

【東京二日發】大藏省發表＝政府は橫濱正金より借入にかゝる二分利附臨時國庫證券整理借入金借替のため同行の引受に依り五分利（第三回）公債額面二千六百十九萬圓を發行するに決した發行價格額面百圓につき八十七圓五錢である

手形交換高（二日）

	枚數	金額
金	一、一二六枚	二、一四五、六二一圓
銀	五七枚	三、〇四〇、五七〇圓

黄塵

◇…支那問題を導火線として今や日本も經濟國難から一轉して乾坤一擲の眞の國難が來やうも知れない事態になつて來た。

◇…金輸出禁止後のインフレーションに躍つてゐた株式界や商品界も事態容易ならずとみて懷落を示してゐる。

◇…歐洲戰亂終熄以來十四年打續く世界的不況の淵に暫く小康を保つてゐた世界は不況打開の途について最後の手段をも辭せない情勢にある。

◇…表に平和を唱へ陰に毒牙を磨いてゐる歐米列強が世界最大の消費市場たる支那を繞つての爭霸戰が益々事態を惡化せしむることにならう。

◇…勢ひの赴くところ如何なる結果を招來しないとも限らない財界人は重大なる決意と準備をなす必要があらう。

市場電報

銀塊及爲替

倫敦銀塊 [illegible]
同 先物 [illegible]
紐育銀塊 [illegible]
孟買銀塊 [illegible]
スチール [illegible]
アナコンダ [illegible]
英米爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]

棉花

●米棉 現物・三月・五月・七月・十月・十二月・一月 [illegible]
●印棉 ベンゴール・ブローチ [illegible]

大阪期米 / 東京期米 / 神戶期米 / 大阪株式 / 東京株式 / 大阪綿糸 / 大阪棉花 / 橫濱生糸 / 印度麻袋

[illegible]

市況（二日）

特產 仕手一巡で案外平調

今朝の定期は昨場波瀾萬丈を演じた後とて仕手一巡に大體に平穩を示し大豆は昂騰を辿り豆粕、豆油高粱は何れも強調を示し依然取引高は多量であつた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（昂騰）單位厘　限月 二月末・三月末・四月末・五月末　寄付 高値 安値 大引 [illegible]　出來高 四百三十六車
▲三等大豆　出來不申
▲豆粕（強調）單位厘　限月 二月限・三月限・四月限・五月限　[illegible]　出來高 二十萬四千枚
▲豆油（強調）單位錢　限月 二月限・三月限・四月限・五月限　[illegible]
▲高粱（強調）單位厘　限月 二月限・三月限・四月限・五月限　[illegible]　出來高 八千箱
▲包米　出來高 七十四車

◇現物前場（銀建）

品目	寄付	大引
混保大豆（裸物）	五〇七〇	五一〇〇
出來高	百六十車	
普通大豆（袋物）	五〇三〇	五〇三〇
出來高	五車	
豆粕	一八〇〇	一八〇〇
出來高	二萬七千枚	
豆油	一二六五	一二五〇
出來高	三千五百箱	
高粱（次物）	三一〇〇	三一〇〇
出來高	一車	
包米（次物）	二八二〇	二八二〇
出來高	二車	

定期喰合高（一日）（帳入）

品目	前日對比較
大豆 六三七六車	一九車
高粱 一九七三車	△一二車
豆粕 五〇一四千枚	△五二千枚
豆油 五三八〇百箱	△二五百箱

錢鈔 爲替高なれど當市小綻り

今朝日米爲替は續騰して第一回に十六分の一高の三十五弗四分の一ののち三十六弗まで回復し、米日爲替も五十仙高の三十五弗五十仙を入れたが、上海時局愈々險惡化に當市小綻りを呈し、一方海外銀塊も強く銀塊十六分の十一高、紐育二分の一高、孟買休會、滙申出來不申、滙烟六十七兩八〇、大洋百二圓七十五錢

◇定期前場（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 四百四十萬圓

◇現物前場（單位錢）
九時 銀對金 [illegible] 銀對洋 [illegible] 金對洋 [illegible]

豆

昨場の波瀾萬疊の後を受けて今朝は仕手も大體一巡し一齊に強調を辿つた▲あれ程昂奮してゐた華商側も今朝は漸く冷靜となり却つて買つたものもあり平穩裡に納會した▲但し買方の大部分が華商側であることは依然として不安を包んでゐるわけだ▲休正明けの九日に至るも尙上海事件が解決しないとなると又候送金問題が起る▲更に相場の一般安を氣構へると又混亂するやうなことはないであらうか

銀

最近爲替は堅實な恢復振りを示し▲日米爲替において三十六弗丁度を報ずるに至り▲三十日の三十四弗二分の一に比ぶれば一弗半の昂騰である▲而して最近支那側の團賣り思惑が跡を絕つたのもその一因だと見られる▲上海時局は益々急迫化し雲行き急なるものあり▲ために一部方面では日米戰爭をさへ懸念するもの、如く株式は暴落したが▲當市は愈々舊正休會に入るのでいづれにせよ無難で市場のためには却つてよからう

株

けさ大阪の定期は鐘紡の十二圓十錢安を筆頭に諸株共三圓乃至六七圓安▲東京短期の東新は五六圓安滿鐵新は二圓安と崩落を入れ▲當市は五品四圓擱み安新豆三圓、錢鈔二圓安と軒並に慘落となつた▲上海問題を中心として日米關係險惡懸念で內地市場は嫌氣投げ殺到したと傳へられてゐる▲當分株式も時局關係で變動甚だしく大巾の動きをみせるものと思はれる

糸

米棉市況は株高のため買ひ物が見直し市況堅りであるが引際南部の賣りで幾分小緩んだとあり結局保合を示し▲大阪三品は米日爲替高と上海事件險惡日米關係の懸念等で株式市場崩落のため各限四五圓臺の暴落を入れ▲當市はマバラの嫌氣投げに對し問屋筋手仕舞ひ相當商內をみた▲人氣一本で買進まれてゐた相場だけに株式でも崩れるとあつけないものであるが目先もやはり株式次第であらう

前場

◇定期

銘柄	當限	先限
新豆 寄	二三、七	二四、一
新豆 引	二四、〇	二四、三
錢鈔 寄	二三、五	二三、八
錢鈔 引	[illegible]	二四、〇
五品 寄	二六、〇	二六、八
五品 引	二六、三	二六、七
五品 歩	二六、四	二七、〇

◇延取引（單位十錢）

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

落を入れ當市定期の五品は四圓四五十錢安新豆三擱み安錢鈔二圓安と暴落し東新は七圓五十錢安滿鐵新は一圓九十錢安を示した

滿鐵株（低落）

東短前場 滿鐵新株 三十一圓
大阪現物 滿鐵舊株 六十一圓

◇爲替及受渡日歩

	爲替	受渡	代渡	代引	日歩
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	四
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	四
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	三
氷新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	三
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	四
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	四
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	三
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	四

株式出來高（一日）

定期	三、二七〇枚
延取引	五、二三〇枚
合計	八、五〇〇枚
早渡手形	四、二八〇枚
金額	九五、一五五圓
早受	二、〇〇〇枚
金額	四二、六三〇圓

商品 綿糸崩落 麻袋變らず

●麻袋 產地情報は前同事鐵筋八分の一高爲替同事と強保合を入れたが當市は今一歩華商筋に買氣添はず保合商狀であつた

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	三月限	二六七	二

出來高 二千枚

●綿糸 米棉保合米日爲替五十ポイント高、大阪三品は株式崩落と日支關係惡化に備えて嫌氣投げ殺到し各限四五圓擱み反落を入れ地場は問屋筋の手仕舞ひとマバラの投げで相當商內をみた

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	四月限	一三六七	一〇
同	五月限	一三八六	二〇
同	同	一三八四	一〇
同	同	一三八一	二〇
同	六月限	一四〇九	二〇
同	同	一四一二	九〇
同	七月限	一四四四	一〇

出來高 二百八十梱

株式 內地株崩落 五品四圓安

北濱定期の前場寄は大株三圓五十錢安大新四圓二十錢安鐘紡十二圓十錢安鐘新七圓四十錢安東京短期の東新五六圓安滿鐵新二圓安と澀

爲替相場

奧地市況

錢鈔

奉天（奉票）現物・先物	[illegible]
奉天（大洋票）定期・現物	[illegible]
開原（大洋）現物・當限・先限	[illegible]
安東（鎭平銀）當限・先限	[illegible]

鮮銀（金勘定）

倫敦向電信買、紐育向電信買、上海向電信買、同 賣、日本向電信賣、同十五日拂買 [illegible]

各地特產發送高

▲開原 大豆二九車 高粱一車 豆粕 [illegible] 雜穀一四車
▲四平街 大豆二五車 高粱七車 豆粕 [illegible] 雜穀一〇車
▲公主嶺 大豆 高粱 豆粕 雜穀 [illegible]
▲長春 大豆一七一車 高粱三九車 豆粕三車 雜穀一六車

大連埠頭到着高

大豆 二八三車
高粱 五四車
豆粕 二二車
雜穀 六八車

埠頭在庫貨物

1月26日（單位噸）

品目		本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆	混保	186,495.4	178,880.0
	非混保		
	白眉豆	13,085.7	
	青豆	3,374.0	
	合計	202,955.1	178,880.0
小豆		5,250.0	8,718.8
吉豆		2,280.5	2,093.8
高粱		34,481.8	11,812.0
包米		5,233.6	2,320.3
大米		3,757.6	621.6
小米		1,290.8	755.2
麥子			16.3
蕎麥		2,128.8	2,015.1
芝麻		429.6	6.4
大麻子		311.3	92.0
小麻子		964.5	230.3
蘇子		2,356.9	2,784.0
落花生		11,102.6	7,526.5
雜穀		1,380.5	2,127.1
豆粕		109,075.2	20,284.6
雜粕		604.9	217.6
獸骨		154.1	152.7
豆油		1,003.1	842.2
其他ノ油類			
麥粉		1,549.3	10,829.0
燒酎			
セメント		410.9	1,187.8
鉄子		5,795.6	634.5

滿洲日報

皇軍に出動命令下り 敵陣地に砲撃を開始

空、陸兩軍が相呼應して

(上海特電二日發) 待機中の第一大隊は午後二時半愈々出動命令を受け前線に向つた、また第三大隊本部は午後二時半より寶興路鐵道交叉點、横濱橋鐵道交叉點より敵の陣地に向ひ砲撃を開始し、我砲彈は東横濱路の敵の野砲陣地に盛んに落下しつゝあり、午後三時五分航空母艦鳳翔の飛行機に對し出動命令が發せられた

支那軍約五萬を集結

【上海二日發】敵はその後續々戰線に兵力を集結し閘北一帶には一萬二、三千、南市方面に一萬、吳淞に三、四千、眞茹に二萬二、三千合計五萬と概算されるが、北停車場附近で愛國青年學生多數が頑張つてゐる、また支那軍は總攻撃用意全く成り昨日閘北一帶の住民に退却命令を發した

我軍盛に砲撃を續く

【上海二日發】火蓋を切つた我軍は八時砲〇門、五時砲〇門を以つて發砲を續けつゝある、鳳翔を離艦せる爆撃機〇機、戰闘機〇機は敵陣地上空を偵察中、現在(午後三時半)の我軍戰死者、横濱路陣地第三大隊今村二等兵曹頭部に貫通銃創を受け戰死した

英米大使停戰を提議

【東京二日發】上海の事態急迫に鑑み英米兩國大使は午後六時より芳澤外相と會見、停戰を提議するに至つた

婦女子引揚げに決定

公使以下總領事館避難

【上海一日發至急報】危機迫り公使館と總領事館は邦人婦女子千八百名全部に對し引揚方非公式に布令するに決定した、また事態急激に惡化して邦人の安全期し難くなつたので重光公使は遂に官邸を閉ぢ總領事館に避難し村井總領事は昨夜から領事館内に、井口領事はアスターハウスホテルに、その他の館員は總て總領事館に避難した

官民代表會議で協議

(上海一日發至急報) 一日午後六時重光公使、村井總領事、米里氏の名で全居留民に對し引揚げ方勸告の形式で布告した

【上海一日發】重光公使は今朝十時半鹽澤司令官、村井總領事、田代、西岡陸海軍武官、米里、福島、金井諸氏、伊澤滿鐵事務所長等と善後策を協議したが、良策なく取敢ず一千八百の婦女子全部を日本又は上海外の安全地帶たる青島、大連方面に避難引揚方非公式に領事館から發令することに決定した

休戰協定は遂に決裂

【上海一日發】本日の鹽澤司令官吳鐵城市長米領事會見で日本は中立地帶設定に反對休戰協定は決裂し右の結果日本軍は今夜攻撃を開始すべしと信ぜらる、英米側はアメリカ東洋艦隊司令官タイローガ氏が四日當地につくのを待ち對策を議する事となり、それ迄手を引くに決定した

重光公使聲明

【上海一日發】重光公使は鹽澤〔司令官〕と共に各方面の懷勢を聽取し事態の重大に驚き軍部とも對策協議中であるが、今回の事件の原因は全然支那側にある、その責任も支那側が負ふべきである旨聲明してこの事件により各國に迷惑をかけたことは遺憾千萬で日本人を以て之を解決せねばならぬとの聲明を公表した

英米更に日本に抗議

抗議の内容は公表されず

【ワシントン一日發】米政府は上海事件に關し日本政府に對し更に强硬なる抗議を提出した英政府も同樣な抗議を出したが、兩國政府の抗議の内容は公表されない

英米抗議を外相反駁

【東京一日發】米大使フォーブス氏は一日午後三時、英大使リンドレー氏は四時、佛大使マルテル氏は七時外務省に芳澤外相を訪問し各一時間餘に渉つて會見した、英米兩大使は本國政府の訓令に基き上海事件に關し正式抗議を提出したが、その要點は
一、日本軍の行動は直接の必要以上に及んだものだ
一、日本軍は共同租界を攻撃の本據に使用してゐる

一、日本軍の行動は共同租界本來の地位、精神を無視し英米人の生命財産を危殆に陷らしめたと言ふにあるがこれに對し芳澤外相は右は何れも虛構なる宣傳的報道に基くもので日本軍の行動は全く自衞權の範圍を出でず兩國との協同處置の一部である日本政府はことは斷じて無しとわが立場を充分說明したがフランス側は極めて冷靜な態度で何等抗議的態度に出でなかつた

支那軍の密集地帶を空中より爆撃に決定

英、米、佛各領事に通告

【上海一日發】重光公使、村井總領事、鹽澤司令官等は昨夜から今朝に掛け協議の結果支那側の不信を指摘し日本は斷乎として爆撃を加へるに決した旨午後三時英、米、佛三國領事に通告した、天候漸次第北停車場、眞茹、龍華等の敵軍密集地及び防禦工事地に空中より爆撃を加へるはずである

我軍は苦戰中

【上海一日發】寶興路の交戰は午後も續いて行はれ三時半我軍に一名負傷者あり目下苦戰中、同所より本部への傳令一名便衣隊に狙撃された

支那軍は三面より租界攻撃作戰

租界東部支那人引揚

【上海一日發】一兩日來郊外一帶に大軍を集結しつゝありし支那軍は交替の名目で入市した蔡廷鍇の軍隊と合し愈々對日戰闘を決意するに至れるもの如く全然防備なき租界の東部より迂廻して侵入せしめ租界を東西北の三面より攻撃の計畫の下に今朝來東部に在る支那人全部に對し城內又は南支方面に引揚を命じ目下同方面大混亂中である

陸戰隊の配備狀況

【上海一日發】飛行母艦鳳翔で輸送されて來た後藤少佐の率ゆる横須賀特別陸戰隊は本日午後五時五大隊に編成し本部近くの日本高等女學校に配備される事になつた、目下日本軍の配備は鈴木第一大隊は寶興路以西桃山ダンスホール、吳野第二大隊は山田亭附近高橋第三大隊は北部小學校に本據を置き敵の主力と相對峙してゐる

支那軍機關銃で我陣地猛撃

【上海一日發】東寶興路の我陣地に敵は午前十時二十分から又機關銃で猛撃を開始し目下盛に應戰中である

租界內に潜入した便衣隊員約五千名

虐殺犧牲邦人が續出

【上海一日發】政府は支那兵が租界內に寄せ來らば陸軍を出兵する意向らしいが既に租界內に入り込んだ正規兵の假裝便衣隊はその後約五千と云はれ正規兵が租界內に堂々侵入の時は全居留民虐殺の時でその時陸軍を派遣するとは當地の實情を知らぬも甚だしいとして政府の無關心に二萬五千の居留民は憤慨してゐる、なほ邦人居留民の虐殺は頻りに續發となり飲食店入舟主人中村俊一、榮商會主高木博、渡邊洋行主の外多數の犧牲者を出してゐるが混亂の際とて犯人捜查も困難である

舊英租界の邦商破壞掠奪される

便衣隊を防ぐ途なし

【上海一日發】昨夜來急激に惡化した形勢は如何なる方面より見るも假に改善の方法見當らず、特に我軍の警備區域外たる元英米租界方面に於ける便衣隊の邦人襲撃は防ぐに途なく同區域に在る三井、三菱以下多數銀行會社に家を捨て、避難し居る邦人の恐怖名狀し難く、なほ同地域の警備任は英米その他が弱いので此の邊は全くの無警察狀態で便衣隊の横行甚だしい

工場に放火

【上海一日發】我軍の上陸と共に舊英租界一帶の支那人の對日感情は極度に惡化し邦商日比野洋行、滿和洋行等は支那人の暴徒のため昨日來破壞掠奪された

邦人虐殺

六三花園附近

【上海一日發】六三花園附近に在る邦人經營の豊山工場は今朝十一時半支那兵のため放火され目下盛に燃えつゝあり又同所附近の邦人作業場主豊田某は店員一名と共に工場を保護中昨夜支那兵のため虐殺され店員は庭の木に縛り附けられたが店員は辛くも逃れ今朝辛うじて我軍警備區域內に逃れて來た

支那避難民暴動化憂慮

【上海一日發】舊英租界に雪崩込んだ支那避難民は衣食を奪はれ加ふるに便衣隊の使嗾ありて生きんがために暴動化する危險充分あり戰慄中だが一日蜂起せば阻止の道無からんと憂慮されて居る

豊田紡の邦人五十名が危險

【上海一日發】西部租界外豊田紡績工場と租界內の聯絡は午後五時支那兵のため交通遮斷された同工場には邦人男子五十名籠り居り安否を懸念さるるなほ豊田紡の婦女子約三百名は無事租界內に避難して居る

時局委員會決議電請

軍部を不信任

【上海一日發】時局委員會は一日午前十一時より緊急會議を開き左の如き軍部不信任決議を通過し直に政府に送附した

不安の連續で怨嗟の聲起る

軍部は當初吾人を現地にて保護するを聲明せしも現在の狀態は現地居住を不能ならしむ、吾人は命からぐ安全の地を求め轉々として而も得られざる狀態に在り、一方支那は引續き戰備を急ぎ居りいよく戰爭となつた場合果して現在すら兵力不足を訴へつゝある海軍が能く敵を撃退し且つ後方便衣隊の蜂起を阻止し得るや、吾人はこの際次の二項を絕對に要求す
一、この際直に有力なる陸軍を急派さるべきこと
二、然らざれば全居留民の內地引揚を即時實行命ぜられ度し

【上海一日發】吳淞路、アン路、チャップ路、北四川路等邦人密集地帶は今や全く晝夜の別なく機關銃、小銃、拳銃を持ち便服を纏ふ正規軍の襲擊に惱まされ在留民二萬五千名は二、三日來一睡もせず生きた心地も無く不安のどん底に陷つて居る、支那軍の租界攻擊は邦人居住區域を目標として居り、今朝出帆の長崎丸は甲板の上迄邦人避難者を滿載して出航した、一方舊英租界方面は支那避難民と便衣隊のため一歩も外出出來ず電話も殆ど切斷され居り我軍の行動不能となり何の爲の自衞權發動なりやと居留民に怨嗟の聲が滿ちてゐる

龍田丸神戶着

【神戶一日發】兵火の上海を逃れて故國へ引揚の第一船郵船龍田丸は一日午前十一時上海引揚げの邦人男女六十名を搭載して神戶港に歸着した避難者の多くは上海在住者の家族で海軍軍令部次長百武中將も歸還したが、同中將は上海の事態上奏のため上陸直に午後零時二十分三ノ宮發の燕號で急遽東上した

五船で避難

【上海一日發】長崎丸は邦人避難民を滿載して出港したが軍艦は避難者收容のため同艦を長崎から引返すと共に更に三日に警備四日に阿蘇、上海、加賀丸を當地に廻航し取敢ず婦女子のみを受附け男子の乘船を許さぬことに方針を決定した、右五隻の收容能力は三千名で到底足らず居留民は政府の命令で配船增派を要望してゐる

南京各所に防禦工事

【東京二日發】南京二日發海軍省着電、上海事件發生以來支那側は盛んに防禦工事を施行中で各所に砲臺塹兵壕を構築中で日本人使用の運轉手ボーイ等は憲兵、巡查の脅迫に遭ひ逃げ隱れる者あり領事館も事務上多大の支障を來せるのみならず糧食買出しにも困難を感ず、領事館の電話も差し押へらるゝ

鄭州辦公署が事務開始

【北平二日發】國民政府鄭州辦公署は昨日午後から政府事務を開始した

虹口一帶は死の街と化す

【上海二日發】虹口一帶は今や死の街となり我軍隊輸送の裝甲自動車の外全く人影をみないが、今朝支那人數十名はトラックで來り掠奪を行はんとしたので我陸戰隊一個小隊出動これを擊退した

邦人避難に船舶出港見合す

【上海二日發】日支兩軍の大衝突の機愈々切迫して來たので虹口一帶の空氣は息詰る程の緊張を呈してゐるが、支那兵の砲擊による萬一の場合を恐れエキステンション居住の邦人は今朝來續々中心に引移りつゝあり、總領事館では婦女子全部の引揚に備ふるため大連、青島、天津方面行きの我船舶に對し出帆を見合せしめた

閣議重要事項を決定

【東京二日發】二日の重要閣議は午前十時半から開會中橋內相を除く大養首相以下各閣僚出席先づ高橋藏相より實行豫算編成方針につき說明決定、次いで大角海相より上海方面の事態の變化の經過を詳細報告國防財政外交上の見地における重要對策を決定更に芳澤外相より駐日英米佛三國大使を通じて三國より上海事件に對して爲された抗議並に之に對する政府の回答に就き報告後一時三十分散會した

陸軍の急派請願

各路聯合會でも

【上海一日發】數日來上海は危險の極に達し殆ど安全地帶無く殊に虹口一帶は外出不可能のみならず窓を開ける事さへも出來ぬ狀態なので各路聯合會は本日午前十時代表者會議を開き海軍が現地保護の聲明に反し大部分は財產を棄て他に避難してゐる有樣で停戰協定不成立の場合は昨夜の事件どころか一大悲慘事を招來する恐れあるのでこの際政府に對し左記二項の最大要求を爲す事となり直に東京に打電した
一、先際陸軍を即時急派され度し
一、しからざれば速に引揚げ命令を發せられ度し
右決議に對しては時局委員會も滿場一致賛成した

北平邦人も增兵要請

【北平一日發】時局重大化し當地邦人は危險に瀕するので居留民會は本日午後政府に增兵請願をすることに決し即時その手續を採つた

米人財産破損に米總領事が抗議

【ワシントン三十一日發】確聞するにアメリカ政府は上海共同租界内に於けるアメリカ人の財産が今回の事件により破損されたるにつき日本政府に對し新なる抗議を通告する事となつた上海駐在アメリカ總領事カンニングハム氏は上海駐在日本總領事に對し去る二十九日日本の夜襲砲撃及び陸戰隊のためアメリカ人の學校內に於ける器物その他の破損につき交涉をなす處があつたが、アメリカ國務省當局に於ては右の如き事件はなほ他にも數件あり損害は相當多額に上つてゐるのでこれ等の損害を總括して日本政府に對し新なる抗議的通告をなすものであると

海軍重要會議

刻々と上海から情報

【東京一日發】櫻宜の措置を一任された大角海相は午後再び芳澤外相と會見し歸省するや六時より軍令部長伏見宮、次官その他鹽澤司令官よりの報告を中心とし上海事變に關する我海軍今後の方針に就き長時間に亙り重要謀議を凝らしたが鹽澤司令官よりの無電は會議中も續々として到着は益々緊張の度を加へつゝある

支那調查委員來月四日横濱着

【ジュネーヴ一日發】日支紛爭の調査に急遽によりアメリカ經由渡支の計畫を中止してシベリア横斷鐵道によつて滿洲に赴く豫定であつた聯盟支那調査委員一行は本日またも東支鐵道の交通杜絕の報に接し對策に窮したので、再び豫定を變更する事となり先づ今明日中に支那調査委員のヨーロッパにおける最後の打合會をパリに開き結局三日パリ發アメリカ經由太平洋横斷渡支する事となつた、一行はリットン卿(英)クローデル將軍(佛)シュネー博士(獨)アルトロウア

野村司令長官親補式

【東京二日發】海軍では今度第三艦隊を新に編成する事とし司令長官には野村中將に內定二日午後二時軍令部長補式を行ひ續き左の如く親補式を行はせた

補第三艦隊司令長官　海軍中將　野村〔吉三郎〕
免本職　補橫須賀鎭守府司令長官　軍事參議官　海軍大將　山本〔英輔〕

上海方面の狀勢協議

出淵大使語る

【ワシントン一日發】出淵大使は一日スチムソン長官と會見後左の如く語つた

上海のその後の情勢につきスチムソン長官と會談し合せた政府の意向を傳へたものであるが、リカ政府から最近の通牒…回答したのでも新通牒なのでもない、日本としてもり事を好むものでもない、さへ致砲を中止すれば日本止めるのは勿論である

英大使懇談

【東京一日發】イギリス大使リンドレー氏は上海事件の發展につき一日午前十時四十分外務省に永井次官を訪問し情報を聽取したる後懇談午後は芳澤外相を訪問懇談する處があつた

松平駐英大使ド總長を訪問

【ジュネーヴ二日發】本日開會の軍縮會議全權松平大使は一日午後六時ドラモンド氏を訪ひ挨拶を兼ね日支實情につきわが態度を述べ十分間意見を交換した

森翰長藏相訪問

【東京二日發】本日午前九時森翰長は高橋藏相を訪問閣議に〇〇案上程に至つた顛末を報告し財政上の問題に關し打合せた

海外兩相協議

【東京一日發】大角海相は一日午後五時より一時間芳澤外相と會見重要協議を行つた

犬養首相に決意を促す

【東京一日發】大角海相は一日午後四時半犬養首相及森翰長を官邸に訪ひ上海方面の事態重大なるに對し帝國政府としては重大決意を要する旨述べた

主要列國に眞相報告

【東京一日發】英米佛三國の抗議が全く事實無根の虛電に基いて居るに鑑み事態收拾の途は各國が全く元の狀態に在るとを示して眞相を諒解せしむるに在りとし一日夜英、米、佛、獨、伊、白その他主要國駐在我大公使に對し上海事件の原因經過軍の行動等につき眞相を詳述せる至急電を發しそれぞれ各國政府の諒解を求むるやう努力方を訓電した

長崎から食糧品を多量輸送

【上海一日發】食糧品輸送の件に就いては長崎市長は本日居留民團宛白米三百石他必要品多量輸送する旨返事して來た

支那側軍資金を募る

【上海二日發】支那側は第一線の顧祝同を第二の馬占山とし銀行工會が中心となり軍資金を募りつゝあり二十九日には約百萬元を同工會が支那軍に渡し三十日には八十萬元、卅一日には十二萬元が義捐金として集められた

上海事件費協議

【東京一日發】大角海相は一日午後四時高橋藏相を訪ひ上海事件費につき懇談したが、近く第一回の緊急處分にて公債財源によりこれを捻出するに意見一致を見る模樣である

上海事件費二千萬圓を要求

【東京二日發】上海事件勃發に伴ふ海軍省の經費は既に百八十萬圓の緊急處分を受けたがこれでは到底足りるものでないので二回分二千萬圓を要求してゐる、財源は全部公債に仰ぐ筈

聯盟書記長

【ジュネーヴ一日發】本日聯盟は上海事件調査報告作成の書記長として目下南京に在る聯盟交通ロビール博士が任命された

〔諸氏外聯盟…〕ンデイ伯(伊)…リカにてアメリカ代表マッコイ將軍一行と合し二月二十日ブント、ジェファリン號で…月四日横濱着の豫定である

支那側の重要會議

【北平一日發】蔣介石、林森…は途中徐州で軍事會議を開き本日午後二時河南の鄭州に…直に汪精衛、馮玉祥等と…につき重要協議を行つた

漢口市內平穩

【漢口一日發】省主席何成濬は我總領事館に代表を送り夕…なる文書を寄せ當地にては日本と…幸なる事件の發生を…努力致し度し支那側に於ても…會等に對しては極力取締り…よつては武力彈壓を爲す可…し入れて來た、尙我海軍當…萬一のため昨夜より今曉に…租界周圍に嚴重なる鐵條網…たが目下の所市內の空氣は平穩である

米艦出動命令

【ワシントン三十一日發】米海軍軍令部長プラット提督はアジア艦隊司令長官テラー提督に對して貴官はアジア艦隊を率ゐて上海に出動す可しとの命令を下した

新滿蒙建設の私見

物よりも寧ろ人の問題

(九)　難波勝治

上來私はこの頃喧しくなつた滿蒙新建設に就いて、私の小なる智識と體驗に基づき、最も重要な問題に關する所感の一端を概述しました、なほ細目に亙つて色々な事項はあります、金融問題は勿論、同じ產業にしても、林業、鑛業、水產、牧畜など枚擧に違ありませ ん、それ等に就いても聊か意見がないでもないが、一々茲に詳說するの煩を避けます、しかし一言附記して置きたいのは、**結局は人の問題に落着きます、何事も**何物よりも先づ人を植えつければなりませぬ、如何なる富源の開拓も、市場の擴張も、總て資本と組織とを要する時代ではありますが、それ等を運用按配する者は人の力であつて、誰しも夙にこれを熟知してゐます、然るにその知れ切つた問題が却々實行され難い、誰でも意見は述べる、計畫も立て得る、さて之が實行に適した人を何處に求むべきかは、眞に建設を思ふ者の常に苦心する所であります、それには現に存在する物の調査が必要であると同時に、現に存在する人に就ての調查が必要であります、詳しくいへばこれまで如何なる方面に、如何なる人物がその實行力を發揮して居たかを精査研究して新建設の資料たらしめねばなりません。

私は屢々各地に往來し、努めて實際の實務に奮闘して居る人々の動向を見聞しました、その度ごとに私が想定して居た抽象論と異つて心强さを感じました、それは事業の大小淺深に拘らず、到る處に新建設の基調となるべき奮闘を續け、その地、その時に應じて尊重すべき成績を擧げて居るとを認めさ感じました、彼等は名を求めず、功を貪らず、その所信を徐々に確實に遂行しつゝあります、世間の所謂組織機關の下にある事業が、失敗だ、停頓だと批評されて居るに拘らず、その同じ事業に從事する個人の中には、實に敬重すべき成績を擧げて居る者が少くない、勿論其處には輕重の大小、內容の差異はあります、しかしその實行力を擴充すれば、以て大建設の範となすに足ると思はれます、さうした事實が物の調査研究のみに沒頭して居る人々に組織されて居ない、個々その風聞を耳にしても、數の大小、量の輕重から推定して餘り注意されないのでありま す、さうしてたゞ新建設、新建設と大業に抽象論が叫ばれて居ますかうした世論と實際との矛盾を私は多くの植民地に見ました、今日**十五萬を數ふるブラジル新植民は、**僅々二三の日本人勞働者が、サンパウロの一耕主から認められた信用にその因を發しました、ダバオ三萬町の麻栽培地さ、一萬有餘のそれに從事する邦人の繁榮とは、一警察の據えた根柢の上に築かれた結果であります、好かれ惡かれ、戰前全島を風靡した干拓事業の盛況は、當初米穀商として彼地に渡航した一人の考案と奮闘とが、過去三十年間に彼れだけの發展をなすに至らせたのであります、**かうした芽生えが結局大をなす所以の因子だ**と思ひます、時局が與へた大きな刺戟は、青年に依つて滿蒙の眞相を見直すべき一石が投ぜられたことです、傳統的形式論から脫却して、現に在る物と人との實相と動向とを審かに透見し、その上に實際的建設の礎石を置くことだと考へます(完)

社說

上海形勢悪化と英米の抗議　責任は寧ろ租界局にある

長江沿岸に於ける邦人現地保護の原則は、遂に維持する能はずして、上海租界に於てすら邦人の安任を期す能はざるに至り、我公使總領事も亦全居留民の引揚を勸告し、公使、總領事、領事自身も夫々官邸を引拂ふに至つた。實に由々敷き悪化狀態である。英米兩國總領事は、先に兩軍隊の間に斡旋して停戰を講じたが、其間に屢々支那軍の裏切るあり、三十一日には列國會議にて中立地帶設置の協議ありしが、其の協議進行中にさへ支那側からの砲擊があつたのみならず、便衣隊の活躍あり、且つ英國側の偏頗なる提案の爲めに、日本側の不同意となり、議遂に纏まらず。他方に於て支那側は着々戰備を調へ大軍を集結して租界攻擊の姿勢を執り、益々多數の便衣隊を租界内に放ちて、邦人の生命財産を脅威する。支那が公然宣戰を布告すると否とに拘らず、日本國家に對する、對敵の意思と行動とは、十分にこれを認め得る。日本軍隊が重大な決心を爲すに至るは當然である。

◇

此時に方つて、英米二國は、我國に抗議した、抗議の要點は(一)日本軍の行動が必要以上に及ぶ事(二)日本軍は共同租界を攻擊の本據に使用する事(三)日本の行動は共同租界本來の地位精神を無視し、英米人の生命財産を危殆に陥らしめたといふ事である。恐らく其根據とする所は、支那側が初め日本の要求を容れたに拘らず、日本軍が行動を開始したといふ點であらう。併し既に芳澤外相も說明して居る通り、支那側は表面上我要求を容れたと稱するも、實際に於て日本に對する對敵行爲を繼續して居た。其れのみならず、遂に支那兵より我軍に對して攻擊を加へ、租界内に多數の便衣隊を放ちて、邦人に危害を加へた支那兵は多數であり、便衣隊の行動は潜行的である。

◇

斯る狀態の下にありて、日本軍が適當な行動を執るにあらざれば、日本軍隊及び我居留民は全滅の虞れがある。此れは支那政府の無力、其軍隊の無統制、並に正規兵を便衣隊に變裝せしめて、潛行的行動を執る事等の現實の事實より結論さる可き所である。故に英米にして此等の事實を正確に認識せんか、右の(一)(二)の如き抗議は到底問題とならぬ筈である。元來此の抗議は、上海に於ける英米總領事の報告を根據と爲すものであるが、彼等が上述の事情を知らぬ筈がない。此點に於ては、曩に國際聯盟理事會が、支那側の報告を盲信したのとは大に趣を異にする。吾人は英米總領事が、何故右の如き本國政府を誤らしめるが如き報告を爲したるやに就き幾分の疑念を挿まざるを得ない。若し英米兩本國政府にして、今回の事件に關して公平に處せんとするならば、別に正確な調査を爲すの必要がある。

◇

抗議の(三)は上海事件に於て見る可き特殊の論點である。吾人の見解によれば、租界の危險を招いたのは、畢竟支那の不信表裏、及び便衣隊使用、殊に何とかして日本人に危害を加へんとする其の根本精神に基くこと勿論であるが、其れは今更ら云ふに及ばずとして、此際吾人の是非とも一言し置く可きは、共同租界當局の態度である。若し工部局が、最初に事件の重大性を認識して、租界警備に萬全の策を立て、其警察力を充實し、便衣隊の進入活動を防止し、且つ支那軍隊に租界を窺ふの隙を與へなかつたならば、斯くの如き重大事には至らなかつた。假令租界外に如何の騷擾あるも、少くとも租界内だけは安全である可き筈であつた。若し警察力が不足ならば、軍隊によりてでも、豫防法を講ず可きであつた。然るに工部局は此等の點に於て十分の注意を拂はなかつた。而して只、口頭に於てのみ租界は安全だと稱して居た。吾人は曾つて工部局の取締が不徹底である限り事態は必ず重大化す可きを豫言したが、事實は正に其通りであつた。工部局の取締不徹底なるに乘じて、多數便衣隊が入り込み、邦人に危害を加へて已まぬ。且つ列國の不徹底な態度を奇貨として、支那軍は租界内の我警備區域に發砲する。我軍が自衛の爲めに、適當な方法を講ぜざるを得ざるは當然で、斯くて事態をして、今日の如く悪化せしむるに至つた。共同租界の地位、精神を無視して、租界内日本人の生命財産を危殆に陥らしめたものは、寧ろ工部局である。我國からこそ此點に就て工部局に抗議すべきである。

◇

租界内における日本軍隊の警備區域に向つて發砲する事、及び租界内に便衣隊を放ちて、日本人に危害を加ふる事は、啻に日本帝國に對する對敵行爲ばかりでない、共同租界の存在を全然無視したものであつて、條約違反の明白なものである。租界當局が、支那の此違法に對して何等匡正の方法を講ぜざるは何故であるか。元來、國民黨の傳統的意圖は、租界の回收にある。故に事ある毎に、租界の擾亂を計畫する。平時にありて、富豪に對する綁票なども、故意に租界内に於て行はれる。綁票團の中には、國民黨に通ずるものあり、彼等は工部局警察を出し拔き、租界内と雖も決して安全でない事を、良民に知らしめんとするのだ。以て租界存置の意義を滅殺せんとする。今度の事件の如きは、彼等の最も乘ずべき機會である。巧みに列國を操縱して、租界の安全性を破壞し、國人をして租界無視の習性を養はしめんとする。假りに斯くの如き深謀なしとするも、斯くの如き結果に導くは明瞭だ。滿鐵を破壞して滿洲の日本の權益を破壞せんとする。天津における日本租界の警備薄弱な時に乘じて、一擧して之れを拔かんと企つる。すべて先年の、漢口英租界奪回の轍を行く者だ。國民黨の最も關心する上海租界に對して、此企圖なしとは斷言し得ない。英、米、佛、伊の諸國は此點にも想及すべきである。

敗殘兵續々哈市に入込　皇軍哈市三里地點に迫る

【ハルピン發滿鐵經由國際運輸入電】皇軍は目下ハルピンを距る三里の地點に到着、敗殘兵は續々入市しつゝあり、市民は極度に緊張してゐるが市内は平穩である、國際社員一同無事、一日からチチハル經由電信開通せり

反吉林軍の將領に　軍司令官から警告　哈市特務機關を通じ

關東軍當局談＝三十一日夜關東軍司令官はハルピン特務機關をして丁超、李振聲、李杜等反吉林軍將領に對し大要左記の意味の注意を促した

軍は吉林軍及び反吉林軍の内爭により禍亂がハルピン市街に波及せんことを憂慮し居留民保護の目的を以てハルピン派兵を斷行せり、而して派兵に關しては豫め通告及び布告を發して一意專心不測の事態を發生せざらんことを努力せるに何ぞ料らん一月三十一日朝貴軍指揮の指揮する部隊は進んでわが軍に對し攻擊に出で明かに敵對行動を開始せり今やソウエートロシアもわが軍出動の目的を諒とし東支鐵道に關し日本軍の輸送を妨害せざる旨を聲明せる次第にてわが軍も亦中正を持しハルピン進出を期せり、宜しく大局に着意し擧措を誤まらざらんことを望む【奉天電話】

第二軍用列車出發　きのふの午後長春から

ハルピン派遣の第二回軍用列車は二日午後三時四十分盛大な見送り裡に出發した、野井聯隊本部、歩兵第〇大隊、大谷野砲第〇聯隊本部、第〇聯隊小野大隊以下〇〇名滿鐵社員鐵道修理班〇〇名の約〇〇名である【長春電話】

兵匪を爆擊し愛機の仇討　高野中尉と林野軍曹

昨日敵彈を受け双城堡附近に不時着陸した平壤第〇中隊の高野中尉林野軍曹は身柄のみ双城堡に歸還し居たが今朝新たなる機を操縱歸還の途昨日の愛機は燒き拂はれ居るを着取し附近に在りし兵匪三百名を爆擊全滅せしめ見事愛機の仇を討ち午後零時半無事歸還した【長春電話】

飛行隊活躍

一日午後二時四十分におけるわが飛行隊よりの報告によれば

一、双城北方約三十キロにしてハルピンと双城中間の小流の線に至るまでは敵兵を見ず

二、双城西方地區には處々に乘馬部隊あり、また黄旗四屯には大部隊ありたるため飛行隊はこれを攻擊せり

三、ハルピン、傅家甸東方地區には約一千内外の敵集中せり

四、一日午前十一時正紅旗二屯を前進する約五六百名の兵匪に對し空中より攻擊したるに敵は四散せり【奉天電話】

交渉圓滿解決

軍司令部發表＝卅一日午後四時わがハルピン特務機關長百武中佐は東支鐵督辦李紹庚同副理事長クズネツオフ及同管理局長ルーデーと會見せり、この結果東支鐵道側は長春ハルピン間の運行開始および軍隊の輸送を承認し列車數は日本軍の要求する數量を提供すべく鐵道の修理に就きては日本側の要求により東支鐵側においてなすべきも日本側の要求に滿たざるときは日本軍助力ありたき旨を述べ圓滿に解決せり、また東支鐵側は特にソウエート側從業員の保護運行作業の自由を切に希望したり【奉天電話】

自動車輸送隊　双城堡に未着

今朝二回に亙つて長春を出發し双城堡に向つた自動車輸送隊は豫定の十二時間を經過するも双城堡に到着せず途中行路難に惱みつゝある模樣で大いに憂慮されてゐる【長春電話】

第一線との連絡成る　牛田小隊着春

牛田工兵大尉の率ゐる一小隊(鐵道聯隊)は一日午後二時四十五分裝甲列車で廿數時間の寒さと疲勞に惱まされながら元氣旺盛途中鐵道を妨害する匪賊討伐を行ひながら長春に到着した、これによつて廿八日から四日間連絡が絶へてゐた長春と最前線との連絡が完全に復活した【長春電話】

双城は平穩

軍司令部發表＝一日午後一時發ハルピン派遣部隊よりの報告によれば双城は平穩にして縣長はわが派遣部隊長を訪問して誠意を表したり【奉天電話】

丁超輸送阻止

丁超はロシヤの後援を得たと稱してハルピン驛にある車輛全部を押へ南部線の輸送を阻止してゐる【長春電話】

學良義勇軍の運動を獎勵

張學良は二十九日吳運方に銀二萬元を攜帶せしめ山海關に向はしめ秘密裡に義勇軍の積極的運動を獎勵しつゝあり【奉天電話】

滿蒙開發の植民運動　拓務協會を制定

新國家の樹立に伴つて滿蒙植民問題が擡頭しつゝあるが從來この移民問題については種々な意見もあるがそれ等は單に抽象的理論に過ぎずして實行に當つては尚相當研究の餘地ありとしこれが具體的方策とその實行に當らんと今回米國農學士赤木氏來奉、滿蒙拓務協會なるものを設け既にその創立事務所を在奉全滿米穀檢查所内に置き今後移民問題に對する輿論を喚起し滿蒙開發の第一歩即ち植民運動

軍縮會議愈よ開會　一般討議は來八日開始

【東京二日發】ジユネーヴの軍縮會議は二月二日開會されるが、會議は議長の開會演說後二、三小委員會を設ける事になつてゐるので一般討議は八日より開催される模樣で相當長引くものと見られる、日本代表は第一週中に發言する筈、尚軍縮會議に對しては佛蘭方面でも何等かの結果に到着せん事を希望してゐる

市會堂にて開會式

【ジユネーヴ二日發】愈々二日軍縮會議はジユネーヴに開かれる事となつたが午後三時半市會堂における開會式を以てこの劃期的大會議の幕が開かれるが、參加國數六十四各國代表人員數一千三百、新聞通信記者數六百名に及ぶと

五十五國代表到着

【ジユネーヴ一日發】日支紛爭事件で議中休みのジユネーヴの街は本日俄に軍縮氣分に賑はひ出した參加招請を受た六十四國中拒絶せるはエクワドル一國のみだが代表の到着したのは、五十五國のみであり、尚軍縮會議々長たるべきイギリス前外相ヘンダーソン氏は本日午後三時半約四十分間放送演說後、開催地たるスイス國大統領モツタ氏は名譽議長に推戴された、同時に參加各國代表の信任狀審查及び議事進行方法、議事手續決定のための委員會が組織されたが、右委員會は今週中續く見込で各國主席代表の演說は來週に延び第一週は手續審議に費されるわけである

滿蒙新國家建設の重大四大綱を決定　奉天商議の提出議案

在滿公共機關聯合會發起人側においては二日間にわたり奉天商議にて聯合會に提案すべき議案について協議の結果左記四項にわたる大綱を決定した

一、速かに東北四省を包括する獨立國家の實現を期待す

二、新獨立國家は民衆の啓發と東洋永遠の平和とを基調とし日本帝國と永久親密の關係を保持すべし

三、如上の根本方針に基き本聯合會は完全なる治安維持と經濟の安定を期し内外人安住の樂土たらしむべく左の方策を待望す

イ、交通機關は之を完全に統制しその整備充實を圖ること

ロ、門戸開放、機會均等主義により内外人の自由平等を確保すること

ハ、速かに幣制を確立し金融の調達を全うすること

ニ、現行關稅制度を改善し產業貿易の發達を圖ること

四、わが國の對滿蒙政策は速かに之が刷新を期すべし

イ、四頭政治の積弊を打破し統一せる機關を設置すること

ロ、我國の農業移民に有效適切なる方策を講ずること

ニ、金融機關の整備改善を圖ること

ホ、滿鐵の運賃炭價を引下げること【奉天電話】

花澤大尉に感狀附與　關東軍で嚆矢

【東京一日發】去る一月二十四日滿洲打虎山で戰死した獨立飛行第〇〇隊中隊長花澤友男氏は二十四日附を以て關東軍司令官から感狀を附與された、なほ關東軍司令官の感狀附與はこれを以て嚆矢とし少佐の出動回數は百九十三回の多きに達した

奉天公所を廢止せん　栗野氏は榮轉

滿鐵奉天公所は滿洲事變によつて情況一變し公所を存續する必要が無くなつたのでこれを廢止し今後對支那側交涉事務は奉天事務所内の各機關がそれぞれ直接當ることとなる模樣である、なほ栗野公所長は本社地方部次長に榮轉することとならうと見られてゐる【奉天電話】

栗野公所長談

滿鐵本社地方部次長榮轉說の栗野奉天公所長は語る

まだ何とも通知に接してゐないが奉天も大分長くなつてすつかり奉天兒になつたところであるが赴任することゝなれば奉天を去るのが餘程淋しい感じがする、然しこの多事多難であつた奉天時代は何處へ行つても忘れられないであらう、殊に事件突發の際公所に避難民を收容した時は今まで經驗しない重い責任を感じた、今後と言つても色々な關係で奉天とは緣切するわけでないから全く離奉といふ意味にはならないであらう【奉天電話】

内田總裁と拓相懇談　三日夜離京

【東京特電一日發】滯京一ケ月餘に及んだ内田滿鐵總裁は愈々三日夜歸任することゝなつたので今日午後四時秦拓相を麴町下二番町の官邸に訪問、滿鐵の近況に關して詳細なる報告を爲し、なほ時局問題につき懇談する處あつた、午後四時五十分辭去したが之より先秦拓相は犬養總理を官邸に訪ひ何事か協議しその上にて内田滿鐵總裁と會見相當重要問題をも議した模樣である

荒木陸相とも會談

【東京特電一日發】内田滿鐵總裁は本日午後三時官邸に荒木陸相を訪問滿蒙新國家建設問題に就き種々協議の上同三時四十分辭去した

勞働會議代表決定

【東京二日發】國際勞働會議代表は左の如く決定した

△政府代表　國際勞働機關事務所長　吉阪俊藏　社會局書記官　川西實三
△商人代表　片岡安
△勞働代表　西尾末廣

駐佛大使に長岡春一氏任命

【東京二日發】特命全權大使兼特命全權公使長岡春一氏は兼官を免ぜられ佛國駐劄を仰付けられた

今井田總監歸任

【東京一日發】今井田政務總監は三日夜九時四十分發歸任に決した

論文と歌詞を募集　滿蒙維新に寄與する我社三大事業の一部

新春元旦の紙上に於て發表した吾社本年の重大事業の中、論文及歌詞募集の二件は左記の條件を以て公募いたします、奮つて雄篇の應募を希望します

論文募集

◇題意　滿蒙維新の大業完成に對する吾人の希望
◇回數　十回、一回一行十五字詰百五十行
◇賞金　當選作五百圓、佳作二百圓
但當選作者は右賞金を以て南支方面を、佳作者は滿蒙地方を共に視察するの義務があります、若し視察せざる場合は、當選作者には三百圓、佳作者には百圓を呈します
◇締切期日　三月十五日
◇審查員及方法　追て發表します

滿蒙維新の歌

◇題意　滿蒙維新を象徵しこれを祝福するの歌
◇歌體　行進曲式
◇歌調　七五調、六節、五項
◇選者　西條八十氏
◇作曲選者　中山晋平氏
◇賞金　一等二百圓、佳作五名各十圓宛
◇締切期日　三月十五日
追て應募歌詞當選の後には更めて右に對する作曲を募集しこれには一等五十圓、二等三十圓、三等二十圓の賞金を呈する筈で當選作曲なき場合は中山氏に作曲を依賴することになつて居ます

昭和七年一月　滿洲日報社

同胞救濟の義捐金送附

滿洲事變による遭難鮮人救濟のため市役所に於て募集中の義捐金は左の通り決算し奉天總領事宛に送附した

遭難鮮人義捐金品收支精算書

▲收入ノ部　金四千七百四圓三十四錢也、内譯金四千六百九十三圓四十錢寄附金、金拾圓九十四錢預金利子

▲支出ノ部　金四千七百四圓三十四錢、内譯金三千圓第一回送付義捐金(十二月一日奉天總領事宛送金)、金三十三圓六十錢義捐品荷造及運搬賃、金二十圓廣告料金一千六百五十圓七十四錢第二回送付義捐金(奉天總領事代理宛送金)以上

▲義捐品(古衣類)寄附總數八十四梱包、内譯六十梱包十一月廿八日奉天總領事館宛滿鐵便にて送付、二十四梱包十二月十七日同

ほんこん丸船客

【門司特電二日發】四日朝入港豫定のほんこん丸の主なる船客諸氏

大田黑英記(辯護士)白川友一(白川保善社)南好雄(滿鐵所副參事)中村太次馬、吉村英吉

關東廳辭令(一日附)

任關東廳事務官　正五位勳六等　日下辰太
敍高等官二等
關東廳内務局長　日下辰太
内務局殖產課長事務取扱を命す　關東廳内務局長　三浦
依願免本官

人事

▲山岡萬之助氏(關東長官)一日廿時着列車で奉天より歸連
▲田邊秀雄氏(關東廳文書課長)同上
▲佐藤達三氏(滿鐵々道部經理課長)同上
▲田村羊三氏(豆信專務)同上
▲增田道義氏(金州民政署長)山岡長官を金州驛に出迎へ大連に隨行

大觀小觀

上海の「中立地帶」設置は果して事實上駄目となる▲曩に問題となつた「錦州中立地帶」の設置は「中立地帶」といへば體裁がいゝがあれは事實上「匪賊巢窟地」の設置問題であつた▲今回問題になつてる上海の「中立地帶」設置はこれまた事實上「便衣隊潜伏安全地帶」の設置案と見るべく▲日本側如何にお人よしと雖もソンナ不法、不利の妥協には斷じて應ずべきにあらず▲約三萬の支那軍と少數な日本陸戰隊の對立、それでゐて何が侵略だ何が橫暴だ▲殊に停戰協定を無視して襲來また襲來の支那側の無誠意、不信、暴戾を膺懲するに何の遠慮がいるものか▲何處までも自衛權の發動であり、且つ居留民の生命財產保護である以上、やるべし、大にやるべし▲後方との連絡されず孤立無援に陷つた双城堡の皇軍、通信連絡杜絕兇惡な支那側の重圍に陷つたハルピンの邦人、何れもその慘情悲壯を極む▲斯ういふ非常時に際して沈勇剛毅、斷じて所信に邁進するは日本人の特性▲四圍刻々危險に瀕しつゝも敢然玉碎主義を以て孤壘を死守する皇軍並に、武裝解除の要求に應ぜず斷然これが峻拒の行動に出たハルピン居留民の意氣頼もしいけれど▲されど北滿、上海共に在留邦人の危險ますく加はる▲最早や躊躇すべきにあらず、兩方面共に增兵、ただ增兵あるのみ▲この際無理解偏頗な他國の干涉は斷じて排すべく强て嫌ぐるものあらばこれを斷乎拒絕するも可▲一旦遮らるれば千載の悔ひありと知るべし。「春寒や腕物にメスの光りかな」

市況(二日)

株式　内地株引安　地場續落

内地主力株の引安と東京の五品安につれ當市の五品は三四圓安の二三圓臺新豆は一圓痛み安錢鈔は二圓四五十錢安と續落した

後場

◇定期

銘柄		當限	先限
新豆	寄	二三、五	二三、七
	引	二三、八	二三、八
錢鈔	寄	二二、〇	二二、三
	引	二一、四	二二、六
氷新	寄	—	—
	引	—	—
五品	寄	二二、四	二二、七
	引	二二、二	二二、三
	歩	二二、一	二二、四

◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	三三〇	三三〇	三三五	三三五
新豆	三三〇	三三〇	三二九	三三四
錢鈔	三〇五	三〇五	三〇五	三〇三
東新	一三三	一四一	一三九	一三九

商品　綿糸軟弱　麻袋變らず

●綿糸　大阪三品大引は期近一圓獨中先一二圓安を入れ當市は投げと新規買の混戰で相當手合せをみた

●麻袋(延取引)

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	四月限	一三六三	五〇
同	五月限	一三八九	一〇〇
同	同	一三七一	一〇〇
同	同	一三七五	五〇
同	七月限	一四三四	六〇
同	同	一四二〇	二三〇
出來高	四百十梱		

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	二月限	二七五	二〇
同	三月限	二六五	一〇
出來高	三萬枚		

錢鈔

舊正につき後場休會

奧地市況

▲奉天大洋　現物　七〇、八〇　先限　一四一、〇〇　一四一、二〇
▲開原大洋　現物　七一、〇〇
▲安東鎮平銀　當限　九九〇　九九九

市場電報

神戸特產

大豆現物	四六〇
先物	三八五
豆粕現物	一三八
先物	三〇〇
滿洲小麥	三六〇
豆油現物	二〇六〇

横濱生糸

限	後場一節	後場二節
二月	六二六〇	六一〇〇
三月	三六三〇	六〇〇〇
四月	六三九〇	六〇〇〇
五月	六四一〇	五九八〇
六月	六四五〇	五九〇〇
七月	六七〇〇	六二〇〇

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
二月	一三三五〇	一三二三〇
三月	一三四七〇	一三三九〇
四月	一三六八〇	一三五九〇
五月	一三八五〇	一三七一〇
六月	一三九五〇	一三八六〇
七月	一四一八〇	一四一六〇
八月	一四四二〇	一四三〇〇

大阪期米

限	後場寄	後場引
二月	二四〇九	二四三五
三月	二四八一	二五二九
四月	二五四一	二五八六

東京期米

限	後場寄	後場引
二月	二三八九	二四二九
三月	二五三〇	二五六九
四月	二六一八	二六六五

神戸期米

限	後場寄	後場引
二月	二四四二	二四六五
三月	二五三〇	二五五一
四月	二五八〇	二六〇五

日本佛教新聞滿洲支社設置

今般滿蒙における時局多端の折柄思想善導の一助にもと左記に支社を設置し元大連新聞社員大石一男を支社長に命じ一切の事に當らしめ候に付ては萬事御指導賜り度奉懇願候

日本佛教新聞社
東京市神田區今川小路二ノ三

支社　大連市近江町一九〇番地

私儀大連新聞在職中は公私共多大の御厚情を蒙り難有存奉候附ては今度日本佛教新聞滿洲支社設置に當り支社長として就任仕り候に付今後共萬事宜敷御指導と御援助を賜度御願申上候

大連市近江町一九〇
日本佛教新聞滿洲支社
支社長　大石一男
電八三一七

腕一本で雄々しく 實社會に躍り出す
大連早苗校卒業生の志望調べ 美ましい就職振り

大連早苗高等小學校では今春三月高等科二百六十三名、專修科八十七名の卒業生を送り出しますが、これら卒業生は行く先何を望んでゐるのでせうか、左に掲げて見ませう

	高等科	專修科
中學校	七	一
商業學校	九	一
育成學校	七	二
專修科	一四九	一
工専附屬職業教育部	四	七
鐵道教習所	五	一
遞信講習所	一四	一二
滿鐵工場見習	二〇	一六
撫順工業養成所	一	一
美術學校	一	一
就職	二四	四五
家庭	一六	二
未定	七	一

右によつて見ますと、こゝを出る子達は將來腕一本で社會に躍り出やうといふ

健氣な 氣持ちを多分に持つてゐるやうですが、これも今の時代が斯うさせたのでせう、そして高等科、專修科合計六十九名の就職希望者に對しては既に滿鐵消費組合、國際運輸、滿日社、東拓各會社より十數名、市内個人商店より三十名餘りの求人があり、半數以上は賣れてゐるのですから卒業日までにはおよそ不足を感じるだらうと校長始め訓導達は就職難時代を餘所に鼻たかだかの態です、次のは重松校長のお話

昨年第一回卒業生を出し就職希望につき保護者側と相談いたしましたところ保護者は從來の殼を破り得ず兒童の

性能を 重く見て將來の職業を決定しやうといふ重大な點を無視して體裁上大會社、商店などを希望される向が多く、兒童の希望と相反して學校側では大へん困つたため今年は昨年の失敗を繰り返さない樣にと入學當初より各兒童の性能長短を充分知る事に努め彼等各々に應じた職業を與へる樣に努力した結果割合に今年はうまく行つてゐるやうに思はれますそれに保護者側の方でも兒童に對する態度が昨年とは變り大會社、商店の希望者は割に減つてむしろ個人商店などで將來獨立できる

立派な 商人を拵らへ樣と希望される樣な傾向となり嬉しく思つてゐます
不幸中學校、商業學校に入學できなかつたからといつてその兒童が無能であるとはいへないので、各兒童はそれぞれ或る長所を持つてゐるものですから保護者はその兒童のケ所を發見する事に努力し長所をのばす樣に指導して行きましたらきつと社會に役立つ人間を造り上げる事が出來ると信じて居ます、特にこれより滿蒙土着の民として働く人間がこの滿洲には要求されてゐるのです、この意味で家庭に於ても無理な

負擔を 負はせる勉强でなく兒童の性能に適したものを修得させるといふ點にもつと目覺めて欲しいのです

家庭

昔ながらの お雛樣全盛
値段も昨年より一割方安い 机上や書棚向きにモダン雛

○▼…桃のお節句があと一月となつて、輝かしい内裏樣や官女があちこちの店の緋毛氈の上に並びはじめました。お雛樣！それは昔からのあらゆる日本女性の憧れでありました。お雛樣をまつる氣持は昭和の今日も矢張り昔と違ひありますまい。でお節句のお雛樣は古典的なもの——緋毛氈にのつた一對の内裏樣を一番上に、官女や五人囃や隨臣、衛士等がその下にかしづいてゐる——を本格的に並べたいといふ人が多く、この傾向は時勢に逆行して昔ながらのクラシックなお雛樣が全盛です。

○▼…しかしこのお雛樣を一通り揃へるには少くとも數十圓、ちよつと體裁を張らうとすれば何百圓といふ多額の金がかゝりますので、近年は近代雛壇十五人揃などといふ小型でちやんと組になつたものが一般に迎へられるやうになりました。これで安いのは三圓位から木目込でも十圓から二十五圓位までですから狹いお家や轉勤などの多い御家庭には大變重寶です。

○▼…かうして古典的なお雛樣がよろこばれる一方新らしい小型の變つた所謂モダーン雛もお孃樣や奥樣方に愛好されて机の上や書棚の上に氣の利いた姿を現はすでせう、本年度——32年型のお雛樣としてはお雛さまの女夫がマイクの前に立つてゐる「GO雛」襷がけの官女がラケットを振つてゐる「テニス雛」KとWとを女夫に仕立て優勝カップを添へた「早慶雛」緑の丘にパラソルを背景とした「ピクニツク雛」桃源の別天地にキャンプを張つた「キヤムプ雛」

○▼…時局を捉へたものでは滿蒙の地圖を踏んで平和のシムボルの白鳩を手にした「滿蒙平和雛」この他ナヨイと押すと東天紅と鳴く曉鷄雛、ピエロ雛、ブックエンド雛、パラシウーター雛、野球狂時代雛、漫畫雛、新舞踊照明裝置雛、さては時節柄不景氣雛など眼の前の社會相を巧に掴んだ趣向樣々のもの——これで六七十錢から二圓位までです、さてお値段は諸物價騰貴の折ですが昨年に比べれば倚一割方廉いさうです。（三越、船塚調べ）

アサヒ ノボル (42)
中溝しんいち作 河野ひさし画

一 タイチャン ト サル ハ ククラレタ ママ ウマ ニ ノセラレテ ドコカ ノ ヤマ ノ フモト ニ キタ

二 コレカラ アルクン ダ ト イハレテ ダンダン ヤマノナカ ニ ハイツタガ オホキナ イワヤ ノ マヘ

三 オヤカタ ガ デテ キテ タイチャン ニ サアオハイリ ト ヤサシク イツテクレルノデ ズンズン ユクト

四 アツ ト オドロイタ イワヤ ノ ナカ ハ ヒロクテ ゴチサウ ヲ タクサン ナラベテ オイシサウ

童話

月夜の凧（2）
八木橋ゆじう

眞紅なお陽さまが、西の山にころげこんで、夕闇がまつたく街をおほひつくされば、勇吉は事務所から歸ることが出來ませんでした。

街の十字には、自動車のヘッドライト、赤いテールが火花のやうに入れ違つて夜が來るのでした。

赤や、星色のネオンサインが、なんとなく人々の心持をうきうきさせる街の底を、空の燦爛を抱えた勇吉が、凧の事で頭を一杯にしながら、テクテク歸りました。

「さうだ。家に歸つたら凧を自分で作つて見やう」

しかし

「困つたな、せつかく作つたところで、家に歸るのは夜だから凧を上げる暇がないや」

この事は、道々歩きながら考へてゐる頭の中で鉢合せするのでした。

同じやうな事を、なんべんも繰かへして、結局作つて見る事にしました。

「おつ母、只今」

「あ、勇坊かい？お歸り、寒かつたらう」

「ちつとも寒かあないよ」

「ずゐぶんお疲れだらう。さ、御飯が出來た」

勇吉の家は、お父さんが五年許り前に亡くなつて、お母さんと二人暮らしでした。

淋しい貧しい夕飯です、しかし勇吉親子にとつては、これ以上の樂しさがあるでせうか。

夕飯を濟ますと、勇吉は物置から、古い箒を持ち出してきました。

「そんなものを持ち出して何をするのかい？」

お母さんはいぶかしさうに勇吉の顏をのぞき込みました。

勇吉は、庖丁で古箒の柄をだまつて切りはなしてゐました。

お母さんが、針仕事をしながらこくりこくり居眠りを始めても、勇吉は、一生懸命でした。

古箒の竹の柄を、ようやく切り離して、今度はそれを細く割り始めました。

凧の骨を造らうとするのです。

細く竹の柄を庖丁で割つてゐる勇吉の頭の中には、朧々と澄んだ青空に凧が光つてゐました。

「どんなに愉快だらうなあ」

しばし手を休めて、勇吉はうつとりその凧に見とれて了ひました

右に、左にかすかに揺れ動きながら、糸を張らして悠々とあの凧が勇吉の頭の中の青空を上つて行くのでした。

おいしい 牡蠣料理

▲フライドオイスター
牡蠣を洗つて水氣をよく切り、鹽、胡椒をふりかけ、玉子をとらし、パン粉をまぶしつけ、手の平でよく押し再び玉子をとらせてパン粉を更につけて狐色に揚げて供します、出します時にレモン一切とパセリを添へます（鷄卵は牡蠣六個に對し玉子二個の割合）

▲パンブロイルドオリスター
大きい牡蠣を目ざるにてよく洗ひ布巾で水氣をよく取り、バターを引いたフライ鍋に入れ、手早く鍋を動かし乍ら兩側を燒きバターを引いたトーストパンの上にのせ鍋の底に出た汁をかけその上に、別に適宜のバターを鍋に溶かし、鹽、胡椒少量のレモン汁及び刻みたるパセリ少々を加へて作つたソースをかけて供します。

▲牡蠣飯
米一升、牡蠣、好みの量、醬油と合せて一升一、二合八勺、酒八勺、水は蠣の煮出汁牡蠣を下拵らへして、醬油、酒とを煮立てた中でざつと煮出しておきます、牡蠣の出汁と水を合はせて水加減して御飯を炊き御飯が蒸れて鱧にうつす時に煮ておいた牡蠣を混ぜて熱い中に供します。

寶の塚を目當てに最前線に向ふ邦人
滿洲へ滿洲へて奉天に集る群　そしてそれから後は

【奉天】聽て來るべき滿洲の理想郷、寶庫の開扉を夢見て內地からドシ〳〵滿洲に入りこむ、在滿邦人も之に刺戟され一攫千金にでもありつけたらと勝手な理窟をつけて最前線の都市例せば錦州、鄭家屯、チチハル等に出かける、先づ事件の中心地たる奉天に內地その他から雪崩こむものだけでも容易な人數ではない

お影　で各旅館は全部滿員料理店、飲食店も事件前のやれ閉店、やれお拂箱などのいたましい聲に比し現在ではやれ改築、やれ增員といつた全く掌を返した程變つた繁昌振りである、また錦州方面よりの現狀を聞くと同地に入りこんでゐる邦人が四百名、日本側の料理店が廿三軒、飲食店十二、旅館八その他運送業、印刷業、菓子店、豆腐店、寫眞業、鮮魚商、雜貨店、米穀商、兩替店、古物商自動車業、湯屋、屠牛場等次から次へと營業許可願ひをその筋に提出してゐる

有樣　である卅一日も奉天署保安室に柳町四番地〇家の藝妓が訪れ錦州へ旅行許可願を出したその理由は知人の許へ行くといふ極めて漠然たるもので本人は鞍替へでも何でもないと云つてゐたが結局父母兄弟が病氣か何かで是非とも行かなければならぬといふことであれば兎も角そうでなければまかりならぬと斷然言渡されその藝妓もハツとしたやうに立ち去つたといふエピソートもある好況振りである、しかし內地から滿洲目ざして奉天に入りこんで來たものは見ると聞くとは大の相違に旅費

資金　とか持參した多少の金額も既に使ひ果し宿は追はれ寢るに寢る處なく食ふものなく窮極の果ては警察へ泣きつく狀態で每日數名づゝ押しかけ身の振方を相談に及んでゐるその中にはこの三月又は明春卒業すべき學業をなげうち千金を夢見てやつて來る無鐵砲極まる學生生徒も少くないので警察當局でもこの處置に手を燒いてゐる

機敏周到な此三少年の美擧
二少女を救助した三少年の表彰式

【旅順】去る廿五日午後二時過ぎ旅順後樂園龍〇池氷上において工大軍事教官田中大佐の令孃溫子（八）同姉妙子（一一）を救助した旅順少年團員大利義雄（一三）相原正身（一三）分須勇治（一三）の三君に對する表彰式は一日午後三時から第二小學校講堂に於て行はれ米內山團長、加藤警察署長からそれ〴〵表彰狀及び賞品を授與され團長から訓示感謝の辭を受け團歌を合唱閉式した尚當時の模樣を聞くと實に少年團としての性能を遺憾なく發揮したもので奇しきは又滿洲最初の旅順少年團である、その立第八回記念式の前日此美擧が行はれ然して社會に一大センセーションを與へた事である、即ち當日妹の溫子（八）さんが薄氷の所に至り池中に陷つた、それを見て驚いた姉の妙子（一一）さんは無我夢中妹を救はんとして駈けつけた處外套を着たまゝ同じ水中に陷落した、此の時附近に餘念なく辷つてゐた大利君はこれを發見するや「スワ一大事」とロングの力に任せて馳せつけた處誤つて自分も又その水中に陷ち込んで全身沒入した、此時左右より姉妹に取縋がらるゝ處があつた、姉の妙子さんは感心にも妹を先きへ助けてと云ふ純念から協力水の割れ口に綱を取りつかせたその時相原君は自己の攜帶せる救命綱を手早く妹の方に投げ與へた處妹の溫子さんも都合よくその綱を握り三人協力漸く引上げる事が出來たる

此時溫子さんは氷上に座したまゝ感慨無量の體であつたそうである

相原君が綱を投た時傍の分須君は「これは綱ばかりではいかぬ」と直感しロングを突きたるまゝ溫室にかけつけ支那人ボーイと共に一本づゝ棒を持來りこんどは姉の妙子さんが浮つ沈みつしてゐる穴の緣に二本の棒を差しかけ辛うじて溫室迄運んだが此時もズブ濡れの大利君は共に協力した、妙子さんは多少永く水中にゐた爲め餘程妹より弱つてゐた、一方分須君は新市街はマサカの時に馬車が間に合はない

と云ふ考へが頭に閃き溫室より早速御路に驅出し獨斷一臺の馬車を雇つて來た溫室では小宮夫人、山本大尉夫人がストーブの傍らで二姉妹を介抱してゐるのでその馬車に再び飛び乘り田中大佐の宅へ驅付け事の次第を告げ差替を用意して田中夫人と共に引返して來た、そうすると相原君は大利君のズブ濡れ姿を見かね救助の業成るやそのまゝ出診所に韋駄天走り大利君の差替を持つて來たもので實に此の三少年の機智周到、勇敢、その犧牲的精神は崇高なる模範的少年團員として旅順少年團の一大誇りである

撫順聯合婦人會
二十團體參加して　廿一日盛な發會式

【撫順】撫順聯合婦人會創立總會は三十一日午後一時より高女講堂に於て開會在撫既成各婦人會二十團體よりの會員有志三百餘名出席寺田警察署長、宮城驛長、福永郵便局長等來賓多數臨席の下に寺田幹事の開會挨拶、原田社會主事の經過報告、齋藤副會長の挨拶あり次いで規約及び細則の協定に入り滿場異議なく原案を承認終つて一時半より約一時間半に至り關東軍參謀矢　少佐の時局に關する有益なる軍事講演あり一同に感動を與へ、寺田署長の謝辭、原田主事の聯合會創立に關する所感を述べ三時十分盛會裡に閉會した、尚同聯合會は帝國の滿蒙に對する期待の重大性に鑑み女性として又母性としての立場より在滿各婦人團體が一致團結し之に善處せんことを期しその創立を見るに至つたものだけに事業も時局に善處を第一に家庭生活社會生活の改善、婦人兒童の保健方法を講ず、兒童の訓育方法を講ず、婦人の修養、救貧之貧事業に協力す等が掲げられてゐる

餓死線上を彷徨する同胞避難者二千名
安東でも對策に窮す

【安東】事變勃發以來兵匪賊の暴虐に耐へきれず避難する者逐次增加しつゝあり或時はそれが收容所に困窮し或る時は個人生活より集團生活へ、溫突生活より無溫狀態の收容所生活への變化は、漸く死地を脫し得た人々をして二度病魔は襲ひ特に近日來の氣候は到底集團生活に耐へきれず罹病者、死亡者は多數續出し滿鐵及び地方篤志家の力を得て施療、埋葬等萬策を講じつゝあるが昨今又復避難民激增し一日百名乃至百五十名の避難民あり現在の收容人員を合すれば實に二千名を突破せんとし是が收容所救濟費にさへ困窮し、朝鮮人會としても今後如何なる方法をさるか或は萬策つき避難民諸共餓死線上を彷徨し朝鮮人會側の焦慮その絕頂に達してゐる、一方平均五十名程度の避難民を朝鮮側に送り屆てゐるが故鄉を出てから十何年經つて見れば知人すら今はなく其處へも飢は付纏ひ仕方なく二度安東へ歸安する者其半數以上に上り今では歸來を納得する者すらなく漸次之等朝鮮側の餘りにも冷淡な態度に憤慨する聲さへ起りつゝあり朝鮮人會側としても全く施すべき策すらつきた有樣である、金會長を訪へば氏は語る

避難鮮人は續々增加しつゝありそれに又一兩日中に寬甸縣より三百名ばかり來安する事になつて居り、朝鮮人會は一體どうなる否それより之等避難民を捨置けば彼等はどうなる、それこそ由々敷き人道問題です、私はこの際斷然起つて同胞幾千の爲め及び之が解決救濟の爲め朝鮮總督府に陳情解決を歎願する考へです

奉天に二人馬賊
着衣を强奪逃走

【奉天】三十日午後七時奉天瀋速通三十四番地秋林洋行店員露人パートル（二三）及び滿蒙毛織會社構內居住守衛の露人パリキン（一七）の兩名が附屬地より鐵西公和橋同會社中間路上を步行中物陰より二名の支那匪賊現はれ拳銃をつきつけて兩名を脅迫金品を强要したが金錢を所持せぬと答へると突然拳銃を以てパードルを射擊し同人右肩に貫通銃創を負はした上兩人のオーバーを强奪して皇姑屯方面に逃走、急報により奉天署より松井司法主任以下十名急行したが既に逃走後にて手懸りなく目下緊急手配中

奉天に大規模の國際競馬場
舊會社の株を買收して　既に敷地問題も解決

【奉天】四年前から日支合辦により國際競馬俱樂部會社は株主の據込み不能と馬場敷地その他の關係から今日まで放棄されてゐたが最近新國家樹立を目指して同社關係者間に復活促進の運動が擡頭し同社の舊株を買收し新規大規模の國際競馬俱樂部會社を創立する段取りとなつてゐるそして既に支那側某要人間に融資の諒解成り馬場の買收問題も解決した模樣で數日前から新株二千株の公募を開始してゐる、來る解氷期を待つて地均しに着手する運びに至ると云はれてゐる而してその馬場は北陵ゴルフ場附近の土地六萬坪を敷地に充當する筈でこれが實現の曉は上海の國際競馬場を凌駕する馬場となるべく早くも競馬ファンから多大の期待を以て迎へられてゐる

タクシー射たる

【奉天】三十一日午後三時頃琴平町十二安全タクシー運轉手朝鮮人崔利泰（二〇）が陸軍將校を乘せ兵工廠附近を進行中突然狙擊したもの［判読不能］圖所及び奉天窯業苦力宿舍を襲つた同一犯人と目星をつけ目下嚴探中である

巡邏中射たる

【鐵嶺】法庫門駐剳中の步兵〇〇聯隊第七中隊菅井軍曹は三十一日午後七時頃市中巡察の爲め佐藤、和田一等兵を隨へ營兵所を出で西門より約三百米突程の地點を巡邏中闇の中に擧動不審の支那人を認め誰何せしところ犯人は突然狙擊し軍曹の右腦部に貫通銃創を負はせ闇に紛れて逃走非常搜査を行ひたるも逮捕するに至らなかつた、軍曹は生命に別條なき模樣

あり右は腹部に貫通銃創を負ひ直に赤十字病院に收容手當中であるが生命危篤の狀態である狙擊犯人については目下嚴重搜査中である

奉天中學優勝す
中學校アイスホッケー

【奉天】全滿中等學校アイスホッケーリーグ戰は卅一日午前十時より滿洲醫大氷滑部主催の下に醫大屋內リンクに於て開催された參加校は奉中、安中、長商の三校で本年最初の試みとして各校とも必勝の物凄い試合を演じたが安中對長商は長高が常にリードし六對一で長商勝ち又奉中對安中も奉中、安中を壓迫し四對零で奉中捷ち最後に奉中對長商の試合では兩軍更に緊張し大接戰を演じたが結局三對二で奉中優勝した閉戰午後四時半

安奉沿線の警備
朝鮮側から應援　警官二百名を急派

【安東】目下安奉沿線の警官增員急なる折柄とて朝鮮總督府より之が應援警官の派遣を爲すことゝ決定し二百名の警官が今明日中に着安の豫定である、從來關東廳よりの臨時應援隊は無期限に之を駐在せしめることは事情が許さぬ關係上約百名を朝鮮よりの應援隊と交替せしめ歸還せしめて事務に就かしむる模樣である、事變前の安東署員（安東草河江まで）は約百五十名であつたが關東廳からの臨時應援隊によつて之が四百名となり又一兩日中に總督府より二百名の應援隊が來る事となつてゐるから總計六百名となる、その中關東廳よりの應援隊約百名を歸還せしむれば五百名となるから時局事變突發前に比して三百五十名の增員となるものである

日本人聯合會理事會

【奉天】全滿日本人聯合會奉天本部に於ては來る二月六日午前九時より奉天滿鐵俱樂部に於て左記に依り全滿同會理事會を開催する事となつた

一、場所　奉天滿鐵俱樂部
一、日時　二月六日午前九時より
一、事務及會計報告
一、上京委員運動經過報告
一、懇談會（軍部要人參加の豫定）
一、新政府に對する在滿同胞の主張及要望事項協定の件
一、新滿蒙に對する吾人の活動大體方針協定の件
一、會務報告の件

沿線往來

▲首藤滿鐵理事　卅一日長春へ
▲林關東廳警務局長　卅一日長春より來奉
▲芦田白耳義大使館附參事官　卅日長春より渦奉內地へ
▲兒玉朝鮮軍參謀長　卅日京城へ
▲荒川六平氏（安東商工會議所會頭）は三十一日鞍山へ一泊
▲宮地一元氏（鞍山社會主事）は一日午前六時發列車にて安東、撫順、長春方面へ一週間の豫定にて出張

光輝稀に見る戰ひ
一兵をも損せず敵を殲滅した　前小煙臺の戰鬪詳報

（二）

天候　一月十七日は晴、一月十六日夜半より俄に吹き出したる滿洲獨特の蒙古嵐は砂塵を卷き氣溫又降下して十七日午前五時頃零下二十六度を示してゐた、日の出時刻午前七時二十分なるも黃天砂塵の爲め日沒時刻午後五時二十分、此日終日明暗の度十米突前僅かに單獨の人影を認めらるゝに過ぎず、氣溫降下と黃塵吹き卷く蒙古嵐とは本戰鬪に最も影響を及ぼした、敵の根據地たる前小煙臺は其の周圍西より東北方向に幅十米突南側に幅五米突乃至七米突の各々堅固なる堤防を築き堤防內人家には側防掩舍を備ふる圍壁を有するもの多く要害の地なる上に同村西北側地區は開豁して瞰制し展望自在射界廣濶、實に地の利を占めたる要塞なるを以て直接之れを攻擊する爲めには自然大なる犧牲を覺悟せざるべからざる戰鬪上我れに不利なる點のみの狀態にあつた

◇

本戰鬪に於て交戰せし敵は沈旦堡附近を根據とし暴戾の限りを盡し附近部落農民を極度に疲弊に陷れたる大頭目李芳林の一派にて其の將師頭目大須子の率ゆる全員五百より成る騎馬隊である、常に抗日鐵血義勇軍と稱し又救國鐵血義勇軍とも號したる最も殘虐性に富む部隊である、我軍の兵力は大石橋岩田大隊の一部にして戰鬪參加兵數大隊長以下四百の兵員のみ、

◇

小部隊の匪賊軍と交戰空しく時間を浪費するを避け故らに部落通過の際は迂廻の方法にて翌朝午前六時三十分迄强行軍を續け目的地に到達した、大隊本部主力及第一、第二、第四中隊は鐵路煙臺に至り午前二時煙臺を出發し大荒地後藩草溝大黃屯を經て盤道に出でた前六時三十分迄に第四中隊は前八家子に第一中隊は王家溝に第二中隊は小新庄子に何れも極力隱蔽し開甸陣隊形を敷き敵軍の至近距離に退却し來るを待ち受けた、斯の如く萬難を排し黃塵天を蔽ふ夜而も零下二十有六度の嚴寒と斷ひ强行軍に次ぐに强行軍を續け指定時刻には各部隊共其目的部署に就き戰機のいたるのを待ち受けた

目的地區に達するまで途中に於て從來の戰鬪に於て頑强なる兵匪と雖も我が軍の襲擊を察知するや巧に逃走するの例あるので我部隊は砲を主體とするものを以て前小煙臺南方地區より挑戰之れに砲擊を加へ敵を西北方地區に退却せしむる任務を帶ばしめ步兵部隊の主力は拂曉前々小煙臺西北方地區に包圍の隊形を以て極力隱蔽展開し敵の退却し來るを待ち至近距離に於て之れを殲滅するの任務を帶びた就中葛目少佐は山砲を主體とする第三中隊を指揮し午前一時遼陽を出發し折柄吹き卷くる黃塵を犯し徒步井與屯後方二堡を經て前小煙臺道を夏家窩棚に向つた

【大石橋支局發】

撫順

撫順附近馬賊

山谷起伏せる本溪縣下要碌の地域を根據にして撫順、新濱、營盤等安東沿線から遼海沿線一帶を跨にかけて配下千數百名を擁して横行掠奪を恣にせる總頭目錦子臣以下の强暴なる馬賊團の討伐に就いては撫順各日支警察守備隊等は屢々出動撃退しつゝあるも賊團は次から次と良民を狩り立て、之に武器を與へ配下として益々强大を加へつゝあるが、目下錦總頭目以下頭目王堂、王占、一郎、希候、劉玉鵬、小和尚、楊秀峰等は配下千六百名を擁し本溪縣、興京縣の縣界望城崗子、馬圈子、楊草峪部落に潜伏同地を根據として附近各部落を横行してゐる

炭塊

市川右治丸舞踊研究所主催軍人、警察官及び同家族慰安演藝會は六日、七日公會堂に於て開催の筈で、一般市民の後援會券は三十錢均一但し階上小人十錢となつてゐるが、同夕は軍警同家族の慰安藝題として舞踊「獅子の日」「小鍛冶」「助六」歌舞伎「野崎村」「白石噺」各一幕、及び新作レビュー五景を紹介する▲大連西部公議會顧問孫午蕙（茂縣）氏は今回撫順縣公署の涉外事務を擔當することゝなり一日着任炭礦事務所其他を歴訪挨拶した

訂正　本欄一月「卅一日印鑑僞造犯人」記事中永安大街益田孝維逃走中の如く記載しあるも右は全くの誤記にて犯人と被害者と轉倒し益田氏に多大の迷惑を及ぼせるに就きこゝに訂正す

安東

安東の猩紅熱

正月に入つてから發生し目下益々蔓延しつゝある安東の猩紅熱は現在患者三十名を越し滿鐵病院其他市中醫院等も之がため滿員の狀態にあるので關係此際之等を一掃するため豫防注射をなすこと、決定施行場所及び日程は左の通りである

一日二日　六道溝家庭研究所
三日四日　山手町滿鐵クラブ
五日六日　安東公會堂
八日九日　南地座

遼陽

遼陽振興策

遼陽振興期成會では振興策の專門委員詮衡方を詮衡委員に一任されて居たので三十一日午後八時から詮衡委員會を開き協議の結果植樹其の他の關係事項は森、小林、谷田川の四氏白塔温泉は渡邊、杉田天土の三氏競馬場は谷田川、佐々野、林の三氏、引込線は高木、林、西田、猿渡の四氏に依囑することに決定した

實業會復活が

遼陽實業會の復活問題に付いては正副會長の諾否が第一問題であり積極的か消極的かゞ第二問題であり書記長や經費問題が第三問題であつて暗礁に乘上げた形であつたが三十一日夜有志懇談の結果高木、林、安藤、榊原の四氏が近日會合して評定することになつたので何とかけりがつくものと觀測されて居る

眞綿を御下賜

遼陽獨立守備隊第二大隊分遣隊員に對し一日午後急行列車で眞綿御下賜になり隊員一同之を拜受したと

社員會幹事會

遼陽滿鐵社員倶樂部では一日午後一時半から幹事會を開き......

果六年度決算報告七年度豫算に付協議したが六年度實行豫算は三千六百九圓四十四錢で七年度の收入豫算は三千三百六十三圓三十一錢であると因に遼陽倶樂部の收支は機關區及び列車が今秋竣成さるゝことゝも新年度豫算編成上相當考慮して居ると

警察署員増加

遼陽警察署には一日巡査十名が増[illegible]配され着任した

高橋氏講演會

遼陽社員會倶樂部主催で二日午前十時半から鞍山の高橋氏を聘し修養に關する講演會を催した

鞍山

開帳中を逮捕

原籍海城縣牛莊城内現住所鞍山南八番町一四無職胡瀾亭（五）及原籍遼陽縣遼東双樓臺現住所遼陽縣八封溝二道街旅館營業長賓堂（七〇）の兩名は時局柄官憲の警備手薄に乘じ八封溝二道街にある張賀雲所有の家屋を大洋二元にて一月廿一日より借り受け遼陽、立山、千山、鞍山、海城等より毎日數十名の賭博者を集め開帳してゐることを鞍山憲兵分遣隊の探知する處となつた、吉村伍長は去る二十八日夜憲兵三名と共に同家屋に到り多數の博徒が賭博開帳中に踏み込み一網打盡二十三名を逮捕し分遣隊に於て嚴重取調べの結果賭博親分張賓堂は八封溝派出警察署長に預け胡瀾亭は鐵西鞍山農商職務會に預け外の二十一名は八封溝職務會及鞍山職務會保證の下に三十日放還した親分の張及胡は支那側に於て近く嚴重處分すると

家出して離縁

鞍山苗圃居住の中野一榮（假名）は去る卅一日午前九時頃無斷外出し夜に至るも歸宅せぬので妻女は頗る心配し夜もすがら眠らず居たが一日中野氏より妻女に對し一通の手紙が到着した、内容は本日限り離縁した旅立った（假名）と絶交するとの意味の手紙であつたので妻女はいたく心配し各方面を捜査したが全く行方不明である、斯くと知った鞍山警察署では一日午後四時半より鞍山管内を隈なく捜査したが何の端緒も得ず歸署した

マスクを贈る

鞍山時局婦人團ではマスクを一千三百七十七個作製し鄭家屯方面の警備に出動中の鞍山獨立守備隊第六大隊の將士に對しマスクを二日發送した

滿鐵社員戸數

鞍山附屬地管内の滿鐵社員十二月末現在の戸口調査を示せば左の如し

	戸數	人口
鞍山（日本人）	八一四	三六一〇六
鞍山（支那人）	四三八	二六七一〇
其他（日本人）	一〇六	三四九
其他（支那人）	九五	四一八
計（日本人）	九二〇	四、〇一五
計（支那人）	五三〇	三、一二八

公學堂同窓會

鞍山公學校第一回の卒業生を以て組織されたる第一回同窓會は去る十五日午後一時より公學校に於て開催され相互の親睦を圖り母校との連絡を密にし時局重大なる此の時に當り發展すべく有意義な宣言書を配布した

井井寮炊事請負人

鞍山滿鐵社員寮井井寮舍飛々寮の炊事請負人は來る三月三十一日を以て契約滿了するので寮幹事では炊事請負人を募集して居るが希望者は應募者、同寮幹事鞍、鞍山在住......

保證人二名等の書類を添へ來る十五日まで寮幹事に申込まれたしと現在寮員約百二十名にて一ケ月諸請負金額朝晝夕の定食　十五圓朝夕の定食　十圓五十錢　臨時食朝十五錢[illegible]三十錢　夕二......

不破少佐以下戰死者の遺骨

【奉天】過般新立屯に於て名譽の戰死を遂げた不破少佐以下十六士の遺骨は奉天着と同時に當地奉天[illegible]つたが二日朝七[illegible]車に原隊に送還され[illegible]光明婦人會は主催となり一日午後二時より奉天寺に於て右戰死者の追悼會を營んだ稀に見る盛儀であつた

杉山曹長遺骨

【安東】先般滿寶城匪賊討伐の際名譽の戰死を遂げた安東守備隊故杉山曹長の遺骨は以來安東手備隊に安置され戰友の手で朝夕懇ろに弔はれてゐたが愈々一日午前六時四十五分發北行し奉天に於て他戰死者と共に大連經由一路故國に歸還することゝなつた

第二の反抗（140）

三宅やす子
阿部金剛畫

伯父の代理（四）

伯父はもう待ち兼れて居た。

「あ、よく來て呉れた――あゝ、まあ、いろ〳〵話があるんだ」

眼をしよんぼりさせて居る。

「どうなさいました。佐枝子さんに心配事が出來たやうですが――一體どういふことなんです」

「それが、あまり突然なんでれ――尤も、遠因はいろ〳〵あるだらうが、今度の衝突は突然だ」

「ハア」

「氣になるからさつき、電話なかけて、佐枝にも訊いた――電話がなか〳〵通じないで、こつちも焦れて居た矚句だつたし、電話が遠くて、よく聞きされんことがあるし、まあ、佐枝はもう決心は動かさないことに、ちやんと夫婦で話がついてますから、と齎つき摑つて居て手がつけられない――俺はそんなことはならん、と怒鳴りつけてやつた。するさ、さうですかつて電話を切つてしまつた。呆れた女だ。俺には、もう手の下しやうもない、頼む。行つて仲裁して來てくれ」

「僕なんかに仲裁役がつとまるとは思へませんよ。かういふことはもつと、年配の方でないと――」

「いや、若いから、いゝんだ。お前が若いから、まだ佐枝を動かす力があるんだ」

「…………」

「繁備にしたつて、若い者同士の方が、話が滑らかにゆく。第一、年寄に云ふやうな態度がないからね」

「だから――どうも――困つたな」

寮一が頭をかく傍から

「寮さん。伯父さんが折角あゝ仰しやるんだから、行つて下さいよ。ほんとにとんだ御足勞だけれど」

「いゝえ――そんなことは構はないんですが――」

「寮さんも、此頃は忙しさうだから――ちつともうちにも見えないのに」

と少し、女らしい皮肉で

「こんなことをお頼みするのは、悪いつて云つたんだけどね」

「…………」

寮一はしばらく考へて居たが

「では、あちらから云つて來た言分を一通り――手紙でも見せて頂けたら――」

「よし、これだ」

寮一は絶えて久しい佐枝子の手紙を見た。あの快活な、冗談ばかり書いた彼女の手紙を見なれて居た彼には、何といふ變りやうが、手紙の上にも見られたことか。

（あの人は變つたらうな）

「最近ある女の事件で、夫婦の間には、越え難い溝をこさへてしまひましたから、近く別居いたします。この事を御承知おき願ひます」と書いて「女と申しましたがこれは最近に夫が親くした女といふ意味ではございません。御思ひ違ひのないやうに」とつけ足してあつた。

「何の事でせう？」

寮一は伯父に訊いた。

「何の事だかわからないよ。まるで謎だ」

「行きませう――伯父さんの御希望にそへるかどうか、あぶないが行つてよく訊いて來ませう」

無理退院强要

客年十一月二十四日沙崗事件に於て名譽の負傷を爲し爾來當地病院に於て治療中の村岡巡査は右手第四指及小指の屈伸未だ自由ならざるも入指し指に支障無く銃の操法等に何等關係無しとして院長に無理退院を迫り一月三十一日事件負傷以來六十八日目に退院し南鑑方面稍く險惡なるに鑑み第一線警備を署長に志望して居る

金州

果樹剪定開始

千町歩を遙かに超ゆる廣大な果樹園を有する金州では十數年來の引續く好天に惠まれて數日前から各農園共一齊に剪定を開始したが此の天候で百パーセントの能率が發揮さるゝので例年よりも短時日の裡に終了するものと見られてゐる

義捐金應募者

金州時局後援會に於て募集中の戰死者遺族並に戰傷者に贈るべき義金に其の後左の諸氏が應募した

▲三圓十錢農業學堂職員▲四十七圓七十錢關東廳農事試驗場職員有志▲四圓八十錢公學堂南金書院職員有志▲五圓四十錢金州保線區員▲五圓小島轉氏▲五圓安永乙吉氏

城外城

◇料亭玉乃家は紅裙一族郞黨を引連れて此の程南滿通遼へ進出した

◇金州驛の竹澤助役は應援のため某方面へ向け出張した

◇根本的改革の聲が擡頭するに至つた金州婦人會では近く總會を開き具體的方策を決定の筈

◇金州時局後援會では開原に應援の爲出張中であるが金州署司法主任佐藤敬治氏に對し近く慰問品を贈呈すると

旅順

警備隊後援會

旅順滿年義勇警備隊後援會員は目下續々支入合して千名を算するに至つたが一日旅順公議會より支部人會全部として合計四十六圓の現金會費を送附して來たそれによると五十錢口三十二名、二十錢口百五十名である

御めでた

▲元寶町一二三五　佐藤政壽氏三女任興子様十九出生
▲出雲町一　吉岡伊一郎氏三男次君二十三日同上
▲秋津州町　安田擧一氏二女トモ様十七日同上

新入學生の指針
昭和七年度　學校案内

（イロハ順）
いばらき新聞　伊勢新聞　岩手日報　函館每日新聞　新潟每日新聞　日刊山形　北海タイムス　北國新聞　北越新報　豐州新報　東奥日報　富山日報　德島每日新聞　中國民報　中國新聞　小樽新聞　大分新聞　河北新報　海南新聞　鹿兒島朝日新聞　關門日日新聞　台灣日日新報　台南新報　台灣新聞　名古屋新聞　長野新聞　長崎日日新聞　山形新聞　山梨日日新聞　滿洲日日新聞　京城日報　福岡日日新聞　福島民報　釜山日報　神戸又新日報　神戸新聞　愛媛新報　秋田魁新報　九州日日新聞　岐阜日日新聞　靜岡新報　松陽新報　下野新聞　信濃每日新聞　新愛知
推獎　東京朝日廣告社

上智大學
東京・麴町・紀尾井町

▲豫科＝甲類、乙類、第一學年
▲專門部＝(夜間)新聞學科、法科、商科
▲學部＝文學部(獨文學、英文學、哲學、倫理學)　商學部(商學、經濟學)(英、獨)
◎外國語專修學校(獨・羅・希語)(夜間)
(學則入學案内要郵券)

東京農業大學
學生募集
大學豫科　約百二十名
專門部農學科　約百五十名
專門部農藝化學科　約六十名
入學願書締切期限　三月二十日
身體檢查並ニ考査　四月二日
選拔試驗　四月四日
東京澁谷
(學則要郵券貳錢)

拓殖大學
大學豫科　願書受付　一月八日ヨリ三月十九日迄　試驗期日　三月二十三日二十四日
專門部(夜間)　願書受付　一月八日ヨリ四月二日迄　試驗期日　四月三日
○規則及志願表請求要郵券貳錢　○東京市小石川區茗荷谷町

東洋大學
學部　(文學部)哲學科、佛教學科、國文學科、支那哲學支那文學科各科若干名
豫科　(二年制)第二學年補缺若干名　第一學年百二十名
專門部　倫理學教育學科　國語漢文學科　東洋文學科
試驗科目　無試驗檢定
願書受付　三月三十日迄　試驗　學部及豫科ハ三月卅一日、一月廿日官報參照
東京市小石川區原町白山上

大正大學
學部・豫科・高等師範科・佛教科
特典(各科ニヨリテ中等教員又ハ高等教員ノ無試驗檢定ノ資格アリ)
願書受付(三月二十一日迄、詳細ハ一月十五日官報參照又ハ郵券封入照合ノコト)
東京市外西巢鴨町　電話大塚(86)八九四番

駒澤大學
東京市外駒澤町

▲豫科一學年＝百六十名(入學資格、中學四年修了及同資格者)
▲豫科二學年＝百二十名(入學資格、中學修了者及同資格者)
▲專門部國漢科＝百二十名
▲專門部地歴科＝五十名(入學資格、中學修了者及同資格者)
▲學部初年度(佛教學科、東洋學科、人文學科)各若干名
▲位置は、東京市外玉川沿線にあり風光畫の如き清爽なり
▲本學創立の淵源は遠く三百數十年前にあり歴史的に質實剛健の學風を有す
▲願書受付＝三月末日(詳細照會要郵券貳錢)

專修大學
創立明治十三年
晝　大學豫科
夜　專門部　經濟・法律・計理・商業
入學案内郵送ス
東京神田今川小路(市電專修大學前)
學長法學博士男爵　阪谷芳郎

法政大學學生募集
東京麴町
大學部(法律科＝政經科＝文學科＝哲學科＝經濟科＝商學科)各科第一學年若干名編入
△願書受付＝三月廿日ヨリ四月四日迄　△入學試驗＝四月五日午前十時開始
大學豫科(法律科＝政經科＝文學科＝哲學科＝經濟科＝商學科)(三年制)各第一學年
△願書受付＝二月十日ヨリ三月二十四日迄　△入學試驗＝三月廿五日、廿六日午前九時開始
專門部(第一部(晝間)、第二部(夜間))法科、法律科、政治經濟科、商科(三年制)各第一學年
△願書受付＝二月十日ヨリ四月十五日迄
高等商業科(晝間)第一學年
△願書受付＝二月十日ヨリ四月六日迄　△入學試驗＝四月七日午前十時開始
高等師範科(國語漢文科、英語科)(夜間)各第一學年
△願書受付＝二月十五日ヨリ三月二十六日迄　△入學試驗＝三月二十七日午後一時開始
受付晝間各科午前九時ヨリ三時迄夜間各科午後四時ヨリ八時迄
詳細學則ハ郵券二錢添志望學科教務課ヘ照會ノ事

日本大學
學部　法文學部＝法律、政治、宗教、社會、文學(哲學、倫理、教育、心理、國文、漢文、英文、藝術、史學)各若干名
商學部＝經濟、商業　各若干名
工學部＝土木、建築、機械、電氣　各若干名
▽授業時間(法、政、商、經、社、文＝午後五時始、工學部＝午前八時午後五時始ノ複講座)
▽願書受付○法文商學部＝四月二日迄○工學部＝四月五日迄
▽試驗期日○法文商學部＝四月三日○工學部＝四月九日
▽校舍所在○法文商學部＝神田三崎町○工學部＝神田駿河台
大學豫科(第一豫科(二年制)文科(法文商學部ニ進ム者)理科(工學部ニ進ムベキ者)　第二豫科(三年制)文科(法文商學部ニ進ム者))
▽授業時間文科午前八時午後五時始ノ複講座○理科午前八時始
▽願書受付○豫科文科＝四月二日迄○豫科理科＝三月廿五日迄
▽試驗期日○豫科文科＝四月三日　○豫科理科＝三月廿七日
▽校舍所在○豫科文科＝神田三崎町○豫科理科＝神田駿河台
專門部(法律、政治、宗教、商、經濟＝晝間夜間ノ複講座)　社會(文科、哲學、倫理教育、心理、國學、漢學)
▽入學試驗學歷入物銓衡入學
▽授業時間社會、文＝午後五時始▽願書受付＝三月一日、四月中
▽校舍所在＝神田三崎町
藝術科(純文、演劇、映畫、美術、音樂)ノ複講座
入學試驗四月八日○受付前日迄○神田駿河台鈴木町
工科(土木、建築、機械、電氣)授業＝午前八時始
入學試驗三月卅日○受付廿五日迄○校舍所在神田三崎町
高等師範部(修身法制經濟科、國語漢文科▽地理歴史科、英語科▽授業時間午後五時始)
▽願書受付○三月一日ヨリ三月三十一日迄
▽試驗期日○四月三日(筆記)○四月七日(口頭試問)
——注意——學則・入學志願心得ハ所在地宛請求ノ事(要郵券)

早稻田大學學生募集
第一高等學院(文科、理科)第一學年　願書自二月十五日至三月廿六日受付　試驗三月廿八、九日
第二高等學院(文科)第一學年　願書自三月一日至同廿四日受付　試驗三月廿六、七日
專門部(政治經濟科、法律科、商科)第一學年　願書自三月十一日至同廿九日受付　試驗自三月卅一日至四月四日
高等師範部(國語漢文科、英語科)豫科　願書自三月十四日至四月二日受付　試驗四月六、七日
專門學校(夜間)(政治經濟科、法律科、商科)第一、二年　願書自三月七日至四月十六日受付
中學卒業者及同等學力者ハ銓衡ノ上入學許可
各科第二種生及專門學校第二學年生願書受付期間ハ別ニ定ム
(注意)詳細ハ三錢郵券相添志望學科明記各事務所ヘ照會ノ事

同志社
學生生徒募集
京都
◎大學＝豫科第一學年　三百名　法學部文學部若干名
◎高等商業學校(英語師範部、政治經濟部)百名・神學部(洛北岩倉村所在)(三百名)二十名
◎專門學校　百名
◎中學　第一學年　百名・同豫科　五十名(補缺)
◎女子專門學校(第一、二、三、四學年・英文科・家政科)百名
規則二錢切手封入志望部宛申込マレタシ
(京都烏丸通今出川)

東京高等工學校
●校長工學博士　名井九介　●建築科長工學博士　大屋三之所
●電氣科長　工學博士　稲田勝　●土木科長工學博士　久永勇吉
●機械科長　工學士　有元史郎　●願書受付二月末日限
●中學校實業學校卒業者ハ申込順ニ依リ入學ヲ許可ス
●東京市芝區芝浦町二ノ一(電話高輪三〇〇二番)規則要郵券

國士館高等拓植學校
▲入學資格　中學四年修了又は同等以上の學力ある者
▲願書受付　自一月十日至三月廿五日
▲試驗場　本校、神戸商業大學、熊本九州學院
▲試驗期日　本校神戸三月廿八、廿九　熊本三月卅一、四月一日
▲募集人員　壹百名
▲試驗科目　作文、世界地理、英文和譯、和文英譯
▲特典　卒業と同時に南米渡航、旅行券下附、渡航費全額補助、渡航後土地廿五町歩無償讓與
▲修業年限　一ケ年
學則要郵券二錢
東京市外　世谷町松陰神社畔

關東學院
無試驗入學　出願期日　三月二十五日限
試驗入學　出願期日　四月十日限
高等商業部　百名
社會事業部　三十名
橫濱市中區南太田町

官立　東京高等齒科醫學校
生徒募集
第一學年　約百名　中學校卒業程度
第二學年　補缺若干名(高等學校高等科卒業者大學豫科修了者)
出願期日　二月一日ヨリ三月五日迄
入學試驗　三月九日　數學・外國語
○學則入學案内等詳細ハ返信料封入學校宛請求アレ
本鄕區湯島(御茶の水)

財團法人　東京醫學專門學校
生徒募集
文部大臣指定・募集人員約百八十名
試驗科目・代數、幾何、外國語、國漢文
試驗期日・三月二十七日
出願期日・二月一日ヨリ三月廿四日迄
詳細ハ昭和六年十二月四日官報ニ掲載
學則、志願者心得等入用者ハ郵券添付請求セラルベシ
東京市外東大久保(市電東大久保下車)

橫濱專門學校
貿易科
高等商業科
法學科
試驗地(橫濱、京都、廣島、京城、福岡、名古屋、仙台、東京、大阪)
詳細は切手二錢封入校則を請求すべし(橫濱市六角橋)

財團法人　日本齒科醫學專門學校
學生募集
出願　三月二日迄(試驗期日　三月三日・四日)
△入學案内要郵券二錢▽
東京市麴町區富士見町

關西學院
高等商業學部＝約二百名(入試)四月二・三日
文學部＝約百二十名(入試)四月六・七日
中學部＝約百五十名(考査)三月中旬豫定
◎願書受付、三月三十一日限
◎高商部・文學部卒業者は中等學校教員無試驗檢定特典
◎中學部卒業者は前記兩學部入學に付特典あり
◎希望者學部學則參照(要郵券二錢)
武庫郡甲東村

東京高等獸醫學校
入學資格・中學及甲種實業卒業者
許可方法・無試問檢定及試問檢定
出願期日・自一月十日至四月六日
詳細ハ郵券二錢封入ノ上本校教務課ニ承合アレ
特典
・本邦唯一の單科專門學校ニシテ
・兵役上ノ特典有ルハ勿論卒業者ハ
・東京獸醫學士ノ稱號ヲ許セラル
東京市外駒場町下馬(省線澁谷驛ヨリ玉川電車ニテ三軒茶屋下車)

官立　東京外國語學校
△本科　受付二月末日マデ
△專修科速成科(夜間)　受付三月五日マデ
△入學志願者心得書及用紙請求要郵券貳錢
東京市麴町區竹平町
(一月三十日ノ官報參照)

財團法人工政會　東京工業專修學校
夜間工業教育の權威
初等から高等工業程度迄
優秀の講師・低廉の學費
程度　高等工業部各科(二ケ年)　中等工業部各科(二ケ年)　初等工業部各科(二ケ年)
別科　機械科　電氣科　建築科
(學校長　東京工業大學長　工學博士　中村幸之助)
願書締切四月上旬　新學年開始四月中旬
所在地東京市芝區三ノ橋(電話高輪六九二〇番)市電古川橋下車十一分

女子美術專門學校
(日本画・西洋画・刺繡・造花・裁縫ノ五科・中等教員無試驗檢定)
入學ハ無試驗、願書一月十日ヨリ三月二十日迄
規則入用ノ者ハ郵券二錢ヲ添ヘテ申込マレヨ
東京市本鄕區菊坂町

日本女子高等學院
高女卒業生(國文科・英文科・家政科)(一年又ハ二年デ卒業ス)
東京市外東中野　電中野二五七二
校長加治いつ(日本婦人協會々長にして又昭和高等女學校々長たり)
學監松平俊子(秩父宮妃殿下叔母君にして又婦人海外協會々長たり)
顧問　石川理學博士　五十嵐文學博士　櫻井工學博士

帝國女子醫學藥學專門學校
生徒募集
○醫學科(百五十名)東京市外大森町(電話大森二〇七〇)京濱電車梅屋敷下車
○藥學科(百二十名)校長醫學博士理學博士　額田晉
▼本校卒業生ハ無試驗ニテ醫師又ハ藥劑師ノ資格アリ

帝國女子專門學校
國文科　第一學年百名、第二學年若干名(師範及五年制高女卒)選科若干名
家事科　第一學年　百名　選科　若干名
特典　國文・家事科　中等教員無試驗檢定
願書受付　一月八日ヨリ　詳細郵券二錢
東京市小石川區大塚町七〇　電話小石川四〇四番

女子經濟專門學校
校長　法學博士農學博士　新渡戸稻造
副校長　法學博士　森本厚吉
消費經濟學中心の唯一の女子專門學校
本科　三年　家庭科　一年　入學資格　高女卒程度
願書受付　一月八日ヨリ　詮衡　願書受理順　寄宿舍完備
詳細　要郵券二錢　東京・本鄕・お茶の水(元町一ノ廿五)

櫻井女塾
英語專門
一、高等師範科　一、專修科
一、受驗科　一、本科　一、別科
一、歐文タイプライター科　一、生花科
一、ピアノ・ヴァイオリン科　一、夜學科
◉願書受付一月十日ヨリ四月八日迄　◉規則書要郵券貳錢

東京女子藥學專門學校
○募集人員　第一學年　百三十名　二、三、四學年補缺各若干名
○東京市外代々幡町幡ヶ谷一二三五　電話四谷(35)二二〇五番
○出願期日　三月末日限　○學則要郵券二錢

共立女子藥學專門學校
生徒募集
豫科　百二十名
本科　一學年　補缺若干
入學試驗(國・代)全國各地ニテ受驗ノ便宜(寄宿舍設備完)
願書受付三月廿八日迄
學則入學案内(要二錢)
校長　藥學博士　長田捷二
東京市芝公園六號地

女子高等學園
高女卒業程度
本科　二ケ年
家政科(第一、第二、第三部)　一ケ年
選科(各科)　六ケ月
寄宿舍構内ニアリ
願書受付　一月八日ヨリ
學園長　高島平三郎
東京市本鄕區西片町

大阪女子高等醫專
女醫
◎募集人員　一二〇名
◎願書受付　自二月一日至三月二十一日
◎試驗期日(學科試驗、人物考査、身體檢査)三月二十二日、二十三日、二十四日
◎理事長　京都帝國大學教授醫學博士　松尾巖
◎學校長　京都帝國大學教授醫學博士　前田鼎
◎學校所在地　大阪府北河內郡枚方町(電話枚方二〇)
◎學則及入學案內要郵券(京阪電車枚方下車)

日本タイピスト女學校
文部省認可
本科＝一ケ年・新學期四月
專科＝(邦文科・歐文科)各四ケ月　各科共午前部午後部夜間部
邦文・歐文タイプライテング・珠算・簿記・速記・其他
就職率隨一　規則書要郵券二錢
第一校舍　東京市京橋區京橋二丁目三番
第二校舍　東京芝區三田四國町十三
寄宿舍　東京市外大崎町谷山二一九

女子聖學院高等家政科
△入學資格　高女卒業
△修業　一ケ年
△申込　二月一日より
△特徴(東都に於て最も古い歴史を有し裁縫、割烹等實際の學課を重んじ自由な教育を目標として居ります)
規則入用の方は　東京、瀧野川町中里　同學院へ(駒込驛より五分、電話小石川五二三二)

東京獸醫學校
獸醫科　蹄鐵科
入學資格・獸醫科・高等小學卒業程度　蹄鐵科・尋常小學卒業程度
申込期日・一月十日ヨリ・四月八日マデ
詳細二錢封入承合アレ
特典・修業年限三年卒業者ハ無試驗開業ヲナスヲ得、其他中等學校卒業者ノ有スル資格ヲ總テ有ス
東京市外駒澤町下馬

東京電醫學校
生徒募集
・本科一年　選科六ケ月　新學期四月十日始
・速成實地研究科　一ケ月卒業入學每月一日
・速成通信講習科　二ケ月卒業隨時入學
◎既得權講習會　二月十一日より二十日迄
▼東京市本鄕區湯島天神町一ノ四〇
・内務省令實施近しこの際入會して永久の權益を確保せよ　内容の詳細は校則付案內要郵券二錢

東京商工學校
創立三十年紀念入學金減大募集(要郵券貳錢)
商業　土木　電氣化學　機械　建築
修業年限　二ケ年半、豫科一年、本科一年　豫科本科共
特色　無駄ノ無イ教育　修業年限ノ短イコト　自活ノ道ノ早イコト
四月四日　第五十七回
小學卒業者四月紀念祝賀會開催スベキニヨリ卒業生ハ住所ヲ通知アリタシ
中學卒業者本科一期へ無試驗
校長　文部參與官　山下谷次
神田淡路町一ノ一　電話神田六八六

工學院
創立　明治廿一年
元築地　工手學校
豫科、補充科　自二月十五日至三月卅一日
本科一期補缺　三月廿二日ヨリ
入學試驗　四月二日
◎委細照會◎
土木、機械、電工、建築、採冶、應化、造船學科
所在、東京市外淀橋角筈　電四谷一八二六、一五八五八

關西商工學校
設置學科(電氣、土木、建築、機械、商業ノ五科)
授業時間　自午後六時至同九時○修業年限　豫科一年本科二年
豫科本科生徒募集
工商共豫科無試驗入學を許可○願書受付一月二十五日開始
大阪市西淀川區大仁本町(電話土佐堀一〇二〇番)

杉山簿記學校
簿記＝珠算＝速記＝タイプライティング
入學日每月一日、十六日、午前・午后・夜間部
校長　前大原簿記學校教頭　計理士　杉山茂
東京市神田區役所前　電話神田二七四三
(呈學則)

和洋女子專門學校・和洋裁縫女學校
○教員無試驗檢定の特典あり　○出願期限三月末日まで
○本校各科の特色・特典は規則書及び募集書參照(郵券二錢封入請求の事)
東京市麴町區飯田町三丁目十五番地(電話九段一九〇七)

第一外國語學校
東京本鄕
四月十一日開講
(晝・夜・授業)
◆英文學科(帝大文檢準備程度)
◆英語科(ABCヨリ高等際)(各科各級隨時入學許可)
◆獨逸語(初級ヨリ高等マデ各科完備ス)
◆佛・露・支各科
◆高等受驗本科・英語受驗科
入學者絶大＝教授陣秀＝倍加部一の教益

東京府立園藝學校
本科一年(尋卒五ケ年)百名
第一、二、三學年(中卒一ケ年)補缺若干名
第二部卒業生ハ小學校專修科正教員ノ資格アリ
本科及第二部卒業生ハ(要郵券二錢)
荏原郡駒澤町　學則要二錢

攻玉社工學校
◎土木科・建築科＝二月新學期開始(三ケ年)
・入學資格高等小卒・一年二期以上學力ニ應ジ編入
東京市外大崎町桐ケ谷(電話高輪六二七〇番)

昭和高等女學校
東京市外東中野所在・寄宿舍完備

京都藥學專門學校
文部大臣認可
第一學年生百名、第二學年以上補缺若干名募集(規則書郵券二錢添附申込次第郵送)
(九月市内東山區山科新校舍ニ移轉)
京都市左京區秋築町
詳細ハ學則及入學心得ヲ見ヨ。其送料郵券二錢

富士見高等女學校
學力補習ノ便アリ　一年、二、三、四年
願書受付、一月二十日ヨリ　百名(尋卒)三年(高卒)五〇名
寄宿舍二百名收容　月食料十四圓
詳細ハ規則書寫送
東京市外中新井村中村橋(電練馬二〇)
校長　前文部次官貴族院議員　南弘

海外植民學校
生徒募集
正科　四十名
女子部　二十名
專攻科　二十名
海外雄飛ノ青年ハ來レ
(規則郵二錢)
東京市外世田ケ谷町下北澤

東京理科醫學專修學校
本科　百名、豫科　五十名、速成選科　五十名
・校外生科新設講義錄發行(學則要郵券二錢)
・願書受付一月十日限
東京本鄕眞砂町十八(電小七八六五)

京北高等齒科醫學校
○學生募集　○修業三年
○入學資格中等學校卒業
○願書受付二月一日より
○新築移轉　○詳細要二錢○
移轉先　埼玉縣大宮町(上野驛ヨリ約四十分)

名古屋高等理工科學校
生徒募集
電氣、數學、物理、化學、高工、高師程度
締切四月十四日　詳細一月九日官報參照
◎規則書要二錢
名古屋市東新町角

大東文化學院
學生募集
○皇學、漢學專攻
▲募集人員　本科八〇名、高等科　五〇名
▲願書締切　昭和七年二月二十九日(參照一月九日官報)
▲試驗期日　三月十三日、十四日、十五日
詳細ハ二錢切手同封本院(東京麴町區富士見町)ニ照會アレ

東京高等造園學校
公園、都市計畫、園藝等技術者養成
東京市外下目黑五一〇(電話高輪八〇〇三番)
出願期日　四月三日迄　學則要郵券二錢

東京高等技藝學院
苦學で立派な職業婦人や裁縫教師に成れる
▼資無き地方婦人のために苦學の道を開く
▼卒業後の就職も紹介す
▲學則及苦學案內送呈
東京市牛込區□町五
生徒募集

東京鍼灸醫學校
認可
鍼灸マッサージ術師教授
今が入學絶好期直に本校へ　詳細は學則進呈要郵券二錢
◉校長　醫學博士　江口□四郎　◉所在　東京本所區兩國驛際(盲非)

大阪高等主計學校
夜・晝
○願書四月七日限　始業四月十日
○學則三錢
◉校外生募集
大阪淀川區浦江本通

東京商業學校
生徒募集
文部大臣認可　夜間甲種
◇第一學年一百五十名　◇第二學年補缺若干名
神田區表猿樂町七◇市電三崎町下車◇電神田〇七〇九

女子齒科助醫短期養成
東京女子齒科技工學校
▼小學卒業以上無試驗入學▼卒業生は高給にて就職斡旋す
東京市牛込北山伏町十　認可
(規則進呈)

職業を新たに作る
今後の時代は職業の創造時代。職業を創造する者には就職難も失業苦も生活難も不景氣もない。現在職にある者も何時失業するか分らない。之が用意には職業を創造する事である。それには之に必要なる經濟學の知識を今の内に得て置く必要がある。

經濟學研究生募集
一、研究生は職業の創造力と獨立力とを養成し、社會を大觀し處世の極意を會得する基礎的知識を與ふ。
一、擔任講師は慶應大學教授講師の一流大家十五名。隨時入學
一、職務の傍ら家庭に於て自由に修業し得らる。
一、學費は一ケ月一圓廿錢、又貸費生の制もあり。
案內書無代贈呈
東京麴町上二番町　電話九段二〇七一
經濟學講習會

彈痕生々しい戰場を 長谷部〇團長が視察

『丁超と僕とは思はぬ奇縁だ』と

一日双城堡にて 森義夫特派員發

長谷部〇團長は一日午前部隊を從へて前日將士が激戰奮闘した後を詳細に視察した、驛を中心として一面に生々しい戰ひの跡である、驛の前五六米の地點に出ると**敵匪の屍が踏み所もない程にちらばつてゐる、砲彈銃彈の跡などさながら卅一日朝の亂戰決戰を物語り凄慘の極みである、**殊に驛は〇團司令部に當てられ戰死者、兵站部、衞生隊、負傷兵を始め〇團長以下全員何れも第一線に肉彈となつて死守した所だけに彈痕は一層生々しい、この戰跡を視察した〇團長は敵の死體の中に中佐の軍服を着けた大隊長の屍を發見し傍らの細木參謀を顧みて感慨無量に語る

僕は大正十三年奉直戰の當時天津駐屯軍の參謀長として一週間程山海關附近の支那軍隊の戰の跡を戰史旅行をしたがその當時僕と一緒に旅行したのが今回双城堡を襲撃させた丁超であつた、その當時丁超は張作霖軍の大隊長で陸軍士官學校出身の頭も良く身體も堂々とした立派な男であつた、僕と一緒に旅行しながら萬里の長城附近で記念撮影などしてテーブルを圍んで戰爭の話など語り合つたことがある、ところが僕の部隊と今度戰ふなど言ふことは全く奇縁とでも言ふか、丁超も恐らく僕を知つてゐるだらう、彼もまた當時を追懷して感慨深いものがあらう、恐らく丁超がわが軍門に下るときには往時の戰友は再び一堂に會して握手を交し双城堡の戰爭を語るだらう

支那兵は弱くない

長谷部〇團長と語る

長谷部〇團長は往訪の記者（森特派員）に對し粗末な司令部の細い蠟燭火の影がうれる部屋で語る

今度の戰爭で最も感の深いのは一般の考へてゐるやうに支那兵は弱くないことである、濟南の戰でも目撃したことだが支那兵も味方の屍を乘り越えて敵陣に突入するといふことは最後になるとやるものだ、今度の双城堡の戰も敵がわが軍に向つて夜襲をして來たのはこれを以てしても決して弱くないことが解る、敵がわが軍に積極的に攻勢に出たことはこれが始めてだ、戰闘時間の長さから言つても部隊の少なかつたことから言つても、また衞生隊、兵站部その他〇團に附屬してゐる部隊が一緒になつて戰つたことは戰爭の縮圖を見るやうなもので非常に特色のあることだ、僕は寬城子の戰闘以來部下に戰死者六十名戰傷者百四十名、凍傷者百數十名を出して今度の事變では僕が一番多くの犧牲者を出してゐることからして赤子を預つてゐることからしても個人的からしても誠にすまぬことだと思つてゐる然しあれだけの小部隊とあれだけの長時間とを數倍もの敵に對して持ちこたへ擊破したことは何よりも感謝してゐる

入港しても上陸は頗る危險

便衣隊の巧妙な活躍

泰天丸の齎した上海の實狀

上海における事態は愈々重大化し二萬五千の居留同胞も決死の臍をきめ善處しつゝあるが二日入港した泰天丸によつてその後のニュースがもたらされた戸田事務長は語る

上陸は危險と云ふので自分達は上陸しなかつたが支那人ボーイその他上陸したものゝ話を綜合すると

大變な事ですれ二十九日着いたのですが平素なら大汽の船着場には多數の出迎人があるに拘らず僅かに數名の人が憔たゞしい顏を見せてゐる丈で入港と同時に胸を衝かれる樣な不安な氣がしました本船が上海碇泊中は大した事は無かつたがその後無線で聞くと出帆した三十一日に大騷ぎをやつたらしい自警團義勇軍その他は殆ど不眠不休で海軍陸戰隊と協力して便衣隊狩りから婦女子の安全保護に任じてゐる始末でウカ〳〵警戒線内に入つて行くと誰何されその緊張ぶりは凄いやうです、支那側の便衣隊が居つたと目される建築物、店舖等は片ッ端から打ち壞されてゐますが聞く所によると

便衣隊の狙擊方法は實に巧妙を極め新戰法としては子供等を三階邊りの二階から覗かせて日本人が通行すると直ちに代つて狙擊すると云ふやり方ださうです、敵軍の打ち出す野砲彈は各方面に落下してゐるが目下新築中の本願寺の本堂にも落下したと云ふ事で所嫌らはず打出されるので頗る危險です、船の支那人ボーイも大谷光瑞師宛の手紙を持つて行きましたが途中で誰何され吃驚したさうでした、幸ひ大谷さんのところへ信書を持つてゐたので事無きを得たがお蔭でその日のうちに歸船が出來なかつた始末です、我海軍の空軍も大いに活躍して空中から市民に

安堵の胸を撫で下させてゐますが本船の出帆日の如きは十七臺が機翼を列れて上海の上空を飛んで居りました

上海事件の發端？

水上氏の位牌着連

今次上海における時局變化の原因とも認められる遭難日蓮宗布教師水上勇雄（三三）師の葬儀參列並に天崎師のその後の症狀見舞の爲め赴滬中であつた大連日本山妙法寺師教師深瀨行仙師は二日入港泰天丸で故水上師の位牌を捧げ歸連した、船中愁色の濃ふうちに語る

何とも由々しき事がありませんが只上海の居留邦人二萬五千が一樣に起つて故水上の死を無爲に終らさなかつた事をよろこびます、二十四日本國寺における居留民葬の盛大ぶりには亡くなつた水上も喜んだ事でせう今日は位牌丈を持つて來ましたが次船で遺骨も送られてくると思ひます、大連から行つた天崎も懸念されますが生命丈は取止めたやうです、何れにしても上海の日本人は一大決心を示めして居ります、我も安閑としてゐられません

ボロ布を募集

奉天では奥地より避難し來れる鮮人婦人への授産の方法として雜巾を縫はせてゐるが最近その材料たるボロ布が不足を告げて來たので一般有志の寄附を希望してゐるが日出町、双葉、北公園、沙河口各幼稚園及び常盤橋メソヂスト教會に屆けると大連婦人團體聯合會で取纏めて奉天に送附する由である

大孤山に警官隊出動

武器類を押收

鞍山警察署松木署長、井上司法主任以下二十六名の警官隊は機關銃歩兵砲を持つて一日午前七時三分發運行電車で大孤山に至り千山の天嶮に長銃、その他彈藥を隱匿せることを聞知し押收に出動した大孤山より更に前進通明山々麓の一軒屋を襲ひ機關銃、歩兵砲の猛射を浴びせ突入して長銃一、拳銃三挺、彈丸、防寒衣等多數を押收して主人除相臣（五二）は馬賊と機驗を通じてゐたので證人として逮捕し午後七時半同所を引揚げ二日午前三時歸鞍した、目下嚴重取調べ中【鞍山電話】

騰鰲堡出動

味岡中隊

湯崗子西方約一邦里の甘泉子部落を襲擊し放火掠奪の暴虐をつくした匪賊大頭目老北風の部下約一千名は舊正月前鞍山西方騰鰲堡部落を襲擊する計畫中との情報あり、鞍山守備の味岡中隊長は部下百三十名を率ゐ二日午前六時半徒歩にて騰鰲堡に向つて出動した【鞍山電話】

想出の滿洲を寂しくさらば！

傷病兵三十五名が一日照國丸にて

その後滿洲各地に轉戰戰傷を負ふた傷病兵三十五名は一日午後四時甲埠頭九番バース繫留の御用船照國丸に乘船、廣島衞戍病院に向つて想ひ出深き滿洲をあとに別れて行つたが、白衣に長いカーキ色のマントを着た一行の蒼白な面貌には云ひ知れぬ無念さがこめられてゐる、南嶺攻略の際故倉本少佐の片腕として拔群の功名を樹て不幸にして大腿部に敵彈を受けた武田定治中尉もシッカリ軍刀を握りながら病室に入つてゐる、一方これ等勇士を見送る爲に各方面より續々熱心な市民は甲埠頭廣場に集り黑山の樣な人垣をつくる、かくて定刻小川市長は起つて熱のある口調で戰傷勇士に感謝の言葉を捧げこれに對し輸送指揮官西村一等軍醫は戰傷者一同に代つて謝意をのべる、尚一行中特に重傷者は歩兵第四聯隊須藤富男一等兵、獨立守備隊林太郎一等兵等でタンカによらねばならぬ不自由な患者は合計十二名であつた【寫眞は歸國した傷病兵】

今後の人事異動は新進拔擢方針

赴奉中の長官歸任談

去る廿七日奉天に赴き各方面と挨拶を交し隔意なき意見の交換を行つた山岡關東長官は田邊文書課長等を伴ひ一日廿時着列車で歸連したが、驛頭には關東廳滿鐵をはじめ各方面多數の出迎へで賑はつた元氣一杯の山岡長官は途中金州まで出迎への記者に語る

奉天の第一印象と言へば人の往來がはげしく町全體が非常な活氣に滿ちてゐたことだ、在奉中各方面の折衝に追はれ長春や、安奉線には行けなかつたが我輩の代りに警務局長が兩方面とも充分に視察したから局長から詳細な報告を聞くことになつてゐる、だから沿線の視察は全部終つたわけだ、いづれ局長とも色々打合はせをし沿線の警備については萬全を期す心算だ、奉天では新施設に就ても色々と話合ひ日本側は勿論支那側の要人にも殆んど全部に會つた、人事問題は歸つてからだ、目下內務局長の任命が非常に

評判が好いってか？そりや有難う我輩に言はすれば關東廳はどこまでも關東廳でなけりやならん、廳內から人材を拔擢すりや氣分だつて違ふと思ふ、警務局長だつてかつて關東廳にゐたことがあるからなのだ、若い者にうんと働らかせたいのだ、だから僕の今後の人事異動の根本方針は新進拔擢だ、然し勿論實際問題として有無相通ずるの道理から內地から呼ぶこともあるかも知れぬ、何れにしても決定までにはそう永くはかゝらんそれがすんでから

行財政の整理だ、我輩は萬物榮へよ主義だが新陳代謝は自然の理でこれもやらればならまい、然し何分滿洲全體の事情が急激に變化したからそれに應じてやらればならずこれは尚ほ相當の日子を要することゝ思ふ勿論行政整理の根本は我輩にも解つてゐるのだが組織立てるとなると相當面倒なのだ、その結果人の整理の問題が起ると思ふが勿論方針は依然新進拔擢だ、兎に角あらゆる仕事は活潑にやらなきや駄目だよ

せめて五千人の警官を增員

一部の人事異動は止むを得ぬ

林警務局長來連語る

關東廳新警務局長林壽夫氏は二日沿線の視察を終へて來連各所を歴訪就任の挨拶を述べたる後ヤマトホテルにて晝食をとつたが、ホテルに訪ふと何等の裝ひ氣もなく全く村夫子そのもの、態度でテキ〳〵と記者の質問に答へた

今回就任の挨拶旁々沿線各地を視察して來たが、何と云つても沿線に對する警官の增員は刻下の急務だ、とりあへず朝鮮から二百餘名の應援を仰ぎ、本日あたり奉天に到着した筈だがこれ位ではまだ〳〵足りない、沿線における警官の苦心は實に氣の毒だ、今のところ警官と云ふよりも匪賊討伐隊に外ならぬ、散らばつてゐる匪賊の殘黨を討伐するだけで精一杯、とても警察事務に當ることなど出來やしない、自分の理想としては北滿に一萬人の警官を增員して全滿の警戒を爲したいがとても政府が許してくれぬだらう、せめて半數だけでも自分は實現すべく努力するつもりだ、兎に角政府も增員には決して反對しないだらうから、要は人數だ

と大いに抱負を語り、續いて局長更迭に附きものゝ部下警官の異動を質問すると

一部の異動は止むを得ない、大體警察官は一定の場所になれ過ぎることは非常に禁物だ、しかし自分は無闇に首を切るやうなことはしない、自分の云ふ異動は要するに部署の移動だ、これは相當廣範圍に亘るかも知れぬが、最近ではない、多事の今日徒らに士氣を沮喪せしむるやうなことはしたくないから、但し自分は首を切られるかも知れぬと云ふやうな弱點のある人は今の內に辭表を出した方がいゝかも知れぬワハヽヽ

と意味深長な笑ひと共に警察部動に關する第一聲を放つた

拳銃と短刀で强盜し歩く

稼いだ金でダンス場通ひの二人組モボ逮捕さる

大連署司法係及び刑事課では數日來二十三、四の日本人青年二名を引致し强盜犯人被疑者として秘密裡に嚴重取調中であつたが一日に至り拳銃短刀强盜に關する

犯行の一切を自白するに至つた、右兩名は原籍兵庫縣神戸市三ノ宮、現住所愛宕町四二番地元大信洋行店員美濃谷博之（二三）並に原籍大分縣西國東郡高田町現在前記美濃谷方に同居中の元滿鐵社員田中認太郎（二）であるがその自白するところに依ると昨年ダンスに凝り五百餘圓を橫領して大信洋行を解雇された美濃谷はダンス友達で同じく滿鐵を馘首されて困つてゐる田中を誘ひ事變の奉天で一儲けすべく昨年十一月

奉天に赴いたが格別しい仕事もなく、加へるに連日連夜のダンス遊びに僅の所持金も殘り少くなつたので美濃谷の主唱によつて兩名は强盜を働き大く儲けやうではないかと話が纏まり決心をなし美濃谷は黑塗り拳銃、田中は九寸五分の短刀を手に入れたが奉天の人心は緊張してゐるからと云ふので大連に舞ひもどつて來たが大連も當時年末警戒が嚴重で手も足も出ないので更に

青島まで足を延ばし同地で更に一人の仲間を加へ三人組强盜となり

先づ手始めに一月十二日青島神社裏にて年齢二十歳位の日本人を襲ひ拳銃及び短刀で脅迫して金五圓餘を强奪、續いて十五日青島新公園で年齢四十歳位の日本人を襲ひ路上に押し倒し金銀十五圓餘を强奪逃走、次に同十七日同地市場路に於て年齢十七八歳の店員風の日本人を襲ひ金八圓を强奪、その他數多くの窃盜を働き、奪つた金で青島のダンス場に入りびたつて豪奢な生活を續けてゐたが領事館警察の

捜査が嚴重となつたので身の危險を感じて美濃谷、田中の兩名は再び大連に歸り青島でしめた味を忘れ兼れ

一月二十二日午後九時頃須磨町大廣場小學校裏にて年齢四十歳位の和服にマントを着けた日本人を襲ひ同じく拳銃と短刀で脅迫金錢を强要したが同人が一文も所持してゐないと云ふので拳銃で脅迫しつゝ衣服全部をぬがせて身體檢査をなし「警察に願ひ出ると承知しないぞ」とおどかして逃走したが追ひ〳〵金錢に困つて來たので三越消費組合の會計を襲ふべく機會を狙つたが

警戒が嚴重で襲へず終に二十六日夜監部通りの元美濃谷の主家に當る大信洋行の煉瓦塀を乘り越え勝手知つた美濃谷の案內で金庫を襲つて果さず同家森本氏のオーバー（時價七十圓）一着を奪つて逃走、入質して相變らずダンスホールに入りびたつてゐたが

舊臘の强盜事件以來嚴重なる警戒を續けてゐる大連署司法係の遠藤刑事の眼にとまり二十八日前記愛宕町の自宅に晝寢中の兩人は何なく逮捕されるに至つたものである、一日の自白により自宅居室に隱匿してあつた犯行に使用の黑塗り拳銃並びに九寸五分は直ちに司法係に押收され同時に青島にある一味にも逮捕の手配がなされた

現在までの自白では舊臘大連を騷がした强盜事件とは關係なき模樣であるもその犯行に一脈相通ずる所があるので引續き嚴重取調中である、又大連署としては去る二十二日大廣場小學校裏で襲はれた四十歳位の日本人は取調上有力な參考人であるから是非司法係まで出頭されたいと（寫眞は主犯美濃谷博之）

滿洲事變戰歿者 靖國神社に合祀

【東京一日發】滿洲事變に關し昨年九月十八日以來一月三十日までに戰死戰傷死亡したる者及これに準する死亡軍人軍屬は本年四、五月頃靖國神社に合祀されることゝなつた

自殺か强盜の兇行か不明

一日奉天で怪事件

一日午後一時五十分頃、當地木曾町九番地石田武彦氏宅に打虎山より奉天に送られた遺骨が二日原隊に歸るため石田氏の厄介を受けその御禮のため騎兵聯隊の井上少佐が訪れ主人夫婦不在のため同宅大連火災海上保險會社代理店の會計蒿蒲池良三（二三）氏が代つて答禮をなし井上少佐が歸宅せんとするや突然拳銃の音がしたので引返して見ると蒿蒲池は鼻下に貫通銃創を受け卽死してゐるのを發見大騷ぎとなつた

一方奉天署には同宅に强盜侵入せりとの急報に接し警官は逸早く同宅に驅付けたが果して强盜の所爲か自殺か判明しないが蒿蒲池は日頃神經衰弱で困つてゐたと云ひ、又井上少佐訪問直後に侵入した强盜の仕業とも思はれず或は發作的に自殺を遂げたのではないかとも云はれ同宅はボーイと二人留守居であつた

蒿蒲池は石田氏と同縣の滋賀縣出身で大正七年以來實直に働き家庭的不和も不遇もなく自殺とも考へられぬと石田氏は語してゐた、なほ蒿蒲池は春日町五番地から通勤してゐたと【奉天電話】

漸く落着た錦縣

一般民も殆んど歸り 縣知事わが軍に感謝

錦縣知事谷金聲は日本軍が過般大凌河方面匪賊掃蕩を完うし歸還したるに對し其の勞を感謝するため、わが第〇〇團司令部に來りその意を表した、尚同知事の語るところによれば日本軍の黑山屯、紅螺縣附近及び石山站その他における飛行機を以てする攻擊は匪賊を四散せしめたが、ため從來匪賊の勢力範圍內にあつて彼等に脅迫せられやむを得ず匪賊になつた良民又は自警團は今やほとんど匪賊と離脱し歸村するに至りした感謝し將來もしばしば飛行機をもつて攻擊せられたしと希望をのべた、錦縣民は我皇軍の威武に信賴してその業に安んじ自警團及び警察はともに協力して治安の維持に任じてゐる【奉天電話】

『北滿嵐』を放送

今夜七時半AKから

既報、關東軍司令部の臼田少佐および岡田猛馬共作、豐田旭穗作曲の「北滿嵐」は本庄軍司令官が自ら命名し三日午後七時半（滿洲時間―內地時間は八時半）から四十分間東京放送局で放送することになつたが、滿洲事變でわが軍が鋒るところ勇猛果敢に戰鬪をなし悲壯な最後を遂げた一句一句を讀込んだその殘響の放送は壯烈比類なくては聽かれぬものがある【奉天電話】

前線の軍警に新聞を贈る

蓋明、神生、羽衣の三高女では大連婦人團體聯合會の希望を引受けて毎日不用となつた新聞を集め、第一線に活躍しつゝある軍隊警官滿鐵社員等に之を寄附することになつたがこの試みは多分非常な歡迎を受けるものと觀られ前記各校では一般にこの趣旨に贊して當分の間讀了の新聞を生徒に持たせて貰ひたいと希望してゐる

機關士表彰

奉天機關區機關士技術員荒木一雄氏は去る一月十九日下り三二一列車に乘り込み中、張臺子煙臺驛間で線路傍に頭部を負傷して斃れてゐる支那人婦人と幼兒を發見急停車を行つて救助したが今回その機敏な行動につき村上鐵道部長から表彰されることゝなつた、因に荒木氏は既に二回人命救助で表彰を受けてゐる

慰問金寄附

市內沙河口居住の帝國戰友相愛會支局長石塚藤作氏は軍隊並に警官隊慰問の獻金第二回分十五圓を沙河署を通じて獻金した

安樂椅子

さきに新銳の金山を手に入れ、近くは遂鹿戰に打つて出て、富と名譽を一擧に獲得するであらうと羨まれてゐた元代議士の齋藤紫太郎氏は擁護士世間の豫想を裏切つて立候補を斷念しツク〴〵代議士稼業の辛さを述懷して曰く。

◇……實は今度の解散に敢然立つ考へでいろ〳〵準備もして見たが、どう考へて見ても代議士稼業は採算がとれぬよ、假に運動費五萬圓使つて當選したにせよ、本據を依然大連に置いて、モヒやヘンソリン事件の擁護をしてゐる位だつたら寧ろ悲哀だね、勝くとも當選した以上、東京に本據を移し院外團の二、三人も遊ばせて置いて交際上のお茶屋の勘定の千五百圓や二千圓は優に支拂ふだけの實力がなくては、政治家で飯を食ふことは不可能だ。

◇……殊に僕は今度は新銳の金鑛に投資してしまつたので手許は不如意、幸ひに當選したとこで矢張り田舍紳士の悲哀をなめるより外はない譯さ、それより新銳の金鑛を當てるのを待つて第三黨でも樹立するかね。（寫眞は齋藤氏）

曙の鐘 (185)

倉田潮
河野想多畫

海賊（一）

よもぎと謎の男とはマリアの死骸のはいつてゐる白木の箱の蓋をあけた。あけるより早く箱の中をのぞきこんだ。が、中には死骸に達するまでに、餘程土がかぶさつてゐるらしい。もし箱に土を入れないで埋めておけば、その上を人が通る時、足の下に空箱の音を感じて、死骸を掘出すかもしれない——その邊に心づかないあけみでもなささうだ。謎の男とよもぎとは力を合せて箱の蓋を更に廣く押し開けて、中の土をかき出しはじめた。箱の横から外にはみ出してゐた着物は厚い綿入れであるらしく、それを辿つて行くと、よもぎの手に圓い滑らかなものが觸つた。素早く用意して來た懐中電燈をつけて見ると、

「あつ、足だ」

眞白いマリアの足が見えた。謎の男の方を照すと、彼は土にまみれたマリアの頭の髪を手にして、まだ半土に埋まつた其の顔をのぞきこんでゐるところだつた。が、突然よもぎの手にした懐中電燈は荒まじい勢ひで叩き落された。

「何をするの」

とよもぎは跳のきながら、叩き落した者が謎の男自身であることを知つて、恐怖に身顫ひした。うまく此處まで自分をおびき出してマリア同様危害を加へようとするのではないか。彼女は總身に冷汗を感じながら、おぼろ夜の薄闇をすかして、謎の男の方をうかがつた。本當にその男が已に襲ひかかつて來るなら、横の松の木をめぐつて門の方に逃げようと身構へながら。

しかし、謎の男はよもぎに背を向け、古池のかなたの丘の方を一心に見つめながら、

「人が來ますよ」

と落ちついた聲で、背後にとびのいたよもぎに答へた。

よもぎはその男の指さす方向を眺めた。丘を眞白いベールをかぶつた女が、最一人の假面と話しながら近づいて來る。

「箱の蓋を閉じて隠れませう」

と謎の男が靜かに云つた。よもぎはその男と共に箱の蓋を閉じ、その上からそつと落葉をかけ、松の木の根に寄りそつて身をひそめた。

よもぎや不思議の男がそこにゐるとも知らず、二人の人影は池を遠くめぐつて、池と低い土堤で堺されてゐる雑木林の中に這入つた。よもぎが松の根からはなれてそつと土堤に這ひのぼり、月の光にその様子をうかがふと、一人は白い薄絹で上半身をかくした天女の假面で、もう一人は謎の男と全く同じピエロの扮装した男だつた。先程謎の男が壯三もピエロの扮装をしてゐると云つたことを思ひ出して、よもぎは眼を見張つて驚いた。壯三はこんなところへ來て、何んな秘密を天女の假面と語り合つたのだらう。あけみは自分と同じ小悪魔の風をしてゐると云ふから、天女はあけみでないことだけは解つてゐる。では天女の假面は何んな女か。とにかく二人は今夜も互に長らく語り合つて來たものらしく、疲れて歩みもしどろもどろだつた。

幸ひに二人の人影は雑木林をぬけ、よもぎの隠れてゐる土堤の向ふ側に腰をおろした。三間ばかり下に寄りそつて座つた二人の背中が見える。はづみあがる息をこらへて、よもぎが二人の話を聞き取らうとしてゐると、背後から謎の男がそつと衣の袖を引つぱつた。で、一寸下りに土堤を這ひおりると、謎の男はよもぎの耳に口をつけて、

「このひまにマリアの問題から片づけませう」

と囁いた。よもぎはうなづいてまたマリアの死骸の埋めてある箱に近づいた。枯葉をかきわけると今度はすぐに箱の蓋が開いた。中の土は殆どかきのけられてゐる。二人は首の方に廻つて左右の肩に手をさしこんだ。成る程マリアの死骸らしい。氷のやうに冷たいが頭の大きさ肩の幅などが全くマリアそのまゝである。よもぎは恐怖に身を顫はせながら、謎の男と力を合せて死骸を抱き起し、その顔に懐中電燈の灯をそゝぎかけた。

滿日俳壇

島田青峰選

雪

大連　筧　鳴鹿

空罕や僅かに雪のたまり居り
風拂ふ燈籠の雪を惜みけり
雪のせて石炭貨車の着きにけり
裸木の雪さら〱と梢かな
庭石の雪に歩める雀かな

大連　吉元　汀雨

雪解や立樋の氷の黒々と
雪晴や大和尚山まのあたり
雪折の枝かぶさりし雞舎かな
着ぶくれの苦力雪掻く廳舎かな
郊外や雪滑りして子の遊ぶ

大連　阿部　天潮

雪除の雪を捨てゐる廣場かな
雪晴や四圍の山々迫り見ゆ
雪中に歩哨の立てる館かな
雪掃いて道つけてある交番所
したゝかに雪降る電車下りにけり

＝滿日俳壇募集規定＝　次回課題「春淺し」「殘雪」「蒜」◀句數無制限◀用紙半紙◀各題別紙◀締切二月十日◀封筒に「滿日俳句」と明記◀原稿送り先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

大連　宇都宮嵐翠

荒海や吹雪の中の巡邏艦
凱旋や吹雪になびく聯隊旗
砲列の俄にみだる吹雪かな
淡雪や南天の實の赤々と
淡雪の渚を歩む鴎かな

大連　花崎　翠峰

閑爐裡火の赤々燃えて吹雪かな
見上ぐれば枝もたわゝの松の雪
大吹雪に入港船の遅れけり
雪折れの音のきこゆる書齋かな

大連　田中　九牛

銅像に雪晴れ行くや大廣場
街燈の薄き光りや雪の町
雪狂ふヘッドライトや夜汽車入る

大連　高木　春陵

雪敲せて着きたる上り列車かな
窓をうつ粉雪の音や夜のしゞま

河本　眞佐路

初雪や枯れ殘りたる庭の桐
せゝらぎの音冴え渡る雪夜かな

海城　島谷　艶子

雪達磨耳も目鼻もとけにけり
初買に雪さら〱と降りにけり

桑原　南嶺

雪の夜半警笛高く響きけり

大連　嵐　雪

ドライブやヘッドライトに見る吹雪

第卅八回 滿日勝繼碁戰

（勝二回目）（湯淺氏一回）

先　湯淺唯二氏（先二級）
濟田俊介氏（二三級）

●一〇一　ヘ十一　○一〇二　チ十八　●一〇三　タ十八　○一〇四　ヘ十七
●一〇五　ヘ十六　○一〇六　チ十　●一〇七　ト十六　○一〇八　チ六
●一〇九　カ七　○一一〇　ル七　●一一一　チ五　○一一二　ル六
●一一三　ル五　○一一四　カ四　●一一五　ヌ五　○一一六　ヌ七
●一一七　リ七　○一一八（七九の處を取る）　○一一九　カ七　○一二〇　ワ四

—【6】—

けふの放送

大連 JQAK　二月三日

◀午前七時　ラヂオ體操
◀午後六時五十分　ニュース
◀英語講座「テキスト第卅九課」大連神明高等女學校　山田長三郎
◀民謡　越後民謡（一）佐渡おけさ　唄堀井千隆、三線大檢一菊、同同さめ（二）長岡甚句　唄堀井千隆、太鼓大檢一菊、三味線同さめ、笛櫻川ゝ平（三）蒲原節（一名下方節）唄堀井千隆（四）柏崎三階節　唄堀井千隆、三線大檢一菊、同同さめ（五）追分節　唄堀井千隆、三味線大檢一菊、同同さめ、尺八西山翠松
◀マンドリン合奏（イ）ハンガリアン行進曲（コワルスキー作）（ロ）アメリカンパトロール（ミーチヤム作）滿鐵音樂會マンドリン部
◀筑前琵琶「橘中佐」法儐山加藤旭明
◀職業紹介事項
◀天氣豫報　◀ニュース

東京 JOAK

二月三日午後六時三十分

◀映畫物語「心の燈火」谷天郎、伴奏指揮田中豐明、獨唱次田勝◀三絃歌謡曲　新組歌、冬空にうたふ、流行歌編曲、侍ニッポン、有憂華の唄、酒は泪か溜息か、妾此頃憂鬱なのよ、唄新駒、同小房、同定子、三絃節子、玲明定子、同廣子◀琵琶　北滿嵐「宇多田少作詞」豐田旭櫻作曲　豐田旭櫻◀室内樂（一）三重奏狂想曲、テレマン作、（二）インベンション、バッハ作、ガボット舞曲、ビバー作（三）三重奏曲冥想曲、ピエックステヒューデ作、シユナイダートリオクラブチエンバロ、アナトールフイーデングホフシエル、ヴアイオリン、レミアプアイシユヒッツ、チエロアオルフアングシユナイダー

婦人雑誌界の明星

雑誌界の中でも、婦人雑誌の抗爭が最も激烈を極めてゐることは店頭に立つた人の何人も觀取されるところである。今日最も多くの新興讀者層を有し、將來最もその擴大發展を期待される婦人雑誌界は、今や全く混戰状態にあると云つていゝ。それにも拘らず、いづれの雑誌を見ても編輯内容は依然舊態を存し乍ら、たゞ宣傳、誇大な廣告に意を用ゐてゐるのはどんなものであらうか。その中で我々が將來を期待し得る雑誌としては、僅かに「婦人公論」だけであるとは心細い限りである。婦人公論の今日の編輯内容の清新溌剌さはなんと云つても目覺ましい。その發展振りも、事實に於いて新興讀者層の八九割を獲得しつゝある現勢は、婦人雑誌界の明日の統制者を豫想せしむるに難くない。

試みに、二月號を見るに、先づ問題實話の案創に依る「罪は女にあるか？」は、行詰れる實話界に一ゝ清新の氣を投ずるものとして各方面の注目を集めてゐる。

特輯附録「女性の悲劇」はその觀點、扱ひさもに然斷特異なものとして、最も偉大な文化的意義をもつてゐる。大衆婦人生理小説といふ「女學生から人妻になるまで」はいろ〱の意で問題となつて是非の議論の喧しいのは既に讀者の知られる通りである。その他、お子様を學校に送るママの教育室の實用記事の扱ひでも、中間讀物記事でも面白い外に、新しみをもつてゐるところに此の雑誌の強味があらう。新年號に於いて「稀に見るの粒揃ひの小説欄」と文壇驚異の的となつた五大小説は二月號では俄然急展開のテンポを早めて、更に一層驚異を深めてゐる。現代第一の流行作家長谷川伸氏の「濡れ闇の男」は同氏作品中の最大傑作と云ふ評判は高いが、筆者は不幸にして未だ讀む時間をもたない、長篇讀切であるから讀み出して止められないと困るのである。表紙は多少若向きではあるが、現在の婦人公論としては先づ最上のものであらう。斯く見て來る時、現在の婦人雑誌界を統一して、明日の新興日本の婦人雑誌を豫感せしむるのに、先づ第一に、婦人公論をあげなくてはなるまい。明日の婦人を理解する途として、男子も一度は婦人雑誌をとりあげて見て置かれることは決して徒事でないことを附記して置く。」（發行所・東京丸ビル五階・中央公論社　定價五十錢・郵税三錢五厘）

滿洲日報

支那軍の挑戰に應じ我軍けさ總攻撃開始

砲門火蓋を切り砲聲殷々

(上海二日發) 支那軍は今や準備全く成り我軍に向け攻撃に出でんとしてゐる事判明したので今朝九時半鳳翔、加賀を離艦せる飛行機〇臺は偵察のため市の上空に向ひ霧深きため遂に引き返して來たが、支那軍の挑戰に應じ我軍は今朝愈々支那軍に對する總攻撃を開始し砲門は火蓋を切り砲聲殷々として轟く

霧霽れるを待ち爆撃

【東京二日發】本日我軍は霧の霽るを待ち飛行機を飛ばして閘北、南市、呉淞の三ケ所の敵を爆撃し又鐵道、兵器廠、北停車場を爆破の豫定で敵は一線に約二萬即ち閘北一萬、南市七、八千、呉淞三千あり新橋には約三萬の兵が待機中である

我電信局を襲撃

【上海二日發】便衣隊三百名は本日午前五時日本電信局を襲撃し配備中の警戒隊と交戰約一時間後退散したが敵の砲火により電信局前の民家は燒失した

支那軍續々集結

【東京二日發】海軍省着電、支那軍約四千名三十日午後四時頃徒歩行軍で蘇州を通過し上海方面に向つた同じく杭州方面より二個列車三十一日上海に到着又興京政府方面の情報に依れば飛行機四個中隊(四十機)河南より南京に輸送し更に蘇州に前進せしめ日本軍の空中襲撃に對抗せんとしてゐると

斷乎處置を決意

最後の對策協議

【上海二日發】鐵道に沿つた我守備將士は既に五晝夜不眠不休の活動で極度に疲勞しこれ以上繼續せばその結果は非常に憂慮されてゐるが、このため陸戰隊參謀始め幹部は決意を確めた如く本日支那側が依然挑戰的に出るにおいては斷乎たる處置に出るものと解さる

【東京二日發】一日の三相協議にて日支狀態最悪の場合の對策も充分協議を遂げた

第三遣外艦隊を編成

司令長官に野村中將親補

【東京二日發】海軍では現在上海方面に在る全艦隊を統一するため第三遣外艦隊を組織し司令長官に野村吉三郎中將(現横須賀鎭守府司令長官)を推すことに決し二日午後大角海相は宮中に參內、右を上奏御裁可を經て直に野村中將の親補式を擧行されることゝなつた、野村中將の第三遣外艦隊司令長官親補に伴ひ横須賀鎭守府司令長官の後任には海軍大將山本英輔氏を起用するに決した

參議官會議

連日開會に決定

【東京二日發】海軍では一日午後元帥及び軍事參議官の參集を乞ひ大角海相より上海事件の經過報告をなし之に對し諒解を求めたが事態急迫せるを以て二日より連日軍事參議官會議を開催する事になつた

軍令部次長も更迭

【東京二日發】軍令部長の更迭に伴ひ百武軍令部次長も更迭を見る模樣である

陸軍重要會議

【東京二日發】陸軍では上海方面の情勢に基き二日午前九時より陸相官邸に荒木陸相、杉山次官、眞崎參謀次長、小磯軍務局長等參集し約一時間半に亘り重要協議を遂げた

反駁回答協議

【東京二日發】大角海相は一日午後八時半外務省に芳澤外相を訪問し英、米、佛三國大使よりなされ

海軍々令部長に

伏見大將宮殿下御親補

【東京二日發】谷口軍令部長は軍事參議官に轉補され伏見大將宮殿下が軍令部長に御親補あらせられることゝなり二日午後二時宮中鳳凰間において親補式を行はせられた、伏見大將宮殿下並に谷口大將に對してそれぞれ親補の勅語を賜ひ犬養首相より官記を授けられた

軍事參議官海軍大將 大勳位功四級 博恭王

補軍令部長

免本職、

海軍々令部長海軍大將 正三位勳一等功四級 谷口尚眞

免本職、補軍事參議官

(御寫眞は伏見大將宮殿下)

我に感謝するが當然

英米抗議と我當局意見

【東京二日發】英、米兩國政府の抗議提出に對し海軍當局は左の如く語る

日本軍の行動を單獨行動と見做して抗議することは不可解である、我陸戰隊は一月廿七日の列國協議に基き二十八日より共同租界の共同警備のために配置に就かうとした際支那軍の挑戰を受けてこれに應撃したまで、あつて立場を變へて英國軍隊としてもその際にはこれに反撃せざるを得ないはずだ、即ち現在の日本軍の行動は共同警備行爲ともいふべき共同租界の特殊の性質を知つて居ればこそこれが安全を圖るために苦しい戰を續けてゐるのである、寧ろ列國は日本軍に對して感謝して良いはずである

上海南京方面略圖

獅子山砲臺 下關 南京 鎭江 常州 蘇州 上海 揚子江口 蕪湖

佛艦隊も上海に集中

英米と協力して租界防備

【パリ一日發】フランス外務省は上海フランス總領事に對し上海共同租界防備の英米兩國と協力するやう訓令すると共に、巡洋艦ワルデツクルーリー號その他佛領印度支那艦隊中繰合せ出動し得る砲艦軍艦を全部上海に派遣するやう命令した旨發表した

佛兵一個大隊派遣

【パリ一日發】本日佛政府は上海の佛租界防備のため佛領印度支那の東京にある歩兵一個大隊を上海に派遣するに決し直に出動命令を發した

佛政府注意喚起

共同租界尊重に關し

【パリ一日發】フランス政府は駐日大使マルテル氏に對して英米兩國と同じく上海事件に關して共同租界尊重の必要につき日本政府の深甚なる注意を喚起すべしと訓電を發した

イタリーも同一行動

米國に正式回答

【ワシントン一日發】イタリー政府は本日正式にアメリカ政府に對し上海で生じた危機に關し西洋諸國と同一行動を取る旨通告して來た

伊も正式抗議

【ローマ一日發】イタリー政府の發表によればイタリーでは今回支那における日本の行動に關しアメリカ及びイギリスと共に正式抗議をなすに決したと

第十五條提訴の規定、方法に疑義

我代表部説明を求む

【ジユネーヴ一日發】聯盟日本代表部は聯盟規約第十五條による告訴狀の提出規定、提出方法等疑義の點があるのでドラモンド事務總長に右説明要求書を提出した

上海調査に米國協力

委員に參加せず

【ジユネーヴ一日發】聯盟理事會の決定による上海事件緊急調査委員會に對しアメリカにも參加方勸誘をなしたが、アメリカ政府から聯盟事務局宛回答があつた、その內容は公表されないが、在支アメリカ外交官は委員として參加しないが同委員會と協力するやう訓令されることゝならうと觀測されてゐる

死を以て上官の決斷猛省を促す

上海出動の米丸大尉

【上海二日發】第〇大隊中隊長米丸大尉は今朝三時軍刀にて胸を刺し自殺を企てたが一命は取止め得る模樣である、遺書には鹽澤司令官の決斷と猛省を促してある

長江一帶に戰雲低迷

支那砲臺わが軍艦を砲撃

【南京二日發】海軍發表、昨夜十一時廿分獅子山砲臺より三發我軍に向つて砲撃したので對馬その他の驅逐艦五隻はこれに應戰、一時沈砲撃を行つた、尚南京殘留邦人は汽船に收容の筈だが、二名は日淸ハルクで敵彈の破片で負傷した、因に今や長江一帶に戰雲低迷して來た

【上海二日發】當地英人側に信ずべき報道として日本軍艦は支那軍の挑戰に對し一日午後十一時十五分より南京の砲撃を開始したとの報が傳はつた

支那軍砲撃

我陣地に砲彈

【上海一日發】北停車場附近の敵は夜に入つてまたも攻撃を開始し午後七時三十五分三發の砲聲聞え一發は我陣地に落下し附近人家に發火し盛んに燃えつゝある

支那挑戰事實を隱蔽

【上海特電二日發】獅子山砲撃に際し支那正規軍の挑戰に對し反撃せる事情を本職より在泊英米艦長に通牒すると共に領事より米艦に對し外國領事に通報し支那外交部に嚴重抗議書を送附せり、以上の如く司令官は發表したが支那側が逸早く日本軍の砲撃のみを大々的に宣傳しその原因となれる自方の砲撃を隱蔽せるは極度に日本側の憤激する所である

下關で日支兩軍對峙

【南京一日發】南京の港口下關では日本の海軍と支那軍隊が河岸で對峙の形となり、支那側は極度の緊張を示し下關始め南京郊外の支那人は續々城內に逃げ或は汽船で他に避難してゐるが、上海事件勃發以來當地に避難して來た多數の支那人は却て南京を不安に感じ上海行のイギリス汽船に乘込まんものと大混雜を呈してゐる

我警戒隊を狙撃

【上海特電二日發】一日午後十一時南京獅子山砲臺より三發の砲撃を認めると同時に日淸ハルク警戒隊も正規軍の狙撃を受け救援を求め來つたので直に各艦の警戒を命じ鎭壓の目的を以て對馬八發(目標ハルク直前陸岸)天龍二發(目標家古門)の緩漫なる砲撃を加へ午後十一時十五分射撃中止を命じた、領事その他官民乘用の雲陽丸は砲撃開始と同時に平戶の上流三里に轉錨す

不逞分子の策動警戒

【上海一日發】上海工部局は上海市中恐怖時代の混亂に乘じ支那不逞分子、共產黨員の租界潛入とこれによる秩序攪亂の策動を憂慮してゐる

たる上海事件に對する抗議內容並にこれが反駁的回答內容につき重要會談をなした

電通支局引揚

假事務所を設置

【上海二日發】不安の一夜は明けた英租界、佛租界は避難民群衆で大混雜中である、我軍の南京砲撃の報は外支人を更に亢奮せしめ今や一瞬も猶豫すべきに非ずとし午前八時電通上海支局は此處に立籠りたる支局員一同は涙をのんで遂に閉鎖し北四川路の北端千愛里の支局長舍宅を假事務所とし一身を犧牲とし死を賭して通信報告の任につく、社員はそれぞれ互に堅き最後の握手を交し定められた部署につき支局員一同は斯くていよく背水の陣を布き男々しき決心である

御眞影奉遷

昨夜軍艦安宅に

【上海二日發】我總領事館は續々たる便衣隊の襲撃を受けるので御眞影を軍艦安宅に昨夜奉遷した

南京外人引揚準備

【南京二日發】昨夜十一時下關警備中の我陸戰隊は突如支那側から射撃を受けたため之に應射又同時に獅子山砲臺からも大砲を發射したため我軍艦も遂に發砲し敵を沈默せしめた砲撃に驚いた南市街では直に消燈したので市內は暗黑街と化し一方飛行場では飛行機の襲撃を怖れ探照燈で盛に空中搜查を行ひ壯烈な光景を呈した、又下關の支那人は砲撃の起ると共に城內に避難各國領事館員は直に居留民の引揚げ準備に取りかゝつたが遂に命令は發せられなかつた

蕪湖居留民を軍艦に收容

【蕪湖二日發】時局惡化の爲め居留民全部を軍艦比良に昨日收容した

在留民保護權限訓令

駐日米大使に

【ワシントン一日發】米國務長官スチムソン氏は駐日大使フオーブス氏に對し在支アメリカ人その他の外國人の保護を行ふために東京駐箚の各外交使臣と協力し適宜の措置を取るべき自由裁量の權限を與へる旨の新訓令を發した

各派立候補數

【東京二日發】立候補者數二日午前十一時現在左の如し
政友二二八、民政一八五、社民一三、大衆一三、革新二、安達派九、其他無產二、中立其他一九計四七一

林警務局長挨拶

關東廳警務局長林壽夫氏は二日午前滿鐵に江口副總裁及び各理事を訪問し午後は民政署、大連取引所等を歷訪就任の挨拶を述べた

日下內務局長挨拶

關東廳內務局長日下辰太氏は二日午後零時半來連、大連民政署、滿鐵會社を初め主なる官衙、新聞社を歷訪新任の挨拶を述べた

人事

▲首藤正壽氏(滿鐵理事)二日朝奉天より歸連
▲伍堂卓雄氏(同上)二日朝撫順鞍山へ

蛇風 1932

共同租界をして支那便衣隊の活動地たらしむ、工部局こそ租界の地位精神を破壞する者。
◇
英米軍艦上海に集まる、陸軍も追々來る、佛國も陸兵を廻す、舞臺が上海となれば、彼等の意氣込亂舞。
◇
蔣介石と馮玉祥、何時の間にか握手、曾て死生を掛けて爭奪した鄭州で對日相談を爲す、お互にクスグツたい顏で。
◇
吳佩孚六年ぶりに北平に歸り、當年麾將劉子の客となる、今昔の感如何。
◇
支那調査委員一行、三日パリ出發、三月初め東京着の豫定、之れは又餘りに御ゆつくり。

東亞の謎 (四)

國枝史郎
挿畫 伊藤順三

大連の冒險(十四)

この間多くの會員達は、咳もしなければ物も云はず、新入會員と會長と、會長の横に立つてゐる男とを、嚴肅の顏をして眺めてゐた、で、場內は物々しい、雰圍氣に包まれてゐるのであつた。

と、會長は例によつて、含んだやうな籠つた聲で云つた。

「今夜吾人は數人の新信徒を天地會に介紹し、而して桃園の義に倣ら ひ結んで兄弟となり、姓は洪、名は金蘭、共に一家となる。洪門に入りてよりの後、一心同體として相互扶助し、彼我の別あるを許さず。今夜天を父とし地を母とし日を兄とし月を姉妹として拜す。吾今夜吾人は香爐の前に跪拜し、吾人の心神を清淨にし、而して吾人の指を刺し、吾人の血を混じ、之を啜りて同生同死を盟ふ。新會員はその分定せられたる範圍に於てその任務を遂行し、而して天に從つて行動すべし、天に從ふ者は存し天に逆ふ者は亡ぶ。反逆者は誅戮の下に滅び、而してその種は滅絶せん、唯忠心義氣の人のみ永遠の福祉を受けん」

それから會長は手を上げて、壇上の香爐を指さした。

と、痣のある男が頷いて、

「では」

とかう云つて石田を押した。

石田は心得たといふやうに、香爐の前まで行くと立ち止まり、横に置いてある香の箱から、ひとつまみの香をつまみ上げると、それを香爐の中へ投げた。

煙が立ち上がり香りのよい匂ひが、そのあたりをかほらせた。

「では森川さん」

と痣の男が云つた。

森川といふ男は進み出て、同じやうにして香を焚いた。

「では岡島さん」

と、痣の男は云つた。

岡島といふ男も同じことをした。

最後に伯爵の番が來た。

「では松村さん」

と痣の男が云つた。

そこで伯は進み出て、香をつまんで香爐の中へ投げた。

と、その時「フン」といふ、鼻を鳴らして嘲笑ふやうな聲が、會長の假面の中から來た。

で、伯は其方を睨んだ。

會長ともう一人の假面の男とが、その假面を突き合はせて、肩で笑つてゐるのが見られた。

(こうも變だ、變な奴だ、たしかに何處かで見た奴だ)

又、伯はさう思つた。

やがて會長は新會員の方へ、巾の廣い背中を向けて、壇の方へ進んだが、白い鷄を取り上げると、これも壇にある剪刀だ、その鷄の首を刎れ、したゝる血汐をこれも壇にある皿へ、したゝるだけしたゝらせた。

ゆるくと會長は新會員の方へ向いた。

これも壇にあつた長い針を、會長は右手に持つてゐた。

痣のある男へ合圖をした。

「では石田さん」

と痣の男は云つた。

進み出た石田の右の手を握ると會長は藥指へ針を刺した、すじに血がしたゝつた。

その血を例の皿へ受けた。

「では森川さん」と痣の男が云つた。

森川の血も皿の中へ這入つた。

伯の番が巡つて來た。

不安と不快を感じながら、伯は會長の前へ行つた。

長春飛行隊掩護下に 多門〇團司令部北進

けふ軍用二列車長春出發

多門〇團兵員は二日午前九時卅五分長春發、第一回軍用列車で双城堡に向つたが、同〇團司令部は、騎兵隊、野砲隊、戰車隊、裝甲自動車隊を率ゐ長春市民の萬歳を浴びながら長春飛行隊掩護の下に第二回軍用列車に乘り午前十一時五十五分長春を出發した【長春電話】

彈痕生々しい列車に 勇士を乘せ雪中出發

勇壯な第一回軍用列車

多門〇團司令部の先發隊は二日午前九時三十五分降りしきる雪の中を市民萬歲の聲に送られて一路双城堡に向つたが、右列車は双城堡の激戰後始めて長春に廻送された列車で機關車や貨車の側面には數多の彈痕があり双城堡に於ける三十一日の激戰を如實に物語り出動兵士及び見送の市民を亢奮させてゐたが、一兵士は雄々しくも「何、立派に仇を打つてやる」と固い決心を洩らしてゐたが、その勇壯な兵士に市民はわれん許りの萬歲を浴びせ征途を祝福した、なほこの第一回軍用列車には名倉少佐指揮の下に第〇大隊〇中隊、通信隊、山砲隊〇個中隊が乘り機關車の前方には無蓋車に野砲を据ゑ石川大尉引率の野砲第〇聯隊の兵が戰鬪準備を整へ途中運行事故發生に備へるため修理班として屈強の滿鐵社員多數參加した、右列車機關車の運轉は東支從業員と滿鐵社員の兩者が當つた【長春電話】

長春待機部隊總出動

明朝天野〇團も北進

双城堡から廻送された三ケ列車の中第一回は二日午前九時三十五分第二回は午前十一時五十五分何れも出發したが、更に午後一時には第三回列車を出し野砲、山砲、騎兵隊、飛行地上勤務員等の特科隊が出動し更に三日午前中には天野〇團及び同司令部が出動する、これで長春に於て待機中の部隊は全部出動することゝなる、因に長春附近一帶は二日午前一時半頃からしきりに降雪があり原野は白皚々たる白雪に蔽はれ寒氣一段と加はり軍の行動には困難を伴ふものと憂慮されてゐる【長春電話】

飛行隊双城堡進出

長春にある關東軍飛行隊長永峰大佐指揮下には目下迫擊裝置を有する偵察機は〇個中隊があるが時局の重大化に鑑み作戰に便するため双城堡に前進し臨時飛行場を設置し事態の變化によつては目下奉天に在る輕爆〇機をも長春に前進させる豫定で愛國第二號は目下長春に在るが第一號機も二日午前十時長春に向ひ北滿に活動する事になつた【奉天電話】

一萬五千の聯合軍が 哈市郊外で邀擊準備

本日午前十時ハルピン派遣某機關特務の情報によれば昨夜來ハルピン郊外東南に反吉林軍一萬五千、大砲二門、機關銃、迫擊砲多數を持つ一團皇軍のハルピン入りを邀擊せんとし居り兩軍の衝突聯合軍の敗退兵ハルピンに逃入を豫想し在住邦人は戰々兢々義勇軍は必死の覺悟で緊張してゐると【長春電話】

馬占山が丁超と策動

チチハル方面も惡化

齊々哈爾に引揚げた馬占山は丁超と協議の結果愈々共同動作をなすことに決意した、表面は部下に引ずられて止むなく起つに至つたとも傳へられてゐるが、之がためチチハル方面は頗る緊張してゐる【長春電話】

丁超軍豫備三個旅を集結

【双城堡特電二日發】丁超軍六百六十二團は曩に長谷部旅團下の大島聯隊に寛城子で擊破され六百六十三團は今次の戰鬪で支離滅裂となつたので丁超は豫備の三個旅約一萬を集結沿線一帶に配置邀擊せんとしてゐる

破壞十一ケ所を修理

双城堡からの後送列車

三十一日午前九時双城堡を發車した空車三個列車は長谷部〇團の〇個小隊掩護の許に中川機關區長を班長とする滿鐵修理班の一行が運輸し途中十一個所の破壞個所を修理し乍ら十八時間を要し滿鐵作業班全部を乘せて二日午前一時半無事長春に到着したが滿鐵修理班員は交々語る

彈藥、食料を積んだ自動車隊は途中で遇つたが本日午前中には双城堡に到着するでせう、長谷部〇團は彈藥及び食料が極度に缺乏してゐるからさぞ喜ぶでせう、敵は既に北方に擊退されたので長春に歸る途中は危險は無かつた、東支南部線を東支管理局が運轉するだらうなど云はれてゐるがちと疑はしい、滿鐵社員の負傷者は多いが幸ひ輕傷で喜んでゐる

因に右列車は夥しい彈痕を殘し機關車の要部にも四發命中し他の車輛は數限りない銃彈が側面から貫通し慘澹たるものがある【長春電話】

愛國二號機 出發延期

降雪のため

双城堡に於ける戰傷者收容のため二日出動の豫定であつた愛國二號病院機は降雪のため着陸困難と見られ三日彼地に於ける準備完了を待つて出發の筈【長春電話】

飛機出動不能

本日當地方一帶降雪のため飛行機の出動は不可能となつた【長春電話】

村田通譯戰死

長谷部〇團に通譯として從軍した長春吉野町一丁目村田清一郎氏の負傷については長春全市民が憂慮してゐたが後頭部の負傷が重傷であつたために一日夜戰死した、氏は熱血愛國の士で氏の死は非常に惜まれてゐる【長春電話】

「後送列車に便乘し双城堡から長春へ」

多門〇團を輸送のため卅一日午前十一時双城堡を發し長春に向つた最初の聯絡軍用列車は途中數回の障礙を突破して辛うじて二日午前一時三十分長春に辿り着いた、記者(本社特派員)は双城堡方面の情報を齎すべくあらゆる危險を冒して同列車に便乘した、双城堡を距る約二キロの地點(三十一日午前十二時ごろ)に差掛るやレール上に山の如く枕木を積んで列車の運行を妨礙してゐるのを發見し直に列車を止めわが兵はその妨礙物除去作業に掛らうとすると附近の掩護物内に隱れて日本軍來るを待構へた支那兵は列車の兩側から猛烈な一齊射擊を浴せた、わが軍は直に之に應戰、約三十分に亘つて交戰の後敵は數個の死體を遺棄して北方に退却したが前途なほ如何なる危險があるかも知れないのと野砲を準備する必要を生じたので已むなく一時双城堡に引返すことになつた、午後一時双城堡に歸つた列車は野砲〇門を積み列車の編成を新たにして午後三時三十分前途幾多の危險を豫想しつゝ列車乘務員いづれも決死の腑を決め出發、嚴重なる警戒裡に徐行をつゞけ約六キロの地點に差掛るや數本の軌條が除去されあるを發見した、之を修理前進せんか、夕闇は既に迫つて危險ますく加はり、徒らに猛進せんかただ手を束ねて死地に入るに等しく再び熱議の結果遂に明した列車は翌一日午前八時三十分三度編成を整備しあらゆる注意と警戒のもとに前進、また約六キロ地點附近に差掛ると前方の部落に少數の支那兵を發見、郎兵し之を壓迫しつゝ前進を續け午後四時十五分辛うじて陶賴昭に辿り着いた、列車が同驛に入るや附近の土民代表數名驅け附け「同地一帶全く馬賊の包圍中に在り、危險この上なし、願はくば日本軍の保護を受け度い」としきりに哀訴歎願、その窮狀見るに忍びず遂に獨立〇ケ中隊を同地に止どめて列車は再び前進、危險と眞の闇を衝いて南下し二日午前一時三十分漸くにして長春驛に到着することを得た、なほこの列車は二日多門〇團を乘せて双城堡に引返すのである【長春電話】

義勇隊の嚴戒裡に 哈市邦人無事

武裝解除を斷乎拒絕

ハルピン特務機關よりの來電によればわが居留民は總領事の指示により二十八日來豫定の避難場所正金、鮮銀、警察分署、國際運輸、滿鐵俱樂部及び總領事館に避難しわが義勇隊は晝夜嚴重な警戒を行つてゐる、一日傅家甸のわが居留民一軒掠奪された、支那側はわが義勇隊の武裝を解除すべしと盛んに諸言を放つてゐるがわが義勇隊は斷じて之に應ぜざる決意をなしてゐる【奉天電話】

長哈護路司令 官金璧東任命

吉長鐵道守備隊司令官金璧東は長哈護路司令に任ぜられ日本軍に協力南部線の警備に當ることゝなつた【長春電話】

古賀聯隊の補充兵

姫路を出發

【姫路一日發】滿洲の野で匪賊と戰つて名譽の戰死を遂げた故古賀大佐等の補充として選ばれた姫路〇〇聯隊の廣瀬大尉以下〇〇名の將士は一日午前十時十分各市民の歡呼の聲に送られて勇躍滿洲に向つた

張海鵬軍が馬賊討伐

鄭家屯に集結

蒙邊督辦張海鵬は遼源通遼康平縣に蟠居する馬賊團を徹底的に掃蕩する目的を以て二月二日午前十時洮南發臨時軍用列車で鄭家屯に向け出動した、之より先張海鵬軍約四千名は四洮洮昂沿線より鄭家屯に集結しあり張海鵬はこの軍隊を指揮し馬賊討伐の筈【四平街電話】

刻々に危險

憂慮さる今明日

長春、ハルピン間の電線は三十一日以來全く杜絕し支那電話線一本が通じてゐる許りであるが、皇軍のハルピンに入城までは復舊の見込がない、在哈在留邦人三千の生命財産は頗る危險に瀕し今明日が殊に憂慮されてゐる、邦人は長い避難に飽いてたゞ亢奮に生命をつないで悲慘な狀態である【長春電話】

沿海州から白系露人が避難

二日北海道小樽より入港した大成丸にて白系露人漁夫パウエルエクサルウイツチリヤービニン(三三)外六名が來連したが彼等が口々に臨檢の水上署員に訴へるところによると一行は仲間と共に沿海州スエトラブクタにて漁夫として働いてゐたがソ聯邦官憲の酷使虐殺から逃れ前記七名は一月三日發動汽船で逃亡去る六日北海道稚内に上陸の上該發動汽船を賣却して旅費を

『滿洲號』獻納に 早くも寄附

紀元節から募集開始

われ等の飛行機「滿洲號」獻納義金は既報の通り二月十一日紀元節を期して全滿一齊に募集事務を開始する豫定で目下大連市役所で準備を進めてゐるが、既に羽衣高等女學校生徒一同から金二百圓の寄附申込あつた、ほか數島町五〇新滿蒙證券公司より二十圓、三河町正直洋行より三十圓、また大連消防自衞鶴ケ岡末松氏より五圓の寄附申込みあり、右は何れも募集事務開始前であつたので一時預つてゐたが一日大連における發起人協議會に於ていよく募集開始の手筈も決定したので二日これを正式に受納する事になつた

上海の居留民救護に 時局後援會が奮起

救護班派遣準備成る

上海の形勢惡化し死線に彷徨する三萬五千のわが同胞は兇暴なる支那抗日團體の鐵火に見舞はれ流血の慘日々に繰返され不幸數多の犧牲者を出しつゝあるので當地時局後援會小川會長、小澤、恩田兩委員は卅一日滿鐵會社に十河理事を訪問し大連醫院の外科醫および看護婦を以て組織する救護班派遣に關し交涉したがその諒解を得たので二日上海の日本人俱樂部内時局委員會宛左の電報二通を打電した

貴地の時局に對し心痛に堪へず在留同胞不慮の負傷者治療の一助として滿鐵醫院より外科醫および看護婦より成る救護班の派遣を得るの諒解を得たるにつき本會理事者同行して貴地に赴き聊か同情の誠意を表せんとす、若し他に適切にして急を要する方法あらばそれにて宜敷く貴地の都合至急返待つ

貴地在留の婦女兒童引揚げに對し大連市として特別の御便宜を計る用意あり二千名位收容出來る見込み

邦人避難船に 長平丸待機

上海惡化と大連汽船

上海方面の形勢惡化により上海における各船舶の諸荷役は休止狀態にあるが、當地大汽でも時局の變化に伴ひ配給計畫を大要次の如く改むるところあつた、卽ち上海靑島天津間三角航路に就航中の長平丸天津丸を變更して天津丸は大連塘沽間に廻し長平丸は大連に廻航せしめて萬一の場合の避難邦人輸送船として待機せしむる事となつた

同時に大連天津間就航の天潮丸濟通丸は今日迄は塘沽迄で天津迄の遡航を休止中であつたが流氷の成績が好いので一日大連出帆濟通丸より天潮濟通兩船を當分天津迄遡航せしめる事となつた

プラチナ時計から詐欺告訴

市内岩代町四四竹井好三郎は三十日同町七番地福豐東方西原サカへ並に東鄉町一九岩本ハルの兩名を相手取り大連署に詐欺横領の告訴をなしたが告訴狀によれば去る六年八月中竹井は西原サカへの紹介で岩本ハルより金七十五圓でプラチナ時計一個を買ひ受けたがその後專門家の鑑定によりその時計が價格約三十圓のニッケル時計であることが判明したので直ちに兩女の不正をなじると、誤りであつたから直ちに取代へると云つてニッケル時計を持ち歸つたきり再三の催促にもかかわらず今日に至るも金品の返却をなさぬのでこの告訴に及んだものである

各役員年寄 總辭職

相撲協會動搖

【東京二日發】相撲協會では二日午前十時より事務所に於て廣瀬理事長、出羽の海、入間川、高砂三取締役以下各役員二十六名參集協議の結果全部連袂辭職に決定した

旗揚げ興行は AK中繼放送

【東京一日發】興行中止問題も結局デマに終り國粹會の諒解も三十一日大ノ里以下の全理事金子政吉中村三吉、金井米吉氏等國粹會幹部を自宅に訪問して挨拶を述べたので殘るは只後三日に迫る旗揚げ興行に邁進するのみとなつたがAKでは新にこの勝負狀況を中繼放送する事となつた

製鋼所問題協議

昭和製鋼所州内設置期成同盟會では製鋼所設置問題に關し四日午後三時より同會實行委員、各區長、各團體代表者市役所會議室に參集し協議會を開催する

金を捨てゝ强盜逃亡

騷がれて狼狽

二日午前五時三十分頃沙河口管内香爐礁三區二〇乘用馬車夫劉鴻鈞(三九)方へ沙河口元町華記號の店員と稱する二人連れの支那人が屋内に入るや居直り刃渡一尺の短刀を突きつけて脅迫し小洋十六元を强奪して逃走せんとしたのを隣家の者が發見騷ぎ出したので賊は屋上に飛び上り家根傳ひに逃走姿を晦ました

屆出により沙河口署で卽時市内各署に手配すると共に署員の非常警戒を行ひ小野司法主任等現場に急行調査したところ賊は隣家の者に騷がれ餘程狼狽したものと見え强奪した小洋十六元は屋上に遺棄されてあつた

自轉車泥檢擧

市中に頻發する自轉車盜難品は最近續て解體の上山東に送り込まれてゐるとの聞き込みで當地水上署司法係では山東各地行船舶注意中のところ一日午後四時出帆芝罘に向ふ第十八共同丸にて怪支那人を逮捕した、右は登州府生れ市内泰山街一四一居住大工韓聲榮(三八)で麻袋に包んだ解體自轉車四臺を密かに山東に持ち込まんとしてゐたが市中に共犯者ある見込みで水上署では引續き嚴重取調中

貨物列車脫線

一日午後九時四十六分貨物第七十八列車が滿井、泉頭間(泉頭驛還方信號機附近)にて前部十六輛目の車輪折損のため脫線直に復舊に取りかゝり漸く二日午前五時四十六分復舊を見たが、このため下り旅客第十五列車は昌圖驛を四時間卅八分、上り旅客第十六列車は四平街驛を三時間四十分何れも遲發した

巡察員奇禍

一日午後八時四十分撫順線牛相屯深井子間を民家屯丁場派遣軍のモーターカーが進行中、深井子保線區線路巡察員線路方張玉麟、劉辦心の兩名が同モーターカーに刎ね飛ばされて重傷を受け直ちに撫順醫院に運ばれたが内一名は今朝遂に死亡した

節分厄除法要

市内天神町常安寺では來る四日午後六時から大般若六百卷轉讀の上節分厄除の祈念大法要を修行し豆まき餘興につき一般參詣人には木彫神像十數體の福引をなす外福盛枡子及び福豆袋を漏れなく授與多數參詣を希望すると

大連運動場

來る六日午後三時より同運動場事務室に於て在連各運動關係者を招じ本年度の同運動場使用の日取り打合せ會を開催することゝなつた

天氣豫報 三日

北西の風 曇後晴

各地溫度 溫度下る

	昨日最低	午前十一時
大連	零下〇、五	零下二、六
旅順	同〇、六	同二、八
營口	同四、九	同七、二
奉天	同五、九	同八、四
長春	同一三、三	同七、〇

暴風警報 風强かるべし午前八時三十分遼東半島に警戒す

けふの小洋相場(正午)

金百圓は一六四圓五錢

武門血笑記 (42)

下村悦夫作　布施長春挿畫

紅蓮の焔（二）

源之丞は、眼を閉ぢたまゝ、また、默つてこつくり點頭いた。

「まあ、まるで、唖のやうだわね　ほ、ほ、ほ……」

お蓮は、玉虫のやうに赤い唇に手を當てゝ笑つた。

「でも、まあ、妾安心したわ、これ後生だから、あんな短氣なことはしないでね」

お蓮は笑つた後で、急に、しんみりとした調子になつて、源之丞の顔を、凝つと眺めた。

と、ぽつくり眼を開けた源之丞の視線を、ぢつと、見返しながら、

「お蓮どの、そなたは拙者の事を何故、そんなに心配して下さるのぢや」

源之丞は、一句一句、言葉を切つて、重苦さうに云つた。

「何故つて……」

お蓮は、はつとしたやうに、言葉の調子を變へた。それは、わななくやうな小聲であつた。さうして、そのまゝ、口を噤んで、ぢつと項垂れてゐる。

源之丞も、それきり、また、口を閉ぢてしまつた。深い沈默！外では、雨戸を叩く木枯の音が、もの淋しく聞える。

と、暫くして――

「拙者は、いつも、聞きたいと、思つてゐた。聞かなくとも解つてゐるやうな氣もする。が、拙者には、自分で自分が解らない」

源之丞は、獨言のやうに、口の中で云つた。と、蒼ざめた彼の頬の上を、暗い行燈の光に照らされて、キラリと一滴、涙の露が光つて流れた。

「か、かんにんして……憎い女だと思つてゐなさるでせう。皆んな、皆んな、妾が悪いんだもの……」

お蓮は行燈に、面をそむけた。語尾が、泣いてゐるのであらう。お蓮は怪しいまでに慄えてゐる。

と、その時、不意に襖の外で、

「姐御、青馬の兄貴が、一寸顏を借して貰ひたいと云つてますぜ」

突慳貪な龍圓の濁り聲がした。

「姐御、聞えやせんかへ」

「聞いてゐるよ、後から行くつてさう云ひな」

「牛次や、牛六の兄いも待つてゐるんだから、今、直來て貰ひたいんだが」

「行くつてはさ、うるさいね」

お蓮は、襦袢の袖口で、眼の邊を、一寸押へると、源之丞の方へ、輕く眼で笑つて頷いて、出て行つた。

こちらは、青馬の六兵衞に、牛次と牛六の三人、懷手のまゝ、にゆつと、入つて來たお蓮を、不氣味な眼で、ヂロリと見上げたが、誰も口を利かうともしない。

「青馬の、何か用なんですかい」

お蓮は、薄水色の腰のものを、一寸覗かせながら、閨爐裡の傍へ傳法な立膝で座つた。

「姐御、俺ぁあ、此頃のお前さんの仕打を、腹に据え兼ねてゐるんだ」

と、六兵衞は、お蓮の方を、キッと見ながら、赤鬼のやうな眞赤な顏を、強張らせた。

「何だつて、妾がどうしたと云ふの」

「どうしたも、ねえもんだ、一體お前さんは、あの若僧を、どうしやうてえんだい」

「またかい、御苦勞樣れ、うつちやつといてお呉れよ」

「打つちやつとけ、へん、笑はせらあ、こう、姐御、親分が死んでから、どれ位になると思ふんだ」

六兵衞は、今にも噛み附きさうな劍幕である。

女流萬歳の花奴來演
四日から大劇へ

賑かな笑の女神として來る四日より五十間大連劇場で開演する大津家花奴は一萬圓藝妓と唄はれ東京淺草帝京座で幾多のファンを笑殺し斷然女流萬歳界の人氣王として又斯界隨一の美人として評判の女で今回藤波興行部の手にて始めて滿鮮巡業に男女若手腕達者揃二十餘名を引連れ初の御目見得するもので濃艶なる舞臺と華やかな舞踊音曲を呼物にしてゐる一座のメンバーは左の如し

道樂萬歳（浮世亭出羽三、大津秀丸）▲珍藝（柳家奈壽男）▲曲藝（日の本太平樂）▲追分（松前照子、戸田大佛）▲ユーモリスト（北川政夫、北川桃子）▲萬歳（玉子家利丸、利子）▲新内浮世節（岡本美津國）▲女道樂（土佐の家清子、桃太郎、小房）▲舞踊（橘の圓雀）▲ナンセンス（菊川時之助）▲女道樂（大津勞房江、花奴）▲大切ナンセンス（パラエイテイ）

因に入場料は特等八十錢、一等六十錢、學生半額、小人二十錢均一である

兩社競映の古賀聯隊長
双方撮影進む

「古賀聯隊長」の映畫化は東活新興兩社の競映となつたが、東活ではその後錦西、錦州附近に於て着々進行中であるが、今回軍部の後援の下に滿洲駐屯軍の特別出場を許可せられ華々しい激戰場面を撮影してゐるが、なほ同映畫のため更に十數名の俳優を増派渡滿せしめた、また新興キネマでは教育總監部及び陸軍省後援の下に、松本泰輔、瀬良章太郎、牧英勝らで製作を急ぎ目下第十六師團騎兵隊の大々的應援を得る連日壯な撮影を續けつゝあるが、同映畫の主題歌「噫軍神古賀聯隊長」及び「噫悲壯なる騎兵隊」は松本英一作詞、近藤十九二、服部良一作曲、横田良一、黒田進歌唱で太平レコードに吹込み發賣された

喜多會初會

喜多會滿洲支部では來る七日午前十時から濱速町ほていにて本年初會を催すが、番組左の如し

▲素謠　翁（獨吟）老松、籠、東北、弱法師、小鍛冶
▲仕舞　蟬丸、綱之段、鐵輪、玉葛、花筐、枕慈童、天鼓、雲雀山、籠太鼓
▲連吟　田村
▲獨吟　松風、隅田川、盛久、安宅、雲林院、朝長
▲獨調　東北、玉之段、船辨慶、鵜之段、笠之段、三輪
▲囃子　嵐山、八島、湯谷、百萬、富士太鼓、鞍馬天狗
▲狂言　末廣

噂話

音樂ファンの間に名物となつた村岡樂童氏宅の初午祭は今年も明三日に恒例の如く執行▲當日は午後四時から始め一般の參詣を歡迎するが徹宵稻荷祭といふところに興行價値がある▲大連劇場は芝居小屋一本となつたので次から次へと開演してゐるが▲一方演説會場となつて終つた歡舞伎座もその後いろ／＼と取沙汰されてゐるが、この程愈々現在の場所に改築復活に決定したとのこと

本社特選 新棋戰（其四）

香落　八段△花田長太郎
　　　六段▲平野信助

【圖は九八飛成迄の局面】
▲平野氏「持駒」角桂歩歩
△花田氏「持駒」香歩

△八八飛　▲同　龍
△同　金　▲六七歩成
△八一角成　▲五八と
△同　金　▲五五角
△八九歩　▲五三銀
△七三歩成　▲三六桂
△三八玉　▲七九飛

【土居八段講評】△花田君の八九歩打は早い、一旦七三歩成同銀と取らせ而して八九歩と打つて置けば以下五四馬引の手が殘つて面白い▲此時平野君は敵に五四馬と引かれては攻勢に支障を及ぼすから敵に七筋へ成歩を作られるのを意にせず、五三銀と上つて角引を避け以下極力攻勢を採つた、その趣向は好い。

【萩原六段解説】平野氏の六七歩成は敵同銀なら六八飛打を含んでゐる。花田氏の八一角成は駒損を防ぎ五四角成の順を窺つてゐるのである。平野氏五五角は攻防を兼ねた先手であつて次の五三銀は敵に五四馬と引かれると敵馬が攻防によく利く順になるので先手に防いたのである。平野氏の三六桂は次に七九飛と打つて四九銀の詰を窺ひ五五角打よりの繼續である。花田氏三八玉で一八玉では一五歩と端を攻められて悪い又一五歩で三八銀と打たれても全滅であるから三八玉は止むを得ない。

スタヂオの街の嵐
俳優引き抜き
デマは盛んに亂れ飛び　策士の暗躍は縱橫無盡

京都スタヂオ街は昨今全く大動搖をきたしてゐる東活から退社して富國キネマを設立した羅門光三郎、原駒子や山口哲平、竹内俊一これをあやつるものに内藤富吉、大西市次郎、輪里縣松の諸氏があり目下各方面に手を延ばして俳優の引抜き運動に暗躍して居り撮影所は西の宮に設けるといふが果して何時出來るか問題であると云ふ

又小金井勝を繞つて獨立プロが起されやうともしてゐるが、これは資金を作るのに目下大童の態である、又主要スターの退社を見た東活では日活の應援を得て河部五郎、酒井米子、海江田讓二等の參加を得更に鈴木澄子大江美智子の二スターをも入社させ、一方寶塚からも有明月子岸小夜子、光妙子が加はり、この外まだ／＼各方面にスター速を物色してゐると言ふ

またこの他に新興キネマは昨秋の大搖ぎ新陣容が整へられたが、所内に中野英治の獨立プロの話や瀧津濟三郎や賣出し中の高津慶子の獨立の噂もあり春早々大騒がせをさせたと言ふことである

日活を退社した入江たか子も獨立はしないが資金難で影撮に至らず、大衆文藝映畫も生駒の月形撮影所を使用と決つたものゝ同所の使用についてはいろ／＼むづかしい事情があつて影撮が行き惱みの有様でありこれとても赤資金の方には相當の惱みがあるらしい、各獨立プロとも撮影所の適當なのがないのがなによりも困り折角空いてゐると思はれてゐる舊マキノスタヂオは映音商店が使つてゐて大事業を目論んでゐるとかで思ふやうに行かないと言ふ

また日活の人氣スターには策士が魔手を延ばしてゐると言ふことで統制上たへず注意を怠つてゐない

しかしこれらの大混亂の中にも東活の動搖を機に乘り出した寶塚大資本が、日活、寶塚、東活を中心とする大トーキー會社設置等の建設的方面の噂もありこの所京都スタヂオ街は各社の統制上に混亂を呈してゐる有樣である

女教師から娼妓になつた女

若い女教師が神聖な教壇から所もあらうに廓へ身を沈めた。人の子を教へる先生が賣女になるとは誰もが眉をひそめる問題だ。その裏面に動くものは失戀か？、呪咀か？浮氣か？それとも毒蛇のやうな男の魔手にかかつてか？この事實傳はるや、彼女千葉みつ子（二二）を訪れる嫖客は夜毎に七八十に上るさうだ。世の罪か人の罪か？俄然教育界、離縁婦人世界はいちはやく社會に訴へてゐる。一讀をすゝめる。